


令和8年度 定住促進住宅新築工事

意匠図			意匠図		
番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	—	A-16	基礎伏図・1階床伏図	1:30 1:100
A-02	特記仕様書(木造工事用)	—	A-17	2階床伏図・小屋伏図	1:30
A-03	木造仕様書	—	A-18	軸組図	1:100
A-04	工事概要・外部仕上表・内部仕上表	—	A-19	1階・2階天井伏図	1:100
A-05	付近見取図・配置図	1:100	A-20	壁量計算書	1:100
A-06	面積表	1:100	A-21	樞手・仕口金物配置図	1:100
A-07	1階・2階平面図・屋根伏図	1:100	A-22	N値計算書	—
A-08	立面図・断面図	1:100	A-23	雑詳細図	1:3 1:4 1:5 1:10 1:20
A-09	矩計図-1	1:30	A-24	ユニットバス詳細図	1:3 1:4 1:5 1:20
A-10	矩計図-2	1:30	A-25	外構図	1:100
A-11	1階・2階平面詳細図	1:50	A-26	外構詳細図-1	1:10 1:20
A-12	展開図-1	1:50	A-27	外構詳細図-2	1:20
A-13	展開図-2	1:50	A-28	砕石パイル工法特記仕様書 パイル伏図	1:100
A-14	建具配置図	1:100			
A-15	建具表	1:50			

	 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 FAX: 099-252-7375 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
					R7.11.			A-01
					縮尺			全
					—	図面種類	表紙・図面リスト	

公共住宅建築工事特記仕様書（木造工用）

1. 共通仕様
建築工事の仕様書は公共住宅建築工事共通仕様書（令和7年度版）の総則編及び建築編を適用する。
共通仕様書のうち、特記によるものと、その他必要な事項を特記事項とする。

2. 特記事項
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。
○印なき場合は※印のあるものを適用する。
○印と◎印のある場合は共に適用する。

3. 中間前金払及び部分払の選択
契約金額100万円以上の工事においては、契約時に中間前金払又は部分払を選択することができる。
なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合には、中間前払いは行わない。

4. 前金払
契約金額100万円以上の工事においては、年度毎の出来高予定額の10分の4を超えない範囲内に限り年度毎に前金払を請求することができる。

5. 中間前金払
既に契約金額の10分の4以内の前金払がなされている工事で下記条件を全て満たす場合に限り、契約金額の10分の4を超えない範囲内で中間前金払を請求することができる。
(1) 工期の2分の1を経過していること。
(2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が契約金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

6. 部分払
前金払を支払ったものについては工期中2回まで、されていないものは工期中3回までとする。

7. 工事着手
特別な事情がない限り工事開始日後30日以内に着手しなければならない。

8. 火災保険
契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。

9. 安全管理
工事現場及びその周囲は危険防止に充分注意し工事を行い、現場周辺を公共物（特に側溝等）の維持管理及び地域周辺住民、通行人への危害防止に万全を期すこと。万一事故の起きた場合は請負者が復旧し、又は補償をするものとする。

10. 下請工事における管内（県内）建設業者の優先使用について
(1) 請負業者は、工事の一部を下請けに付する場合は、札幌市内に主たる営業所（本店）を有するものを使用するよう努めることとする。
(2) 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書の提出と併せて「使用等状況報告書」を監督員に提出すること。

11. 果産資材の優先使用について
(1) 工事に使用する資材については、県産で産出、生産または製造されたもの（以下「果産資材」という。）の優先使用するように努めることとし、さらに、果産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するように努めることとする。
(2) 請負業者は、前項で定めた果産資材等を使用しない場合は、材料承認書の提出と併せて「使用等状況報告書」を監督員に提出すること。

12. 産業廃棄物税
本工事に発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場へ搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

13. 配置技術者等の途中交代
(1) 技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、または退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。
① 受注者の責務による合理的理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
② 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
③ 大規模な工事の一つの契約工期が多数年に及ぶ場合
(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、請負者と発注者が協議し、工事継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

14. 暴力団関係者による不当介入又は工事妨害を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を速やかに県及び警察に通報すること。
暴力団関係者による不当要求又は工事妨害を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を速やかに県及び警察に通報すること。

15. 特定住宅瑕疵担保責任
平成21年10月1日以降に引き渡しを行う新築住宅については「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」に基づき保証金の供託または、住宅瑕疵担保責任保険への加入を行うこと。

16. 環境への配慮
工事目的物に使用する材料及び機器はアスベストをその質量の0.1%を超えて含有しないものとする。

17. ダンプトラック等による過積載等の防止について
(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
(4) さし柵の装着又は物品積載装置の不法改造をしたダンプカーが、工事現場に入出入りすることがないようにすること。
(5) 「土砂等の運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下法という）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。
(7) (1) から(6) のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① ① 適用基準編	※公共住宅標準詳細設計図（第4版） ・公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度）別冊 機材の品質・性能基準 ※工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編 対象工事 ※工事請負金額 500万円以上 (1) 工事受注時 契約締結後10日以内 (2) 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 (3) 工事完成時 工事完成後10日以内
	② 1. 1. 1. 3 工事実績情報の登録	
	③ 発生材の処理等	・引渡しを要するもの（ ） 引渡し場所（ ） 再生資源化を図るもの又は廃棄するもの（ ） 再生資源化を図るもの又は廃棄するもの（ ） 受け入れ施設名（ ） 所在地（ ） 搬出距離（ ）
	④ 特別な材料の工法	欄下に記載されていない特別な材料の工法については、図面に記載されている材料製造所の指定する工法とする

⑤ 使用材料等	※本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放射しないか、確放が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、フタル酸ジブチルエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 4) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 5) 1) 、3) 及び4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放射量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ① J I S及び J A Sの F ☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のある J A S規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤不使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放射しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射しない塗料等使用 第3種 ① J I S及び J A Sの F ☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ J I Sの E O規格品 ④ J A S F c規格品
⑥ 技能士	下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。 適用工事種別 技能検定の職種 鉄筋工事 ○鉄筋施工（鉄筋組立作業） コンクリート工事 ○型枠施工 鉄骨工事・足場 ○とび ○仮設工事 ・その他（ ） ブロック・ALCパネル工事 ・ブロック建築 ・ALCパネル施工 タイル工事 ○タイル張り 木工事 ○建築大工 屋根及びとい工事 ○建築板金（内外装板金作業） 金属工事 ・内装仕上り施工（鋼製地下工事作業） 左官工事 ○左官 建具工事 ○サッシ施工 ○ガラス施工 ○木製建具製作 塗装工事 ○塗装（建築塗装作業） 内装工事 ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○表装（塗装作業） 植栽工事 ・造園 畳工事 ○畳製作
⑦ 住宅性能評価	※ 適用する ・しない 住宅の品質確保の促進等に関する法律 第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の下記項目ごとに示した等級基準を満たすこと。 性能評価項目 等級評価説明 等級 劣化の軽減 劣化対策等級（構造躯体等） ※3 ○(2) 維持管理への配慮 維持管理対策等級 ※2 ・() 温熱環境 省エネルギー対策等級 ※3 ○(4) 空気環境 ホルムアルデヒド対策 ※3 ・() 音環境 重要床衝撃音対策 透過損失等級（外壁開口部） ○2 ・() 高齢者等への配慮 高齢者等配慮対策等級 ○3 ・()
⑧ 1. 1. 3 関連工との取り合い	建築工事、電気設備工事、機械設備工事などが別契約の場合の工事区分設備区分との取合 ※鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠、及びスリーブ補強 ※壁、天井の切り込み箇所の下地材の補強 ・壁、スラブを貫通するパイプ等のシーリング これらの補強は、標準詳細図などのとおりとし本工事とする。なお編制については監督員の指示による。
⑨ 排出ガス対策	本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械または「排出ガス浄化装置」装着機械を使用すること。 (1) バックホウ (2) ホイールローダ (3) ブルドーザ (4) 発動発電機 (5) 空気圧縮機 (6) 油圧ユニット (7) ローラ類 (8) ラフトレックレーン なお、排出ガス対策型建設機械または「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示し、工事完成図書に写真を添付すること。
⑩ 1. 6. 1. 0 化学物質の室内濃度測定	※化学物質の室内濃度測定を下記により行い、監督職員に報告すること。 ・しない 特定測定物質：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンの5物質 測定住戸数：建設戸数の1割以上（10戸未満の場合は1戸以上）で、各住戸2室以上 採取条件：住宅の品質確保促進等に関する法律（以下「品確法」という）の評価方法基準第5の6-3の(3)のイに定める採取条件による。 測定の方法：品確法の評価方法基準第5の6-3の(3)のロに定める測定の方法による。 報告：分析機関からの分析結果書並びに「化学物質の室内濃度測定結果等報告書」を監督員に提出する。
⑪ 完成図その他	完成図の提出： ※必要 ・不要 完成図の種類： ※全図面の青焼き二折製本2部及び縮小（A3）製本2部 ※全図面に書き込んだC・D・R・Mを監督員に提出する。 ・マイクロフィルムと、仕上表、配置図、平面図、立面図、矩計図のB4版縮小マイラーペーパー 工事記録写真の撮影時期、箇所など ※下記のを監督員に提出する。

区 分	分 類	規 格	数	備 考
着 工 前	※デジタルカメラ 全量	キャビネサイズ	※ 1部	
	・カメラ	部分：サービスサイズ	※ ()部	
工 事 中	※デジタルカメラ 全量	キャビネサイズ	※ 1部	
	・カメラ	部分：サービスサイズ	※ ()部	
完 成	※デジタルカメラ 全量	キャビネサイズ	※ 3部	
	・カメラ	部分：サービスサイズ	※ ()部	
実績報告用	※デジタルカメラ 全量	キャビネサイズ	※ 3部	
	・カメラ	部分：サービスサイズ	※ ()部	
電子データ	・完成時写真	・工事中写真	・着工前写真	

① 一般共通事項	電子納品 この工事については中間検査を ・行う ・行わない 行う場合は、下記時点を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員と協議して申し出ること。 ※中間検査時期 工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中（基礎地中梁、中間階及び最上階配筋完了時、鉄骨建方完了時）及び内装工事等施工途中
② 仮設工事	1. 3. 4 (総則) 名 称 板張り又はビニル床タイル 内壁・天井 合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋 根 着色鉄板又は鉄板張り鋼合ペイント塗り 床 墊 畳 ※監督員事務所には、監督員の指示を受け、電灯、給排水、その他設備を付ける。 壁 貼 紙 ※壁貼紙については、監督員の指示による。 2. 表示板の大きさなど：※下図による。位置は監督員の指示による。 ※ 設置位置は、監督職員との協議による。また、取付けは、強風等に耐安全な工法とする。
③ 基礎工事	1. スウェーデン式サウンディング試験（J I S A 1 2 2 1） ・ () カ所 1階床下の盛土：※根切り発生土 ・ () 地下室などの埋戻し：※根切り発生土 ・ () 残土処分：・監督員と協議し、敷地内に処分 ※構外処分場所 受け入れ場所： () 搬出距離： () k m ※搬出調査を提出すること。 コンクリートの設計基準強度（F c） ※図面による 基礎コンクリート ※ F c = 2 1 N / m m 2 コンクリート中の塩化物含有量： ※ 0. 3 0 k g / m 3 測定方法、判定方法：6. 7. 2による。 ※A・B（※コンクリート中のアルカリ総量 R t = 3. 0 k g / m 3 以下） 荷下ろし地点における所要スランプ値： ※6. 2. 1表 単位水量： ※ 1 8 5 k g / m 3 以下 ・ () 水セメント比： ※ 5 5 % ・ 5 0 % ・ 6 5 % () ・設計基準強度（F c）に6. 4. 1表の構造強度補正値（S）を加える。 温度補正： ※要 ・不要 予想平均気温：各地区生コン組合気温表 ・打込み時の日平均気温 () ° C > 2 5 ° C ※構造体補正値（S）6 N / m m 2 捨てコンクリート、土間コンクリート、防水押さえコンクリートの粗骨材の最大寸法 ※ 2 5 5 m m 以下 設計基準強度： ※ 1 8 N / m m 2 べた基礎コンクリート天端は、均しモルタルを敷き、入念に仕上げる。 土台締め付けアンカーボルトは、垂鉛めつきM12 埋込み長さ250mm以上とする。 （2マーカー表示品はこれと同等以上のものとする） 型枠は、普通合板とする。打抜き仕上は、B種とする。 5. 2. 1 鉄筋 異形鉄筋の種類： ※ J I S G 3 1 1 2 種類 () 高強度せん断補強筋、種別、使用部位、加工 ※図面による ・建築基準法37条認定
④ 4 鉄骨工事	100*125以上の原板を使う場合には、監督員からあらかじめ焼きを提出し確認を受ける。電子データは、R G B（フルカラー）、J P G形式で高画質とし、C D - R にて提出する。 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする） ※梁、柱、床配筋等の拡大写真と全景を撮影し、拡大写真の位置が確認できるものとする。 ※拡大写真は1/4の縮小を容易にするため、縦、横及び高さの寸法が1枚の写真で判定できるようスケーリングを添え、明確に撮影する。 ※配筋の拡大写真は鉄筋の被覆を確認したのち撮影すること。 ※部分払い請求の場合、出来形写真（外部2部、内部）を提出すること。 ※完成写真は建物及び外構の全景を2面（南東、北東）撮影すること。 ※完成写真の敷内写真等は各室内を全面撮影すること。 ※その他：監督員の指示する写真（特定、特例工用・航空写真）を撮影し、カラー写真（L版）で提出すること。 ※国土交通省（旧建設省）が定めた写真管理基準を満たした電子媒体による写真とする。 (1) 本工事は電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子納品すること」をいう。ここでいう電子納品とは、「鹿児島県電子納品ガイドライン（試行版）（平成20年3月）」以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 (2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（C D - R）で正本1部、副本2部の計3部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取り扱いとする。電子納品レベル及び成果品の成果品については事前協議をおこない決定するものとする。 (3) 電子成果品を提出する際は、鹿児島県に公開する電子納品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施した上で提出すること。
⑤ 木工事	ベンチマークの設置方法：※コンクリート杭等又は移動のおそれのない固定物 ※則編1章3節による 構内既存の施設 ・利用できる（・有償 ・無償） ◎利用できない 構内既存の施設 ・利用できる（・有償 ・無償） ◎利用できない ※（図面の場所） ・不要 ※（図面の場所） ・不要 足場、横橋、リフトなどの設置：※建築工事 ※手すり先行足場 ・ () 工事で使用する足場については、「公共住宅建設工事共通仕様書（平成28年度版）」の1. 2. 6及び中安全確保の2の規定を問わず、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）により、「働きやすい安全確保のある足場」に関する基準に適合する手すり、中さん及び幅木の機能性を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 1. 監督員事務所の規模、仕上げ、備品など ○設置する（・10㎡(2.0㎡・3.5㎡・6.5㎡・10.0㎡) 仕上げ：※下表を標準とし、監督員の指示による。
⑥ 屋根工事	1. 6. 2. 2 一般事項 換気小窓の有無、耐風圧性、気密性、水密性、色彩等の等級、種別：※図面による アルミサッシ（カラー） A型 S-3、A-4、W-4、T-1以上とする、 (外付、半外付型) 外部アルミサッシ廻り(4方)は、シーリングとする。
⑦ 金属	1. 6. 7. 2 材料 ガラスの種類 16. 7. 1表による ・種別() ・厚さ() ガラス取付材料 シーリングとする。 ガステクトの種類：※ J I S A 5 7 5 6 種類は引違し及び片引きの場合はグレンジンチャンネル形 弾性シーリング材：※ J I S A 5 7 5 8 によるもの 9. 6. 1表
⑧ 左官	1. 7. 2. 1による 透明塗料塗り 種別：※A種 ・ () 不透塗料塗り 種別：B種 ・ () 外部周り部は、特記無き限り木材保護塗料（3回塗）とする。
⑨ タイル	1. 9. 4. 1 フローリング 1. 9. 5. 1 畳 完成後の義務 1. 9. 10. 1 壁紙貼付 ※給排水工事 ※断熱・吸音 ※キッチン ※キャビネット ※A型 ・ B型 ※C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※天然木C種 ※防虫加工紙の規格 防虫処理：※行う ・行わない 義務：※完成検査から1年以内に曇ダニ等発生した場合は直ちに殺滅処理する。 壁紙の品質： ※図面及び監督員の指示 ※ホルムアルデヒドの放射量：※F☆☆☆☆ 接着剤： ※溶剤ビニル系エマルション形と J I S A 6 9 2 2 を混合したものとし、 使用量は、図形換算量（乾重量）30g / m 2 以下 ※ホルムアルデヒドの放射量：※F☆☆☆☆
⑩ 金属建具	1. 7. 2. 1による 透明塗料塗り 種別：※A種 ・ () 不透塗料塗り 種別：B種 ・ () 外部周り部は、特記無き限り木材保護塗料（3回塗）とする。
⑪ 木製建具	1. 7. 2. 1による 透明塗料塗り 種別：※A種 ・ () 不透塗料塗り 種別：B種 ・ () 外部周り部は、特記無き限り木材保護塗料（3回塗）とする。
⑫ 塗装	1. 7. 2. 1による 透明塗料塗り 種別：※A種 ・ () 不透塗料塗り 種別：B種 ・ () 外部周り部は、特記無き限り木材保護塗料（3回塗）とする。
⑬ 内外装工事	1. 9. 4. 1 フローリング 1. 9. 5. 1 畳 完成後の義務 1. 9. 10. 1 壁紙貼付 ※給排水工事 ※断熱・吸音 ※キッチン ※キャビネット ※A型 ・ B型 ※C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※天然木C種 ※防虫加工紙の規格 防虫処理：※行う ・行わない 義務：※完成検査から1年以内に曇ダニ等発生した場合は直ちに殺滅処理する。 壁紙の品質： ※図面及び監督員の指示 ※ホルムアルデヒドの放射量：※F☆☆☆☆ 接着剤： ※溶剤ビニル系エマルション形と J I S A 6 9 2 2 を混合したものとし、 使用量は、図形換算量（乾重量）30g / m 2 以下 ※ホルムアルデヒドの放射量：※F☆☆☆☆
⑭ 雑工事	1. 7. 2. 1による 透明塗料塗り 種別：※A種 ・ () 不透塗料塗り 種別：B種 ・ () 外部周り部は、特記無き限り木材保護塗料（3回塗）とする。
⑮ ニット	1. 7. 2. 1による 透明塗料塗り 種別：※A種 ・ () 不透塗料塗り 種別：B種 ・ () 外部周り部は、特記無き限り木材保護塗料（3回塗）とする。

■仕様表

住宅の名称	令和8年度 定住促進住宅1号棟新築工事				
仕様が複数ある場合、必要最小限の仕様のもの、又は仕様の範囲を以下に記載					
項目	小項目	仕様		備考	
建築材料 (法第37条)	基礎コンクリート	JIS	設計基準強度 Fc : 24 N/mm ² 以上 スランブ : 18 cm以下		
	基礎鉄筋	JIS	SD295		
令第2章第2節 (居室の天井の高さ、床の高さ及び防湿方法)	居室の床の高さ及び防湿方法 (令第22条)	床の高さ	624 (直下の地面 (BM+400) から)		
		防湿方法	ねこ土台 (有効換気面積 355 cm ² / 4m)		
令第3章第2節 (構造部材等)	構造部材の耐久 (令第37条)	構造耐力上主要な部分	腐食、腐朽、摩損のおそれあるものに腐食等防止の措置		
		基礎 (令第38条)	支持地盤の種類及び位置	砂質土地盤 (GL-2.50m、3.00m)	
	基礎 (令第38条)	基礎の種類	べた基礎		
		基礎の底部の位置	地盤面からの深さ : GL-100、根入れ : GL-250		
		基礎の底部に作用する荷重の数値・算出方法	地盤の許容応力度 30KN/m ²	SWS試験結果に基づく地盤調査報告書	
		木ぐい及び常水面の位置	対象外 (木ぐい無し)		
	地盤調査 (令第38条)	地盤調査	SWS試験	SWS試験結果に基づく地盤調査報告書	
		地盤改良	砕石パイル工法による地盤補強		
	屋根ふき材等 (令第39条)	屋根ふき材の固定方法	平部 : 全数固定、棟部 : ねじ固定、軒・けらば : ねじ3本固定		
		屋外に面する部分のタイル等の緊結方法	該当なし		
太陽光システム等を設置した際の防錆処理		該当なし			
令第3章第3節 (木造等)	木材 (令第41条)	木材の規格 (JAS) または等級	横架材、柱材、筋かい等、その他 : 無等級材 耐力上の欠点のないこと		
		土台及び基礎 (令第42条)	柱脚の固定方法	土台 120×120 (ヒノキ、無等級材) を設ける	
	土台の固定方法		アンカーボルト (M12) + 座金 (厚) 4.5×40角×14φにより緊結、柱から200以内 に設置 (設置間隔 : 1900以内)	Zマーク表示金物又は同等認定品	
	柱の小径 (令第43条)	横架材間距離	1階 小径 120、横架材相互間の垂直距離の最大 : 2770 柱の小径と横架材間内法寸法の比率 : 1/23、1>1/30 2階 小径 120、横架材相互間の垂直距離の最大 : 2834 柱の小径と横架材間内法寸法の比率 : 1/23、7>1/33		
		柱断面の欠き取り (1/3以上) の有無	1/3以上欠き取る場合は適切に補強		
		2階建てのすみ柱	通し柱、または同等の補強 (N値計算による)		
	有効細長比 (最大値)	1階 座居長さ : 2770、断面最小二次率半径 : 34.64 柱の有効細長比 = 80.0 < 150 2階 座居長さ : 2834、断面最小二次率半径 : 34.64 柱の有効細長比 = 81.9 < 150		座居長さ = 横架材相互間内法	
		はり等の横架材 (令第44条)	中央部付近の下側に耐力上支障のある欠き込み	欠き込み : 無し	
	筋かい (令第45条)	筋かいの断面	45×90		
		筋かいの欠き込み	原則欠き込み無し (必要な場合) たすき部補強 : 両面から短冊金物 (S) 当て六角ボルト (M12) 締め スクリューくぎ (ZS50) 打ち	Zマーク表示金物又は同等認定品	
構造耐力上必要な軸組 (令第46条)	第1項	主要な梁せい : スギ (120×150~360)			
	第3項 床組・小屋ばり組の火打、構造用合板等、振れ止め	床組 : 構造用合板 (厚) 12 小屋ばり組 : 火打ちばり (木製)、振れ止め : 設置 火打土台 : スギ (90×90) ユニットバス、土間床部分は除く			
第4項 壁量基準 (耐震・耐風)	筋かい (45×90シングル、ダブル)、配置は壁量平面図による				
	継手・仕口 (令第47条)	筋かい端部	緊結方法 : 筋かいプレート (BP2等)	Zマーク表示金物又は同等認定品	
耐力壁両側柱頭・柱脚		N値計算による	N値計算書		
その他の柱頭・柱脚		かど金物 (CPL) 等	Zマーク表示金物又は同等認定品		
小屋組の接合方法		耐風性向上のための接合部仕様 たるき - 軒桁接合 : ひねり金物 ST-15 たるき - もや接合 : 鉄丸くぎ 2-N75 2本斜め打ち 小屋束 - 小屋ばり・小屋束 - もや接合 : かすがい C120 両面打ち	平12建告第1460号 基準風速 : 38m/s 樹種 : J3 (スギ) Zマーク表示金物又は同等認定品		
防塵措置等 (令第49条)	鉄網モルタル下地等の防水措置	該当なし			
	構造耐力上主要な部分の柱、筋かい、土台	地面から1mの範囲で防塵・防蟻処理			

令第3章第4節の2 (補強コンクリート ブロック造)	壁 (令第62条の8)	構造方法	該当なし	
		材料の種類	該当なし	
		壁の厚さ	該当なし	
		補強筋	該当なし	
防火構造 延焼のおそれある部分	屋根 (法第22条)	補強筋端部	該当なし	
		仕上	住宅屋根用彩色石綿セメント板葺き	彩色石綿セメント板 : 不燃材料
		野地板	構造用合板特類 (厚) 12 鉄丸くぎ N38 150ピッチでたるきに固定	
	外壁 (法第23条)	防水紙	改質アスファルトルーフィング 940 (22kg)	
		仕上	窯業系サイディング (厚) 16 通気構法	準不燃材料 (認定番号 QM-0944)
	軒裏 (令第108条)	仕上	無石綿ケイ酸カルシウム板 (厚) 6 EP-G	不燃材料 (認定番号 NM-8578)
居室の内装	内装材 (令第20条の7)	内装材 (複合フローリング、集成材、ビニルクロス、化粧石膏ボード、ふすま紙 内装・収納ドア、洗面化粧台、キッチン セット、接着剤)	全て F☆☆☆☆	全ての居室
居室の換気	換気設備 (令第20条の8)	機械換気設備の構造	第3種機械換気設備 80m ³ /h (1階便所に設置)、各居室に給気口設置 台所はレンジフードによる (換気量 300m ³ /h)	内装ドアにはアンダーカット H=10、 または換気ガラリ設置
		天井裏等 (合板、構造用合板、収納内部 石膏ボード)	全て F☆☆☆☆	全ての天井裏等
給排水衛生設備	建築設備の構造強度 (令第129条の2の3)	昇降機以外の建築設備の構造方法	建築物に設ける昇降機以外の建築設備の安全設備に関する平成12建告第1388号および 同左第5改正 (平24国交告第1447号) の構造方法に従い設置	平12国住指第4725号 (給湯設備の 転倒防止に掛る技術基準の改正 技術的 助言)
		給水・給湯管材料	引込 : 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 敷地内 : 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 住戸内 (給水) : 内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管、内面硬質塩化ビニルライニング鋼管 住戸内 (給湯) : 一般配管用ステンレス鋼鋼管 (拡管式)	
	給水・排水その他の 配管設備 (令第129条の2の4)		排水管材料	排水樹 : 硬質塩化ビニル製樹 排水管 : 硬質塩化ビニル製排水管 地中埋設管 : 防食テープにて処理 排水勾配 : 1/100以上 管径は、上下水道局の基準による
		水栓	吐水口空間を有効に確保する	
特定行政庁が条例、規則 で定める規定	法第40条			
	法第41条			

							設計年月日 R7.11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 A-03
							縮尺	図面種類 木造仕様書	全
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号		設計		担当	製図				
株式会社 大原設計		〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号		TEL: 099-213-4832					
管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美		FAX: 099-252-7375							

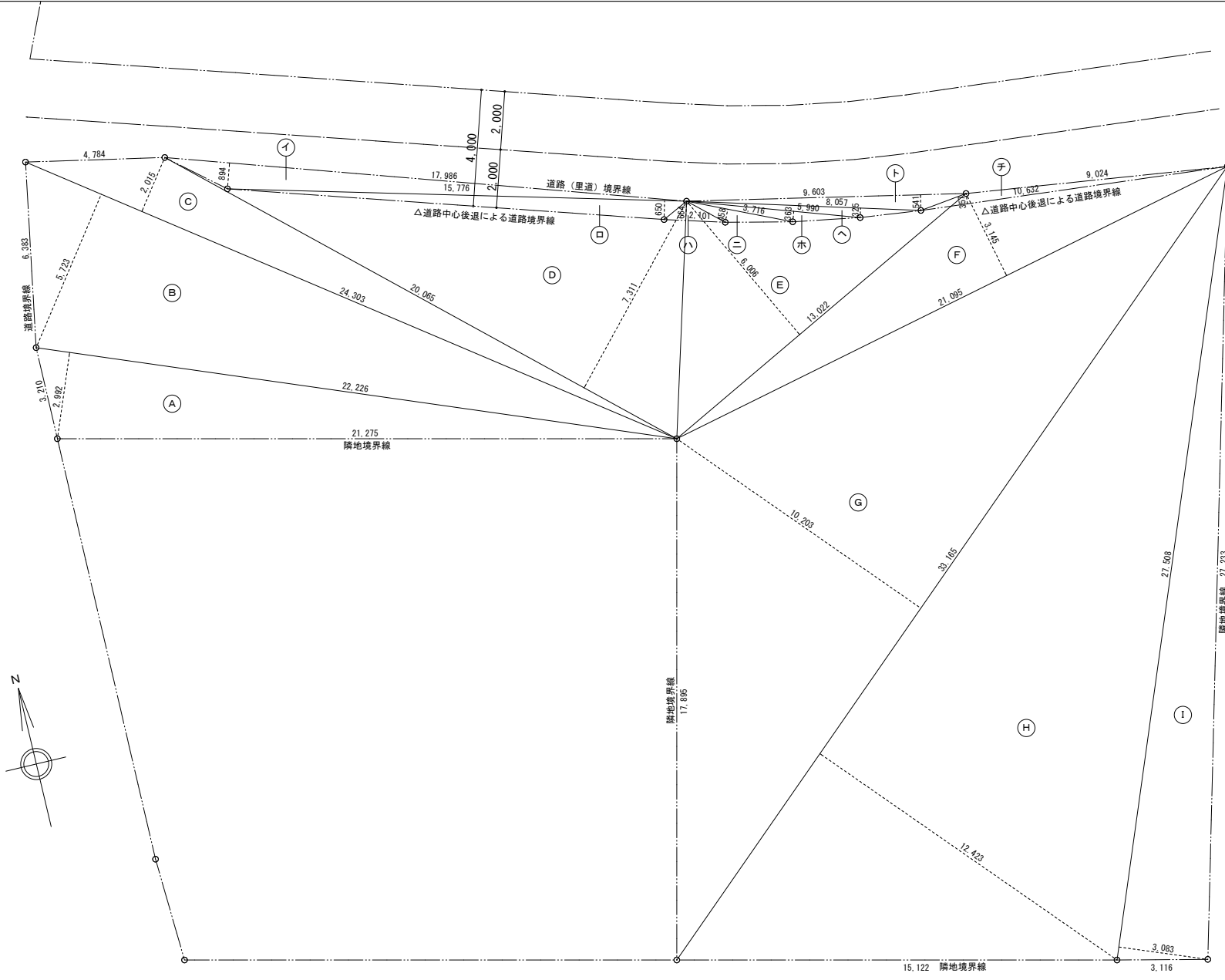
■工事概要					
工事名称	令和8年度 定住促進住宅1号棟新築工事	主要用途	長屋住宅	敷地面積	668.90㎡
工事場所	鹿児島県肝属郡錦江町神川字塩浜田3141-21	工事種目	新築工事	延べ床面積	153.68㎡
用途地域	都市計画区域内 指定なし	構造	木造 2階建て	建築面積	116.76㎡

■外部仕上表								
屋根	仕上	住宅屋根用彩色石綿セメント板葺き (耐風仕様) 庇屋根: カラーガルバリウム鋼板 厚0.5平葺き	玄関ポーチ	床 100角陶器質タイル張り 天井 無石綿ケイカル板 厚6目透かし張り EP-G塗り	備考	使用材料個別認定	GB-R9.5	準不燃 QM-9828 同等品以上
	防水	ゴムアスファルトルーフィング厚1.0					GB-R12.5	不燃 NM-8619 同等品以上
	野地板	構造用合板厚12					GB-S12.5	不燃 NM-9639 同等品以上
	軒天	無石綿ケイカル板厚6目透かし張り EP-G 一部有孔無石綿ケイカル板厚6目透かし張り EP-G	テラス	床 コンクリート金コテ押エ			無石綿ケイ酸カルシウム板 t6	不燃 NM-8578 同等品以上
外壁 (巾木)	仕上	窯業系サイディング横張り厚16 (塗装品) 出隅役物使用 (同材質)	外部金物	表札 アルミ製 (公団型) (ナスタ KS-N22AS同等品以上) 郵便受 ステンレス製 (公団型) (ナスタ KS-MB621S-LK同等品以上) 土台パッキン ポリプロピレン製 H20xW120xL200 (フクビ化学工業 土台パッキン工法同等品以上) (有効換気面積355cm ² /4m) 4m当り最大8枚敷込 (防鼠材開口率74.09%) 物干金物 アルミ製 (自在型) 各戸1組 (ナスタ KS-780AF-M同等品以上) 下駄箱 既製品 (大建工業 F20型900同等品以上)	備考	注記	不燃化珪パネル t3	不燃 NM-2183 同等品以上
	(巾木)	コンクリート打放し補修					サイディングボード t16	準不燃 QM-0944 同等品以上
	下地	(通気層) 縦鋼線30x45@455 (注入処理材) 透湿防水シート張り	アルミサッシ	排出しサッシ 住宅用カラーアルミサッシ (鏡板付雨戸パネル) 玄関サッシ 大開口玄関引戸 護窓サッシ 住宅用カラーアルミサッシ (鏡板付雨戸パネル) 窓手摺 アルミ製 H=500			押入ボード t9.5	準不燃 QM-9824 同等品以上
	備考	窯業系サイディング適正シーリング 1成分形 湿気硬化 変成シリコン形低モジュラスタイプ					・使用するボード類は全てノンアスベストとし、その他材料は全てF☆☆☆☆とする。 ・クラー用スリーブはネジ式 (キャップパイプ式) とし、中央水返し付きとする。 ・木工事、造作物、内部廻りは全て杉・桧 特一等材とする。 ・ビニールクロスは汚れ防止タイプとする。 ・玄関廻り及びユニットバスと躯体取合い部は通気止め措置を行うこと。	
外部化粧材	鼻隠し 窯業系サイディング厚16 EP-G	防火、遮音 戸境界仕様	遮音 高性能グラスウールHG16-38 厚105 (16kg/cm ²) 石膏ボード 厚12.5 二枚重ね張り 45分準耐火構造 QF045BP-9073 遮音告示第1827号	備考	その他	・法37条の指定建築材料は、全て日本工業規格又は日本農林規格適合したものを使用する。 ・配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の5に基づき施工する。 ・水道法施行令第5条に基づき施工する。 ・下水道法10条第1項及び第3項に基づき施工する。 ・電気設備については、電気事業法に基づき施工する。 ・ガス事業法第40条の4に基づき施工する。 ・給湯設備はH12建告1388号に基づき施工する。		
種	軒樋 塩ビ製 (カラー) 角型 ステンレス吊金物 縦樋 塩ビ製 (カラー) φ60 ステンレス掴み金物		備考 界壁取り合い部分の隙間は、充填材で処理を行う。					

■内部仕上表										
階	室名	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考		
1階	玄関	100角陶器質タイル張り	100角陶器質タイル張り	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.650	上櫃: 桧 60x150面取UC 付櫃: 桧 30x150面取UC I型手摺: L=600 φ35 (集成材ウレタン塗装) クロス用下地合板 厚12.5 下駄箱		
		下地: モルタル下地		下地: 木造軸組+GB-R12.5	下地: 木造軸組+GB-R9.5					
	ホール・廊下	天然木化粧複合フローリング張り 厚12	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400			
		下地: 鋼製束+木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組+GB-R12.5	下地: 木造軸組+GB-R9.5					
	台所	天然木化粧複合フローリング張り 厚12	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り 流し煎・ヨコ: 不燃化粧合板 厚3 (セラール) 同等品以上	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400	ステンレス流し L=1,200 コンロ台 L=600 (バックガード付) 吊戸棚 L=1,200 流し前ステンレス水切り レンジフード (設備工事) カウンター:メラミンボストフォーム 厚28		
		下地: 鋼製束+木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組+GB-R12.5	下地: 木造軸組+GB-R9.5					
	居間・食堂	天然木化粧複合フローリング張り 厚12	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400	電話用スリーブ: φ16 クラー用スリーブ: φ75 (キャップ共) クロス用下地合板 厚12.5 アルミ製カーテンレール (W)		
		下地: 鋼製束+木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組+GB-R12.5 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側)	下地: 木造軸組+GB-R9.5					
	和室6帖	タタミ敷き 厚55	タタミ寄せ H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	木製 (30x35)	2.400	電話用スリーブ: φ16 クラー用スリーブ: φ75 (キャップ共) クロス用下地合板 厚12.5 アルミ製カーテンレール (W)		
		下地: 鋼製束+木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組+GB-R12.5 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側)	下地: 木造軸組+GB-R9.5					
	便所	長尺塩ビシート張り 厚2	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400	L型手摺: L=600x700 φ35 (集成材ウレタン塗装) タオル掛け: L=450 クロス用下地合板 厚12.5 棚板: ポリ合板 厚25 洋便器 (設備工事) 紙巻器 (設備工事)		
		下地: 鋼製束+木造床組の上構造用合板 厚12+T1ベニヤ厚12		下地: 木造軸組+GB-S12.5	下地: 木造軸組+GB-S9.5					
洗面・脱衣	長尺塩ビシート張り 厚2	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400	I型手摺: L=600 φ35 (集成材ウレタン塗装) タオル掛け: L=450 クロス用下地合板 厚12.5 棚板: ポリ合板 厚25 床下点検口: 450x450 (アルミ枠) 面台: ポリ合板 厚25 洗面化粧台 (設備工事)			
	下地: 鋼製束+木造床組の上構造用合板 厚12+T1ベニヤ厚12		下地: 木造軸組+GB-S12.5	下地: 木造軸組+GB-S9.5						
浴室	ユニットバス1616 (バリアフリータイプ) 床・浴槽 (断熱仕様)		ユニットバス仕様による	ユニットバス仕様による			手摺3ヶ所 (ユニットバス付属品) 鍵安全対策付			
	下地:		下地:	下地:						
押入物入	T1ラワン合板 厚9	雑巾摺り H=15	押入ボード 厚9.5	押入ボード 厚9.5	木製 (30x35)	2.400	(押入) 中段、枕棚: T1ラワン合板 厚5.5			
	下地: 鋼製束+木造床組		下地: 木造軸組 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側)	下地: 木造軸組						
洋室6帖(1) 洋室6帖(2)	天然木化粧複合フローリング張り 厚12	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400	電話用スリーブ: φ16 クラー用スリーブ: φ75 (キャップ共) クロス用下地合板 厚12.5 アルミ製カーテンレール (W)			
	下地: 木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組+GB-R12.5 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側)	下地: 木造軸組+GB-R9.5						
クローゼット	天然木化粧複合フローリング張り 厚12	木製巾木 H=60 (CL)	押入ボード 厚9.5	押入ボード 厚9.5	木製 (30x35)	2.400	クローゼット枕棚: T1ラワン合板 厚5.5 ステンレスパイプφ32 (ブラケット共)			
	下地: 木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側)	下地: 木造軸組						
廊下	天然木化粧複合フローリング張り 厚12	木製巾木 H=60 (CL)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400				
	下地: 木造床組の上構造用合板 厚12		下地: 木造軸組+GB-R12.5 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側)	下地: 木造軸組+GB-R9.5						
階段	桧 厚30 UC	ささら折 H=350 (UC)	ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	塩ビ製	2.400 ~ 5.320	手摺: タモ集成材 φ35 UC			
	下地: 木造床組		下地: 木造軸組+GB-R12.5	下地: 木造軸組+GB-R9.5						

設計年月日	設計	担当	製図	設計年月日	R7.11.	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号	A-04
縮尺				縮尺	縮尺	図面種類	工事概要・外部仕上表・内部仕上表	全	
1:100 (A3-1:200)				1:100 (A3-1:200)					

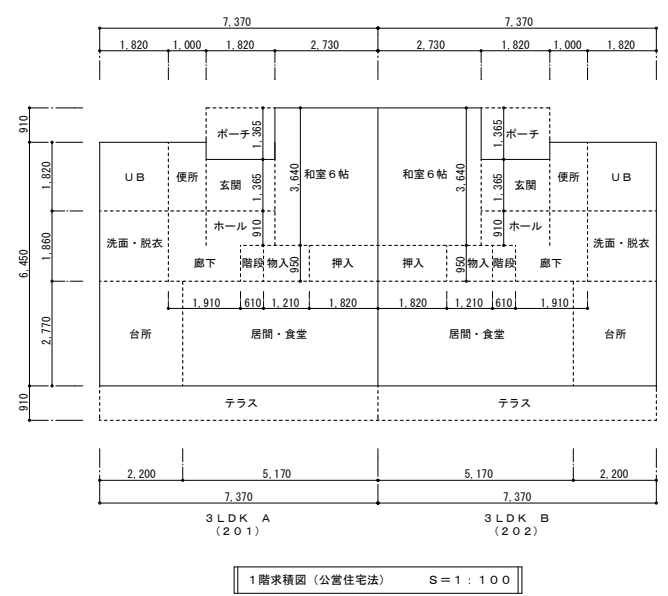
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号
株式会社 大原設計
 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号
 TEL: 099-213-4832 内
 FAX: 099-252-7375
 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美



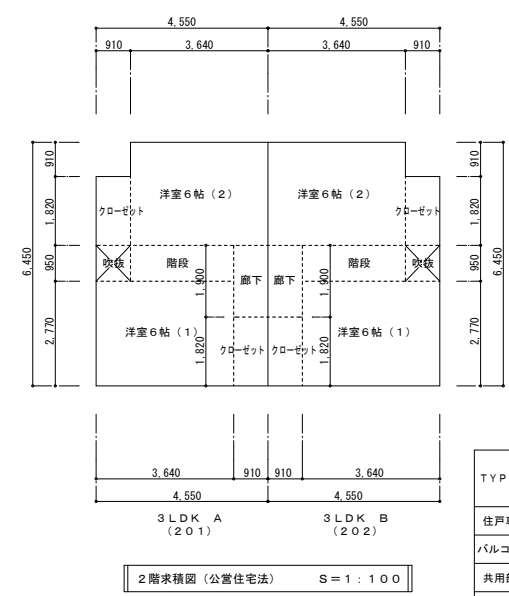
敷地面積求積図 S=1:100

符号	底辺	高さ	倍面積	面積
Ⓐ	22.226	2.992	66.500192	33.250096
Ⓑ	24.303	5.723	139.086069	69.5430345
Ⓒ	24.303	2.015	48.970545	24.4852725
Ⓓ	20.065	7.311	146.695215	73.3476075
Ⓔ	13.022	6.006	78.210132	39.105066
Ⓕ	21.095	3.145	66.343775	33.1718875
Ⓖ	10.632	0.357	3.795624	1.897812
合計			43.214618	21.607309
敷地不算入部分面積				21.60 m ²
合計			1,381.004382	690.502191
敷地面積				690.50 m ²
敷地不算入部分面積				21.60 m ²
合計				668.90 m ²

符号	底辺	高さ	倍面積	面積
イ	17.986	0.894	16.079484	8.039742
ロ	15.776	0.650	10.2544	5.1272
ハ	2.101	0.664	1.395064	0.697532
ニ	3.716	0.458	1.701928	0.850964
ホ	5.990	0.363	2.17437	1.087185
ヘ	8.057	0.325	2.618525	1.3092625
ト	9.603	0.541	5.195223	2.5976115
チ	10.632	0.357	3.795624	1.897812
合計			43.214618	21.607309
敷地不算入部分面積				21.60 m ²



1階求積図 (公営住宅法) S=1:100



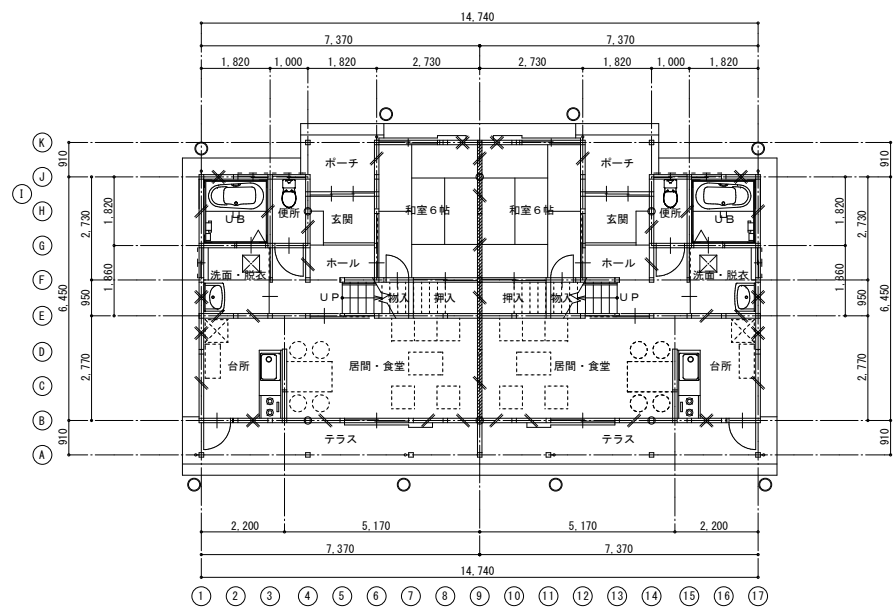
2階求積図 (公営住宅法) S=1:100

項目	面積
(A) 主たる居室部分の面積	20.4149 m ²
台所・居間・食堂	7.37×2.77 = 20.4149
(B) その他の居室部分の面積	29.9572 m ²
和室6帖	2.73×3.64 = 9.9372
洋室6帖(1)	3.64×2.77 = 10.0828
洋室6帖(2)	3.64×2.73 = 9.9372
(C) 非居室部分の面積	27.34 m ²
玄関	1.82×1.365 = 2.4843
洗面・脱衣	1.82×1.86 = 3.3852
浴室	1.82×1.82 = 3.3124
便所	1.00×1.82 = 1.82
押入	1.82×0.95 = 1.729
物入・クローゼット	1.21×0.95+0.91×1.82×2 = 4.4619
廊下・ホール	1.91×1.86+0.91×0.91+0.91×1.9 = 6.1097
階段	0.61×0.95+3.64×0.95 = 4.0375
(D) バルコニー等専用部分の面積	0 m ²
バルコニー	-
住戸部分の床面積 (A+B+C)	77.7121 m ²
専用部分の床面積 (A+B+C+D)	77.7121 m ²

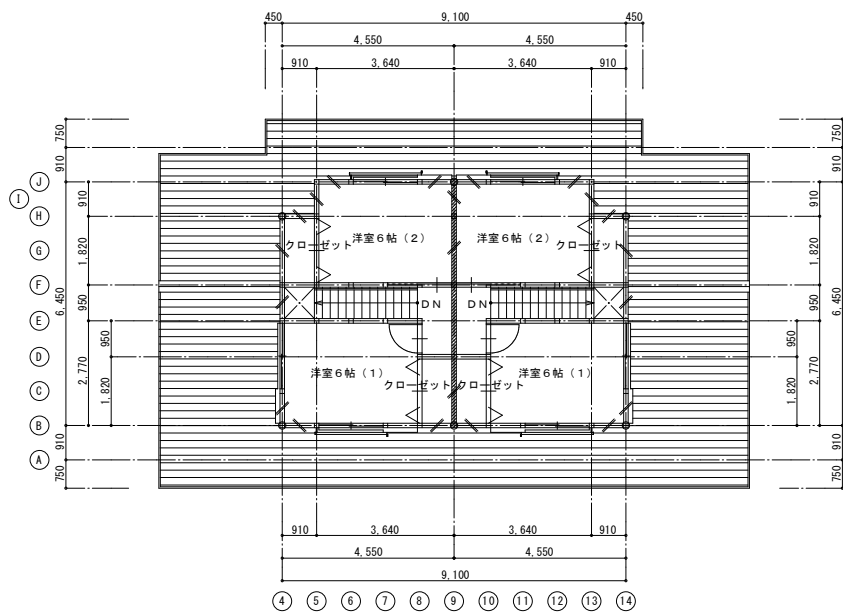
TYPE-A, B	1戸当り床面積 (公営住宅法)	式
住戸専用面積	A+B+C = 77.7121	77.7121
バルコニー面積	-	-
共用部分面積	1.82×1.365 = 2.4843	2.4843
1戸当り面積	79.3319 m ²	80.19 m ²

求積表		
①	2.82×6.45	18.189 m ²
②	4.55×5.995	27.2725 m ²
③	2.73×1.365	3.72645 m ²
④	4.55×5.995	27.2725 m ²
⑤	2.82×6.45	18.189 m ²
⑥	2.73×1.365	3.72645 m ²
⑦	3.64×6.45	23.478 m ²
⑧	0.91×1.82	1.6562 m ²
⑨	0.91×2.77	2.5207 m ²
⑩	3.64×6.45	23.478 m ²
⑪	0.91×1.82	1.6562 m ²
⑫	0.91×2.77	2.5207 m ²
A	1.82×1.365	2.4843 m ²
B	7.37×0.91	6.7067 m ²
C	1.82×1.365	2.4843 m ²
D	7.37×0.91	6.7067 m ²

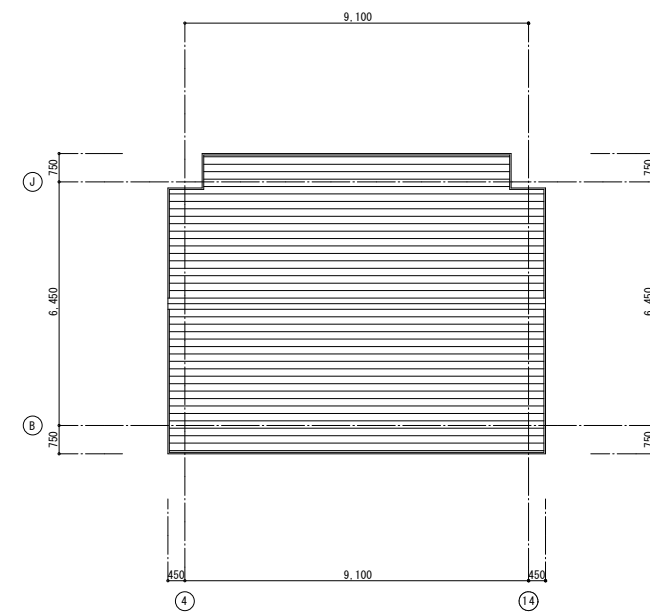
床面積・建築面積 (建築基準法)		
住戸床面積	①+②+③+⑦+⑩+⑫	76.84 m ²
1階床面積	①+②+③+④+⑤+⑥	98.38 m ²
2階床面積	⑦+⑧+⑨+⑪+⑫	55.30 m ²
延べ床面積	98.38 + 55.30	153.68 m ²
建築面積	98.38 + (A)+(B)+(C)+(D)	116.76 m ²



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



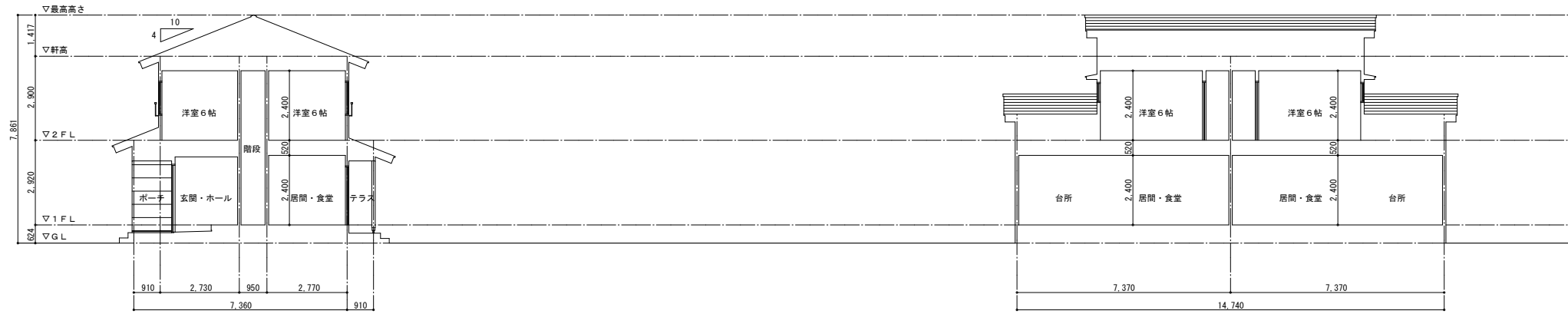
屋根伏図 S=1:100



凡例	
	住戸間壁 6B-R12.5+6B-R12.5 (両面) グラスウール厚105 (16kg/cm ²) 充填
	管柱: 120×120 (仕上寸法)
	通し柱: 120×120 (仕上寸法)
	筋違: 45×90 (片掛け)
	筋違: 45×90 (たすき掛け)
	床下点検口: 450×450 (アルミ製)

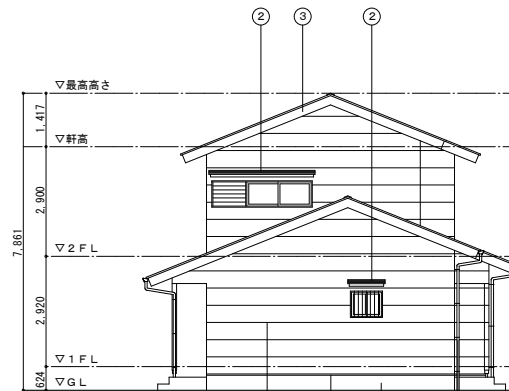
階段寸法	
階高	2.920
段数	14段
有効幅	805
蹴上	R=2.920/14=208.57
踏面	T=205
勾配	R×2+T=622.14 550 ≤ 622.14 ≤ 650 OK R/T=208.57/205=1.017 22/21=1.04 > 1.017 OK
滑り防止	あり
蹴込板	あり
蹴込み	なし
段鼻	20
手摺	片側 設置高=先端より750程度

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若菜4丁目22番24号 TEL: 099-213-1852 内 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号	
				R7.11.				図面種類
				縮尺				
1:100 (A3-1:200)	全							

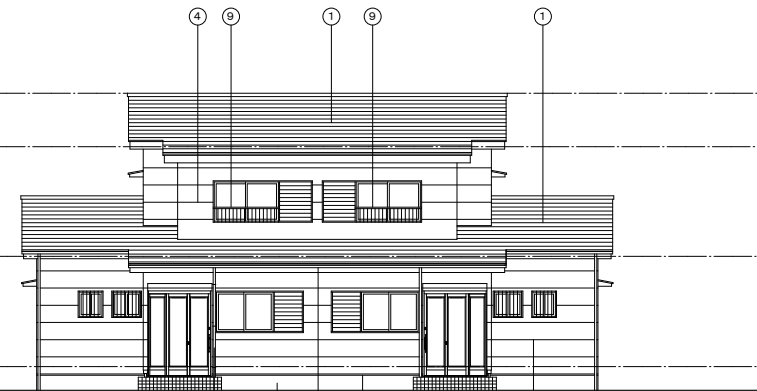


A-A断面図 S=1:100

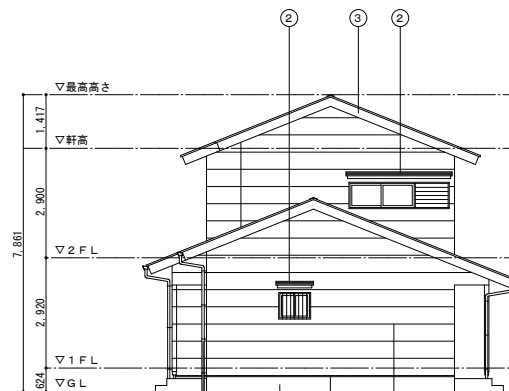
B-B断面図 S=1:100



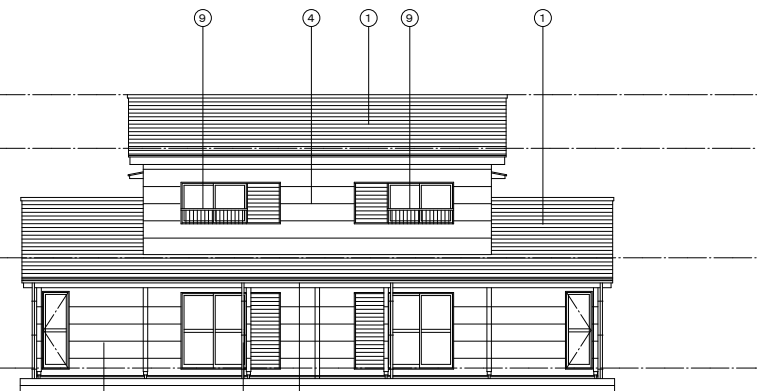
東側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100



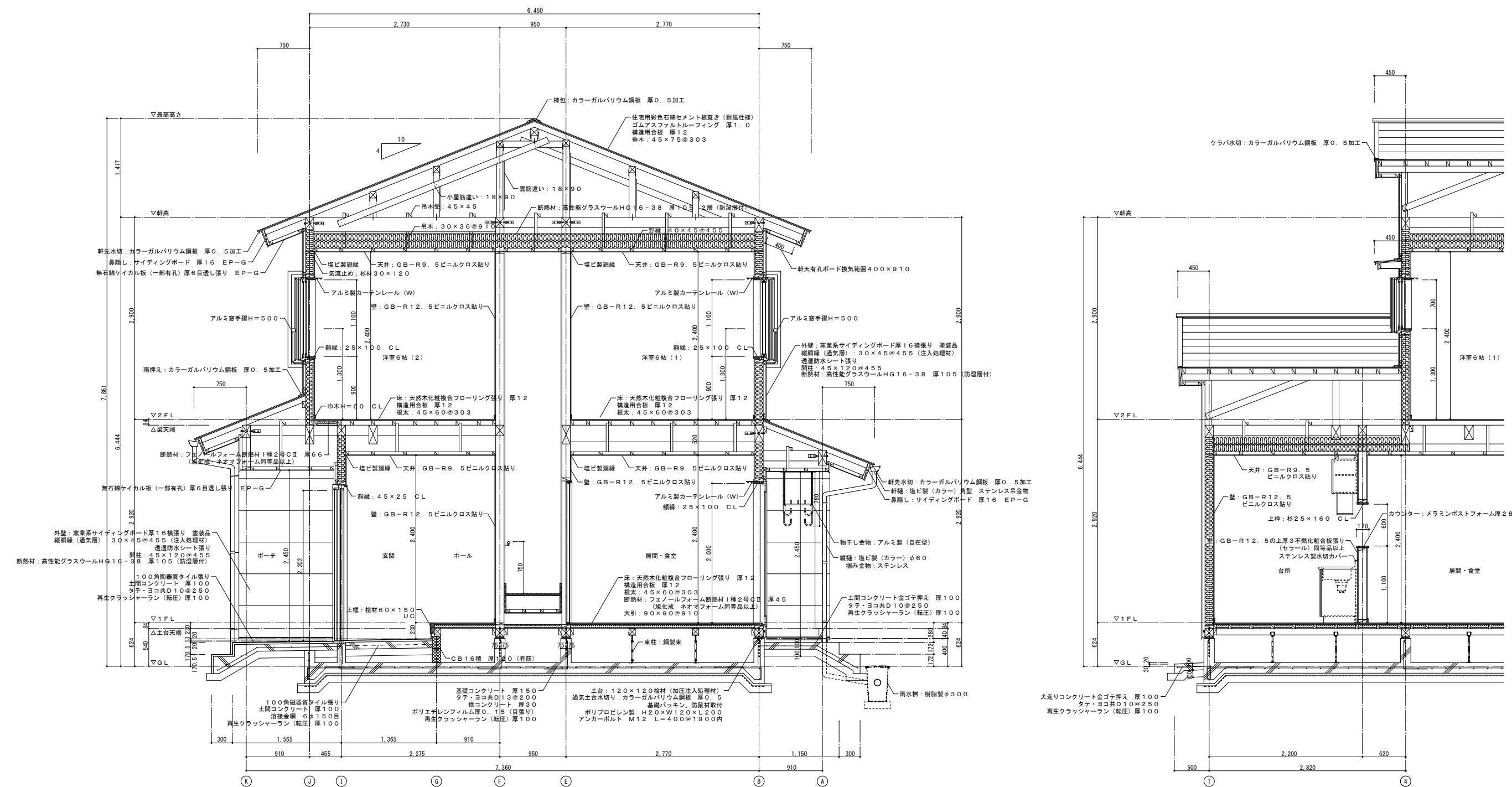
西側立面図 S=1:100



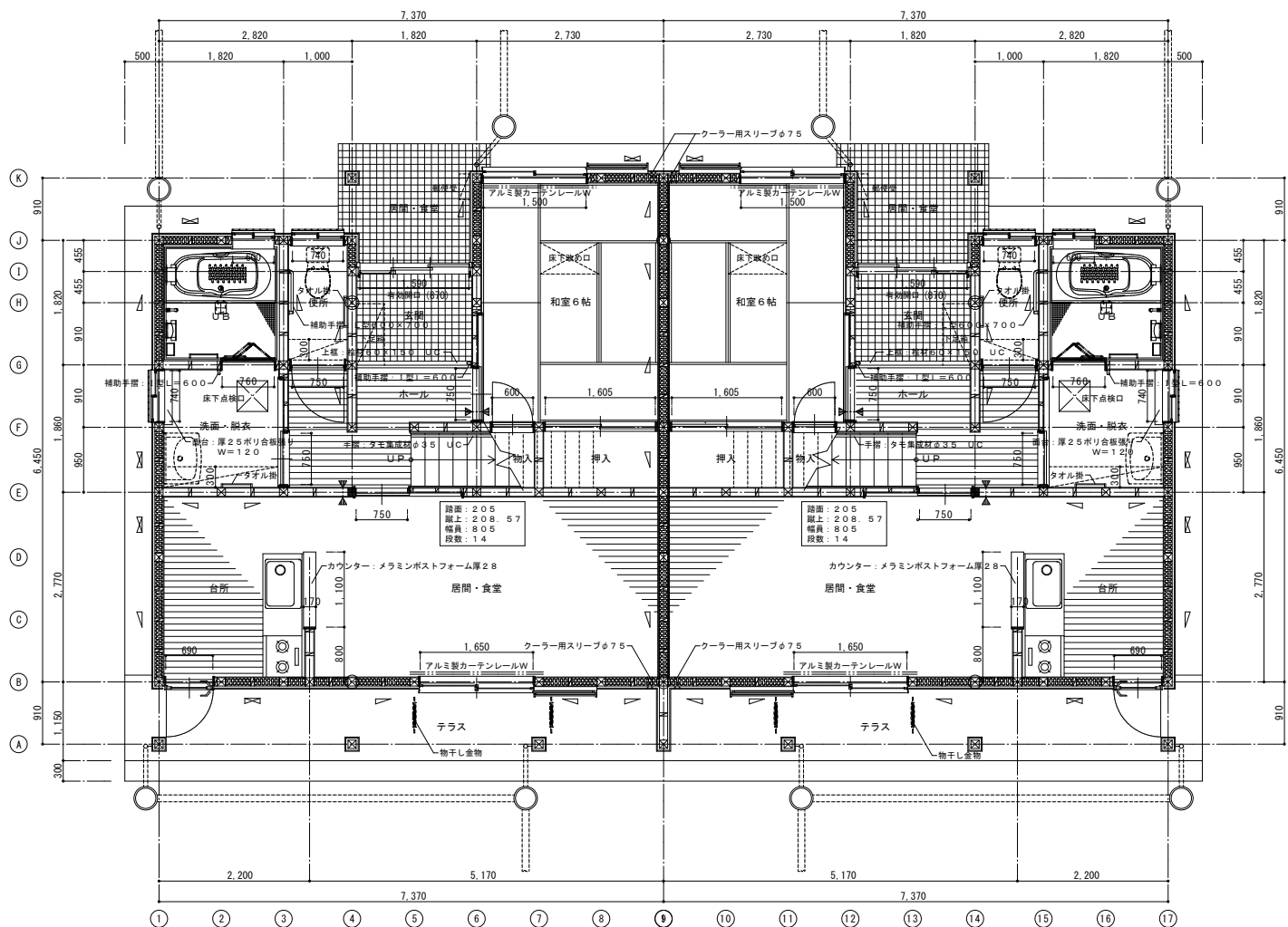
南側立面図 S=1:100

① 屋根：住宅用彩色石綿セメント板葺き（耐風仕様）	⑥ 土台水切：カラーガルバリウム鋼板 厚0.5（床下換気土台パッキン工法）
② 庇屋根：カラーガルバリウム鋼板 厚0.5 平葺き	⑦ 軒種：塩ビ製カラー 角型吊金物：ステンレス
③ 破風板・鼻隠し：厚16窯業系サイディングボード張り EP-G	⑧ 縦種：塩ビ製カラー φ60 振込み金物：ステンレス
④ 外壁：厚16窯業系サイディングボード横張り 塗装品	⑨ 窓手摺：アルミ製 H=500
⑤ 巾木：コンクリート打放し補修	

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若菜4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日 R7.11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 A-08
				縮尺 1:100 (A3-1:200)	図面種類 立面図・断面図	全

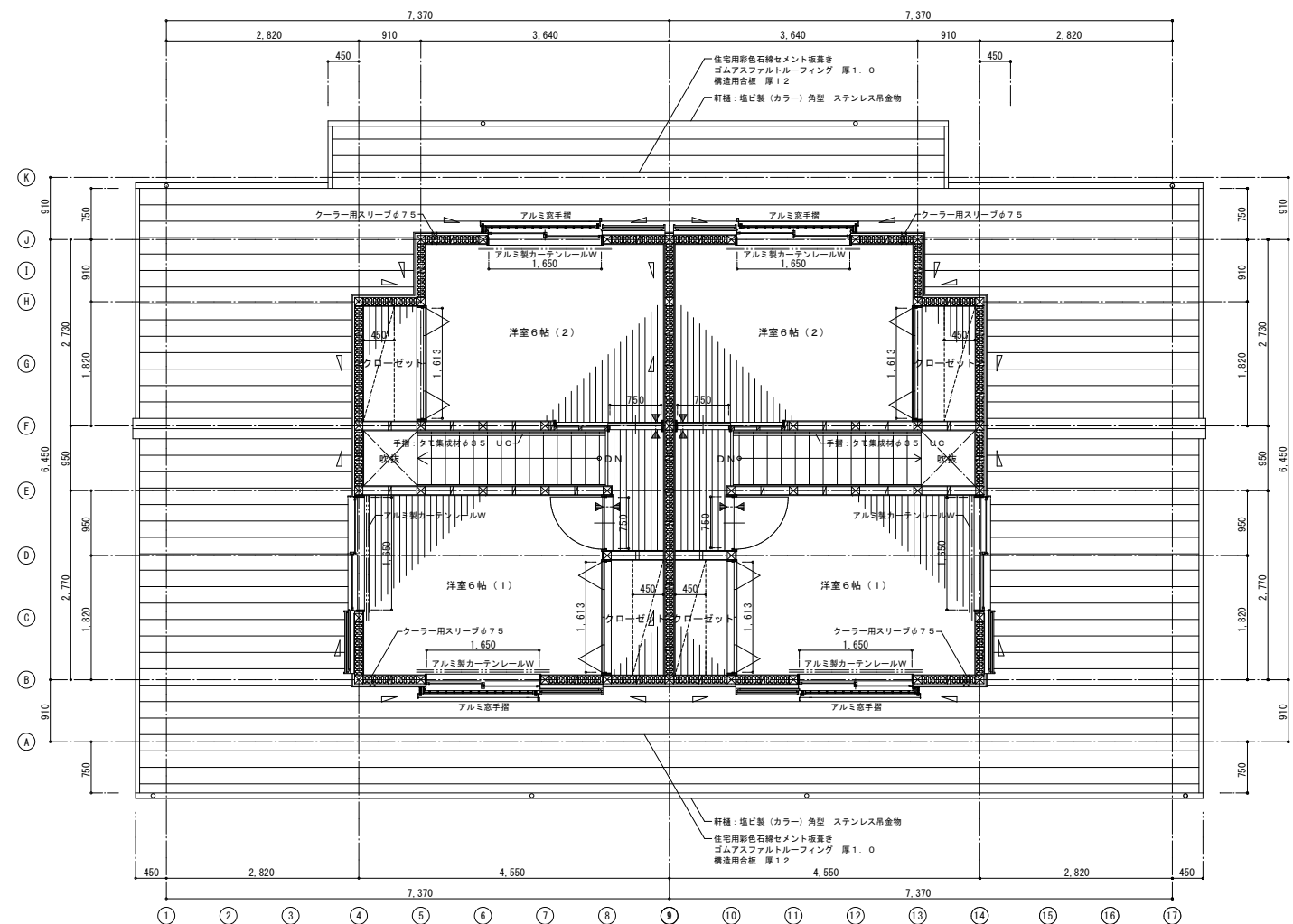
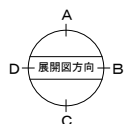


一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市港町4丁目22番24号 TEL: 099-232-1852 FAX: 099-252-7375 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日 R7. 11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 A-09
	縮尺 1:30 (A3-1:60)	図面種類 矩計図-1	全			



1階平面詳細図 S=1:50

- ⊗ 通し柱: 120×120
- ▼ 電話用スリーブφ16
- ▽ 筋違: 45×90
- ⊠ 筋違: 45×90 たすき掛け



2階平面詳細図 S=1:50

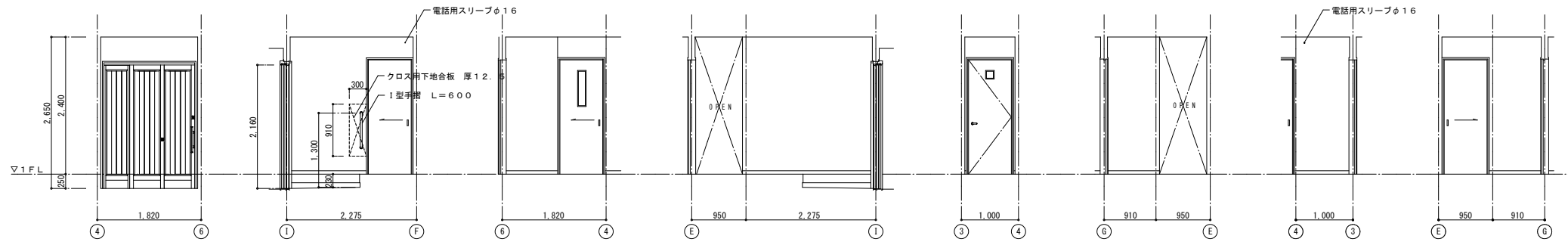
- ⊗ 通し柱: 120×120
- ▼ 電話用スリーブφ16
- ▽ 筋違: 45×90
- ⊠ 筋違: 45×90 たすき掛け

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4632 FAX: 099-252-7376 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
				R7.11.			
				縮尺	図面種類	1階・2階平面詳細図	全
				1:50 (A3-1:100)			

※展開図は左住戸部分を示す（右住戸は逆勝手）

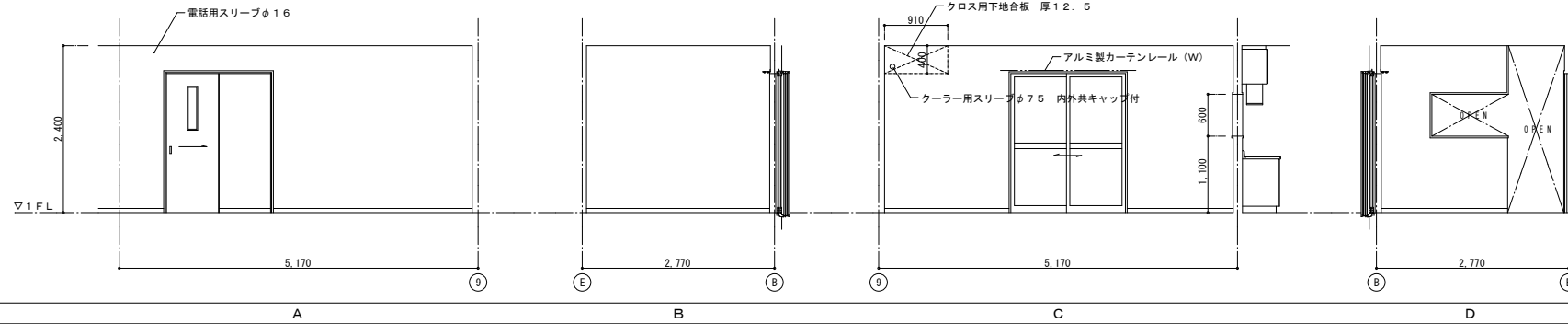
玄関	
床	100角陶器質タイル張り
巾木	100角陶器質タイル張り
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	上程：鏡 60×150面取UC 付框 鏡 30×150面取UC I型手摺：L=600 φ35（集成材ウレタン塗装） クロス下地合板 厚12.5

ホール・廊下	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 鋼製床+木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	



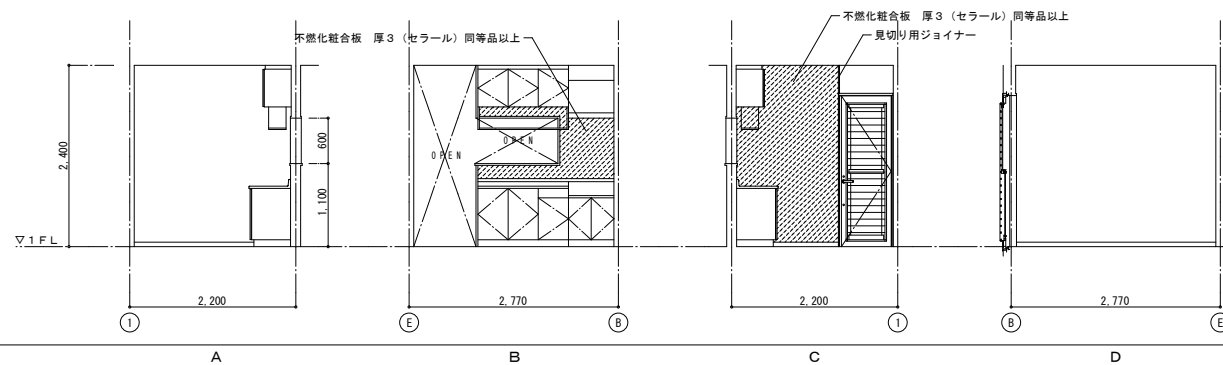
玄関・ホール・廊下

居間・食堂	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 鋼製床+木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	クーラー用スリプ：φ75（キャップ付）クロス下地合板 厚12.5 電話用スリプ：φ16 アルミ製カーテンレール（W）



居間・食堂

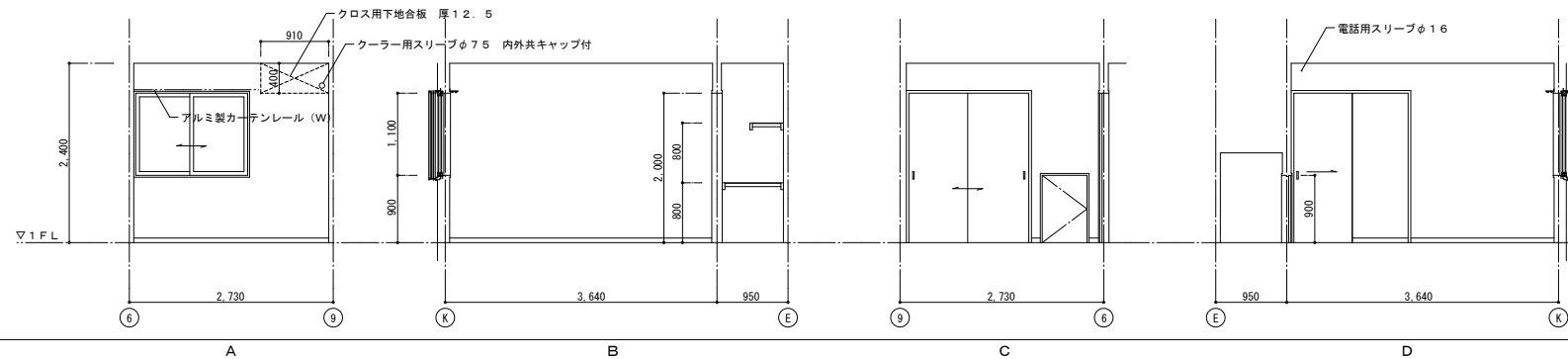
台所	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 鋼製床+木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5（界壁側） ビニルクロス貼り 流し前・ヨコ：不燃化粧合板 厚3（セラール）同等品以上
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	ステンレス流し L=1,200 コンロ台 L=600（バックガード付） 吊戸棚 L=1,200 水切棚 L=1,200（1段） レンジフード（設置工事）



台所

和室6帖	
床	タタミ敷き 厚55 木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	タタミ寄せ H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	電話用スリプ：φ16 アルミ製カーテンレール（W） クーラー用スリプ：φ75（キャップ付）クロス下地合板 厚12.5

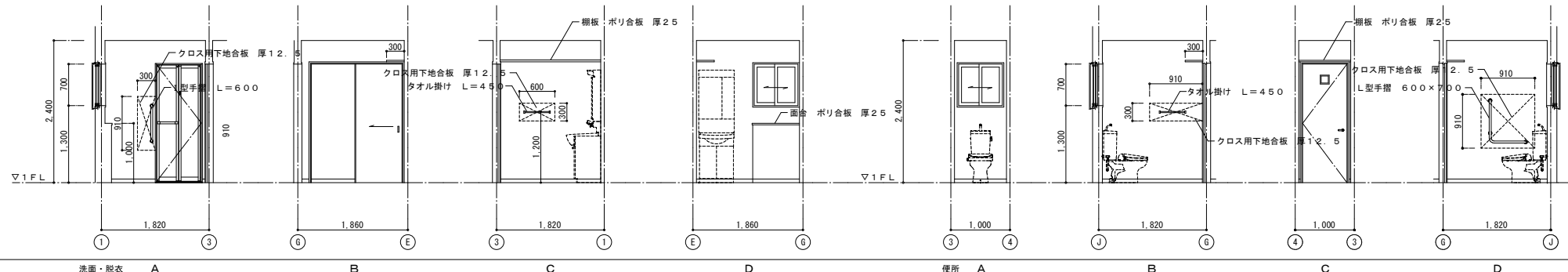
押入・物入	
床	鋼製床+木造床組の上T1ラワン合板 厚9
巾木	雑巾摺
壁	木造軸組+押入ボード 厚9.5
天井	木造軸組+押入ボード 厚9.5
備考	（押入）中段、枕棚：T1ラワン合板 厚5.5



和室6帖・押入

洗面・脱衣	
床	長尺塩ビシート張り 厚2 鋼製床+木造床組の上構造用合板 厚12+ベニヤ厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-S12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-S9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	I型手摺：L=600 φ35（集成材ウレタン塗装） タオル掛け：L=450 クロス下地合板 厚12.5 棚板：ポリ合板 厚25 床下点検口：450×450（アルミ枠） 洗面化粧台（設置工事）

便所	
床	長尺塩ビシート張り 厚2 鋼製床+木造床組の上構造用合板 厚12+ベニヤ厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-S12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-S9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	I型手摺：600×700 φ35（集成材ウレタン塗装） タオル掛け：L=450 クロス下地合板 厚12.5 棚板：ポリ合板 厚25



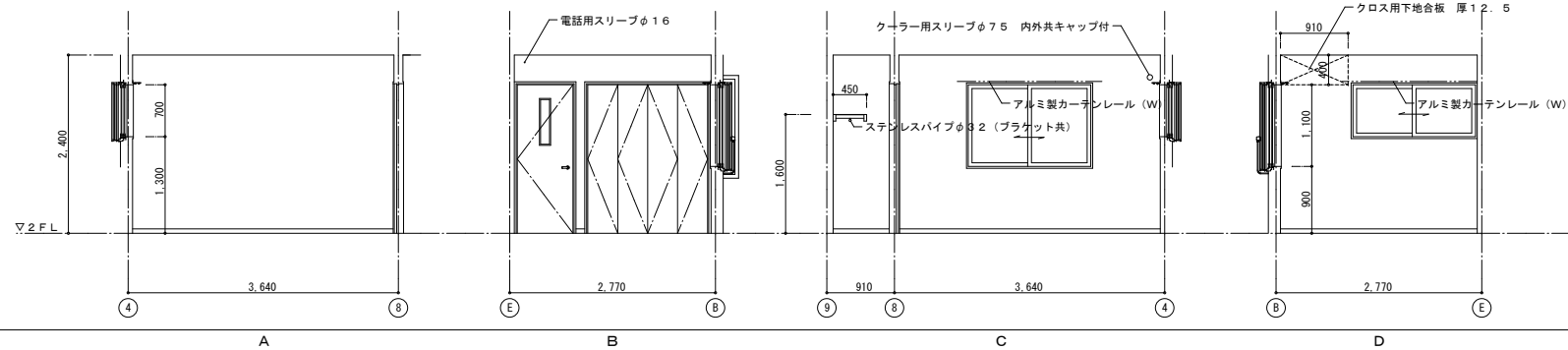
洗面・脱衣・便所

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4632 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計 担当 製図	設計年月日 R7.11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 A-12 全
縮尺 1:50 (A3-1:100)	図面種類 展開図-1			

※展開図は左住戸部分を示す（右住戸は逆勝手）

洋室6帖(1)	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	電話用スリーブ: φ16 アルミ製カーテンレール(W) クーラー用スリーブ: φ75 (キャップ共) クロス下地合板 厚12.5

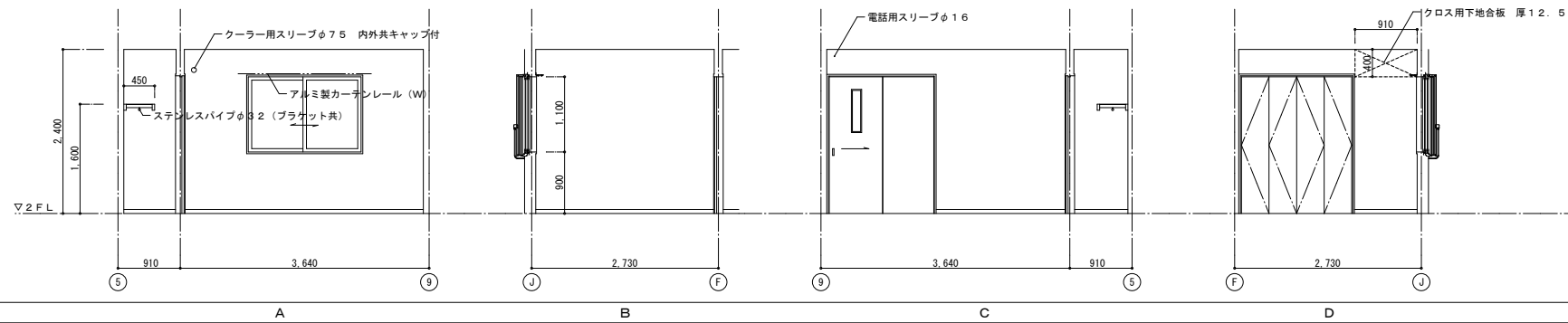
クローゼット	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+押入ボード9.5 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側) ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+押入ボード 厚9.5
備考	中段: T1ラワン合板 厚5.5 ステンレスパイプφ32 (ブラケット共)



洋室6帖(1)

洋室6帖(2)	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+GB-R12.5下地 木造軸組+GB-R12.5+GB-R12.5 (界壁側) ビニルクロス貼り
天井	木造軸組+GB-R9.5下地 ビニルクロス貼り
備考	電話用スリーブ: φ16 アルミ製カーテンレール(W) クーラー用スリーブ: φ75 (キャップ共) クロス下地合板 厚12.5

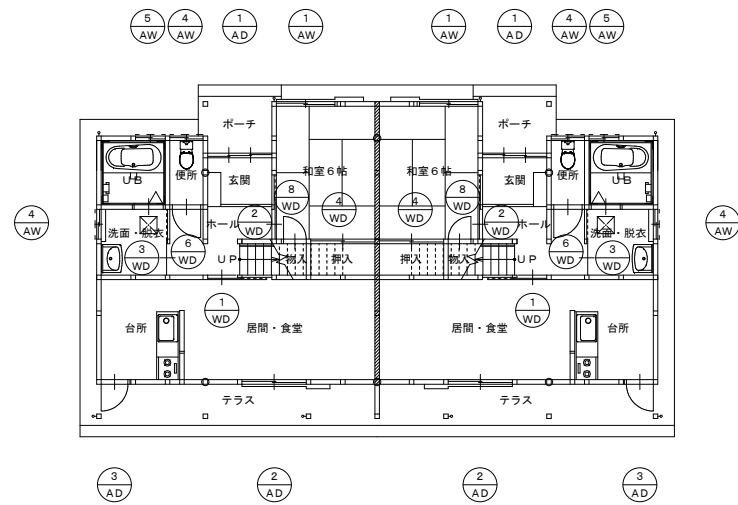
クローゼット	
床	天然木化粧複合フローリング張り 厚12 木造床組の上構造用合板 厚12
巾木	木製巾木 H=60 (CL)
壁	木造軸組+押入ボード9.5
天井	木造軸組+押入ボード 厚9.5
備考	中段: T1ラワン合板 厚5.5 ステンレスパイプφ32 (ブラケット共)



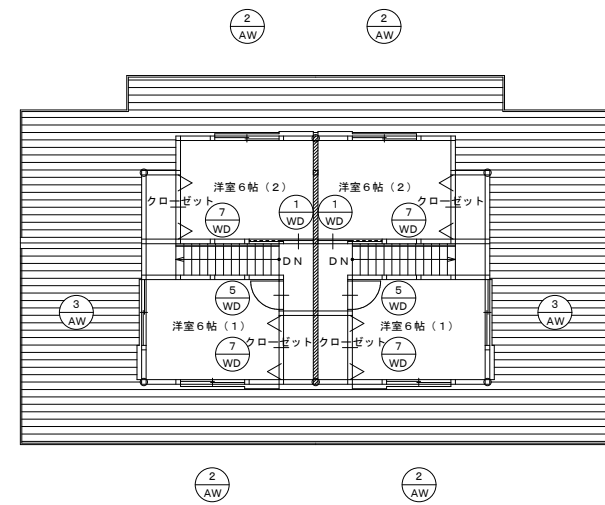
洋室6帖(2)

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 内 FAX: 099-252-7375 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
				R7.11.			A-13
				縮尺			全

図面種類 展開図-2



1階建具配置図 S=1:100



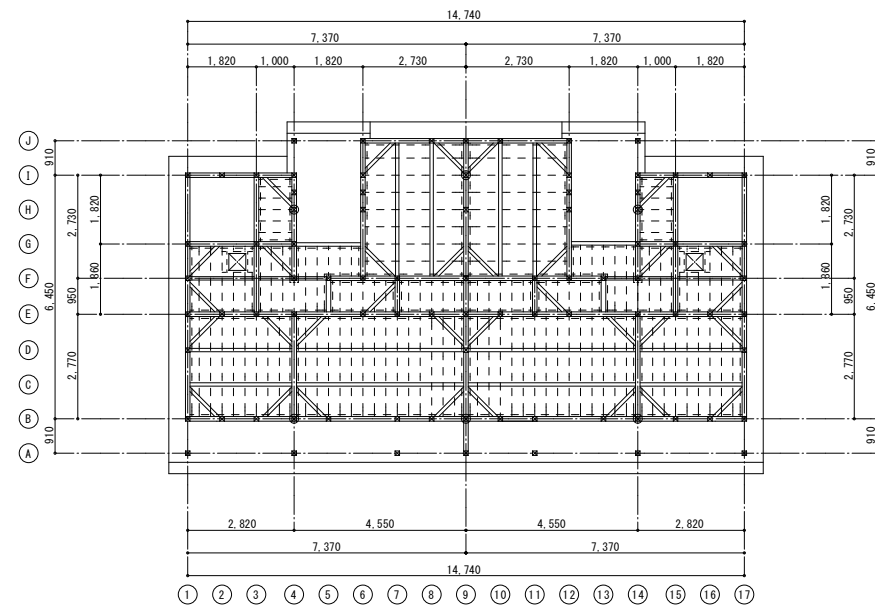
2階建具配置図 S=1:100

居室採光・換気の検討

階数	室名	床面積 (A)	採光検討 (法28-1)		換気検討 (法28-2)		排煙検討 (法35) (令126の2-1)				
			必要開口面積 (A/7)	有効開口面積	必要開口面積 (A/2.0)	有効開口面積	必要開口面積 (A/5.0)	有効開口面積			
1階	台所 居間・食堂	20.4149	2.92	AD2: 2.0×1.65=3.30 AD3: 2.0×0.69=1.38 4.68≥2.92	0K	1.03	AD2: 2.0×0.82=1.64 AD3: 2.0×0.69=1.38 3.02≥1.03	0K	0.41	告示 第1436号 四一による	OK
	和室6帖	9.9372	1.42	AW1: 1.1×1.50=1.65 1.65≥1.42	0K	0.50	AW1: 1.1×0.75=0.82 0.82≥0.50	0K	0.20	告示 第1436号 四一による	OK
2階	洋室6帖 (1)	10.0828	1.45	AW2: 1.1×1.65=1.815 AW3: 0.7×1.65=1.155 2.97≥1.45	0K	0.51	AW2: 1.1×0.82=0.90 AW3: 0.7×0.82=0.57 1.47≥0.51	0K	0.21	告示 第1436号 四一による	OK
	洋室6帖 (2)	9.9372	1.42	AW2: 1.1×1.65=1.815 1.815≥1.42	0K	0.50	AW2: 1.1×0.82=0.90 0.90≥0.50	0K	0.20	告示 第1436号 四一による	OK

※必要面積 (m²) 小数点3位以下は切り上げとする。

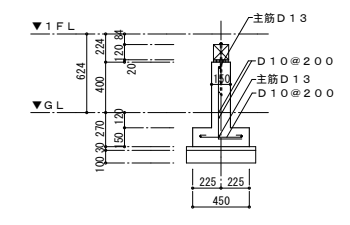
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日 R7. 11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 A-14
				縮尺 1:100 (A3-1:200)	図面種類 建具配置図	全



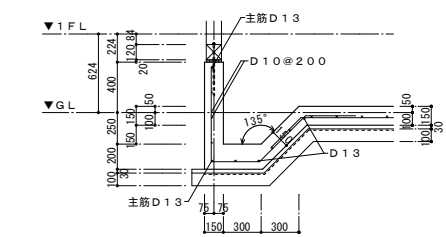
1階床伏図 S=1:100

土台	120×120 桧材 (加圧注入処理材)
大引	90×90 杉材@910
根太	(和室) 45×60 杉材@455 (その他) 45×60 杉材@303
根太掛け	45×90 杉材
火打土台	90×90 杉材
通し柱	120×120 杉材 (認定「かごしま材」)
管柱	120×120 杉材 (認定「かごしま材」)
間柱	45×120 杉材@455
床下点検口	450×450 既製品 (アルミ枠)

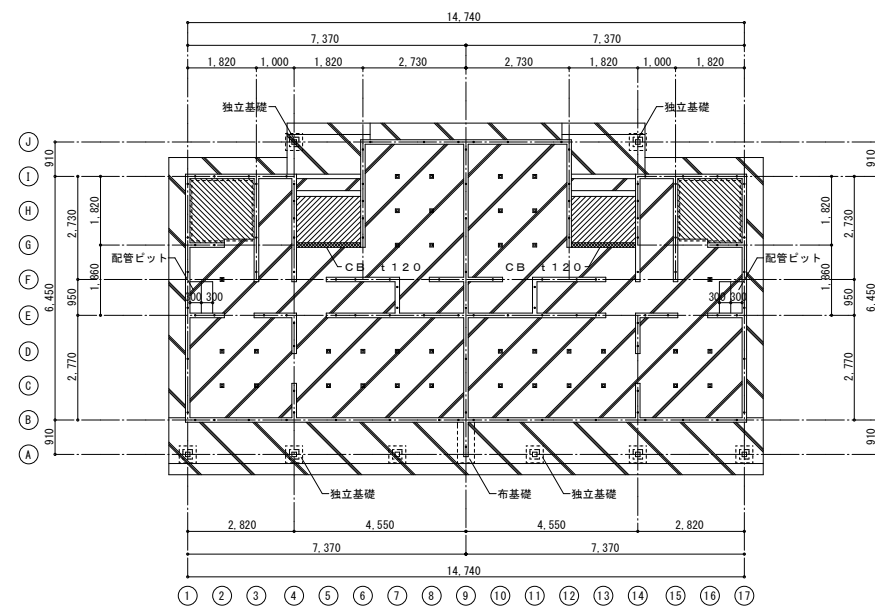
注) 1. 土台・柱・筋違い等は、防蟻・防蟻処理の事とすること。
 2. 構造用金物は、住宅金融公庫仕様による。
 3. UBと床との固定はメーカーの床固定金物を使用すること。
 4. 構造用合板くぎ打種類 N50 間隔150mmとする。



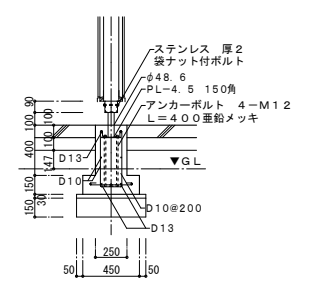
布基礎詳細図 S=1:30



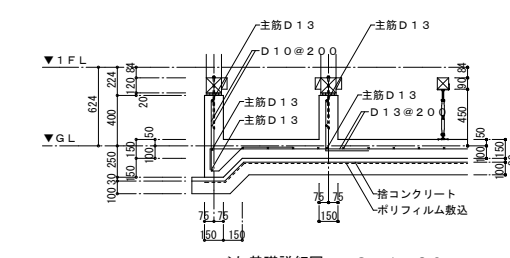
配管ビット廻り断面図 S=1:30



基礎伏図 S=1:100



独立基礎詳細図 S=1:30

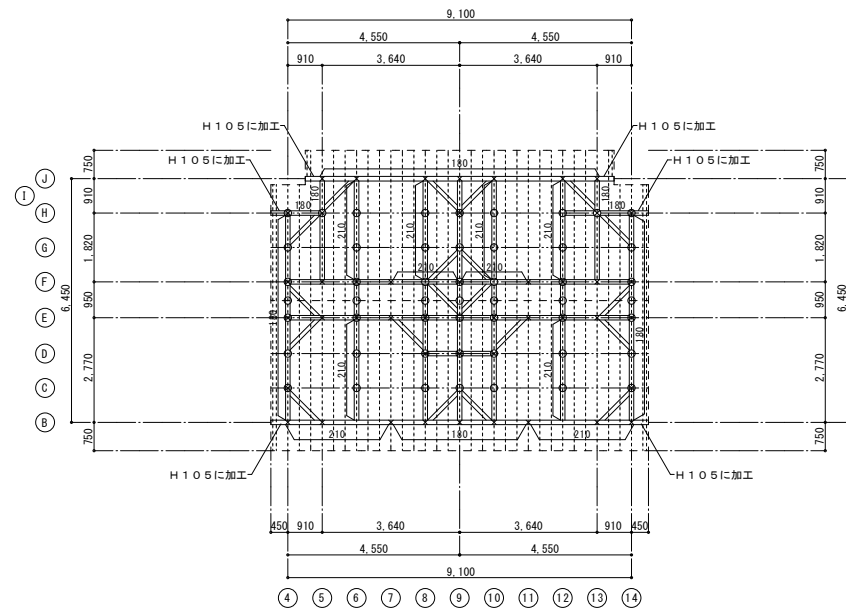


べた基礎詳細図 S=1:30

	べた基礎 t=150 (D13@200 タテ・ヨコ共) 立上り t=150 H=400 (コンクリート天端)
	土間コンクリート・犬走り t=100 D10@250タテ・ヨコ共
	増打ちコンクリート (べた基礎上) t=100 (溶接金網 φ6-150×150) t=100再生クワッシャーラン (転圧)
	増打ちコンクリート (べた基礎上) t=270 (溶接金網 φ6-150×150)
	鋼製束
	アンカーボルト M12 L=400 @1900以内 垂鉛メッキ 埋込み長さ=260
換気孔	土台パッキン ポリプロピレン製 H20-120×200 (柱下、アンカーボルト部、仕口部下、土台継手下、その他1m以内に設置)

注) 1. 鉄筋: SD295
 躯体コンクリート: FC=21N/mm²+3N/mm²
 土間コンクリート: FC=18N/mm²
 2. 土壌 (防蟻) 処理をすること。

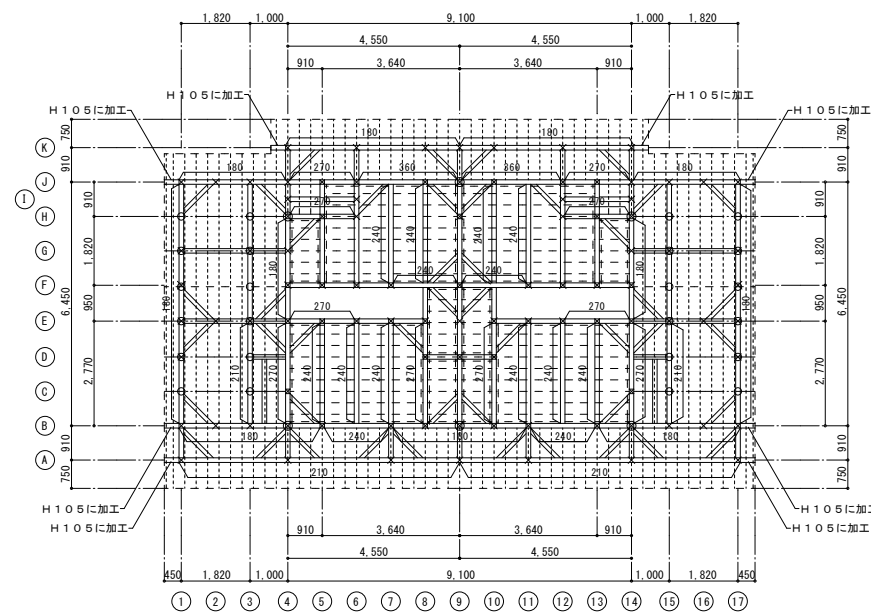
※許容支持力について: 地盤調査の結果 30KN/m²とした。



小屋伏図 S=1:100

火打梁	105×105 杉材 (13φボルト締め)
×	2階柱位置を示す
小屋束	90×90 杉材
小屋筋違い 振止	18×90 杉材
母屋	90×90 杉材@910
棟木	105×120 杉材
垂木	45×75 杉材@303

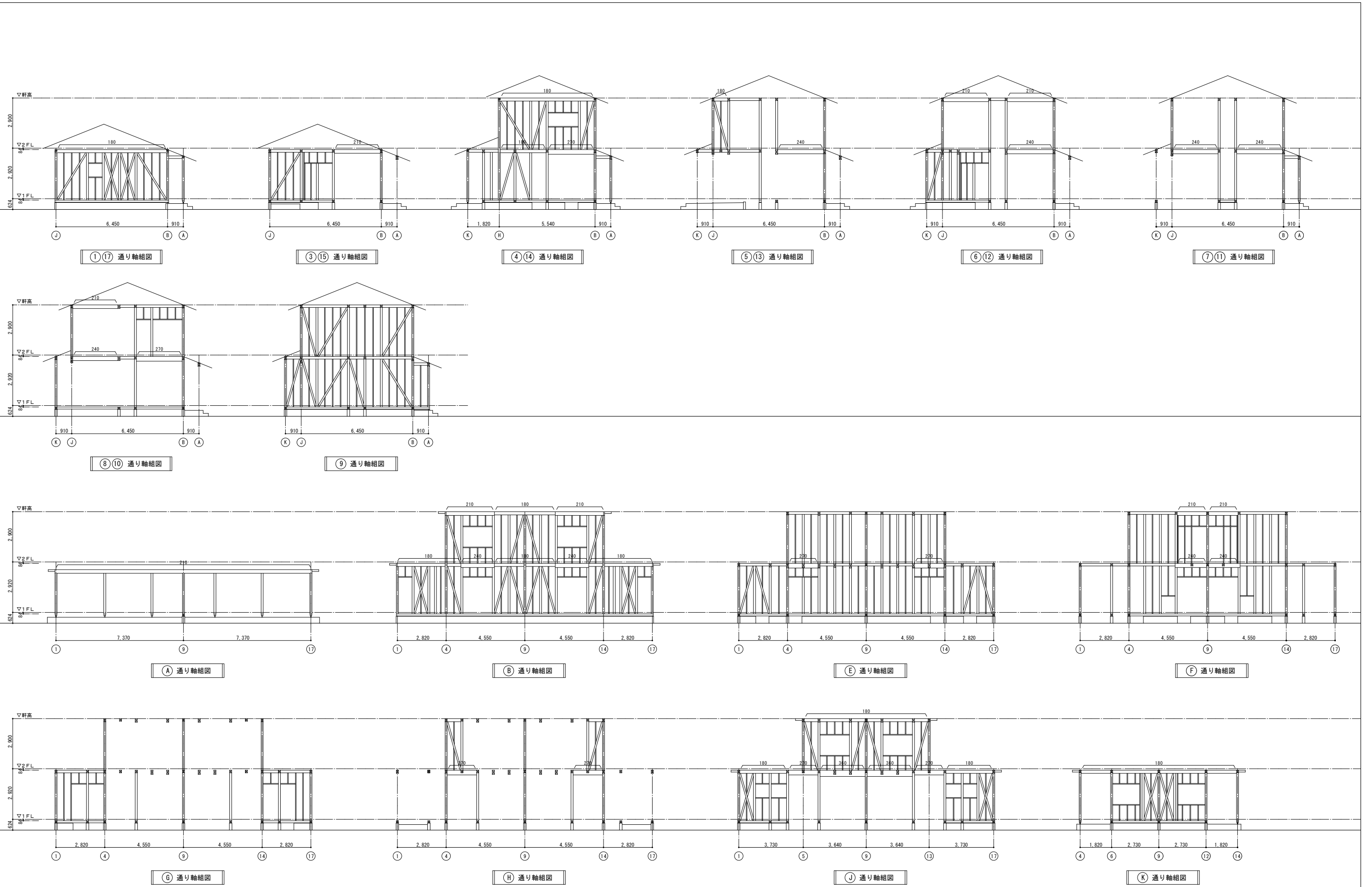
注) 1. タイコ梁を除く箇表中記寸法は梁せい寸法 (H) を示し、梁巾寸法 (W) は120とする。
 なお、特記無き部材は、120 (W) × 150 (H) とする。
 2. 垂木は、ひねり金物を用いて桁・母屋・棟木に取付ること。
 3. 構造用金物は、住宅金融公庫仕様による。
 4. 柱、桁、梁部材は、杉材 (認定「かごしま材」) とする。
 5. 構造用合板くぎ打種類 N50 間隔150mmとする。



2階床伏図 S=1:100

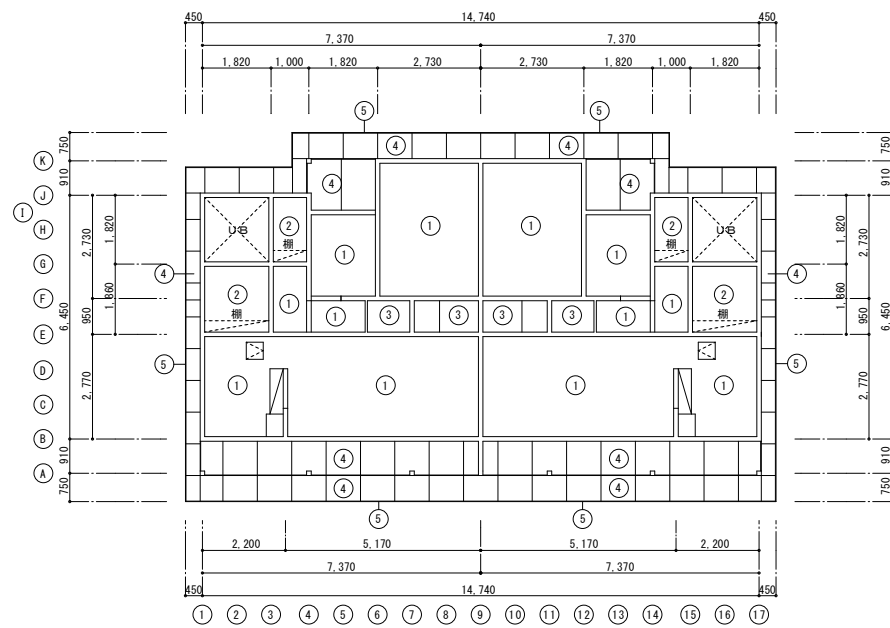
火打梁	105×105 杉材 (13φボルト締め)
⊙	通し柱 120×120 杉材
⊠	管柱 120×120 杉材
×	1階柱位置を示す
間柱	45×120 杉材@455
根太	45×60 杉材@303
根太掛け	45×90 杉材
母屋	90×90 杉材@910
棟木	105×120 杉材
垂木	45×75 杉材@303
小屋束	90×90 杉材

注) 1. タイコ梁を除く箇表中記寸法は梁せい寸法 (H) を示し、梁巾寸法 (W) は120とする。
 なお、特記無き部材は、120 (W) × 150 (H) とする。
 2. 構造用金物は、住宅金融公庫仕様による。
 3. 柱、桁、梁部材は、杉材 (認定「かごしま材」) とする。
 4. 構造用合板くぎ打種類 N50 間隔150mmとする。

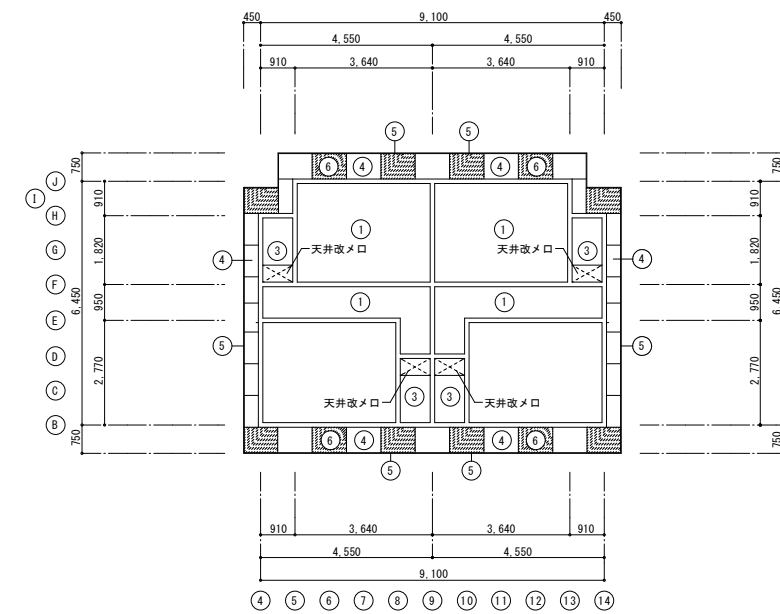


註) 特記なき部材は120 (W) × 150 (H) とする。

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 内 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
				R7. 11.			A-18
				縮尺			図面種類
1:100 (A3-1:200)				軸組図		全	



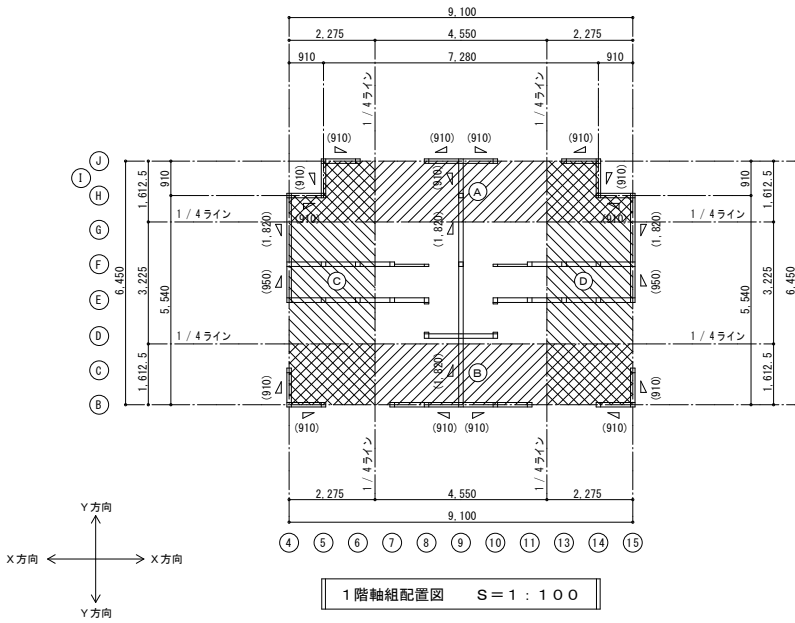
1階天井伏図 S=1:100



2階天井伏図 S=1:100

符号	仕上
①	GB-R9. 5下地ビニルクロス張り
②	GB-S9. 5下地ビニルクロス張り
③	押入ボード 厚9. 5
④	軒天井: 無石棉ケイカル板 厚6目透し張りEP-G塗り
⑤	破風板・鼻隠し: サイディングボード厚16 EP-G塗り
⑥	軒天井: 有孔無石棉ケイカル板 500×910 厚6目透し張りEP-G塗り
☒	天井点検口: アルミ製450角

※小屋裏換気(軒天有孔ボード: 開口率6.9% 換気口の有効面積1/250以上確保)
 2階床面積 55.31㎡ 55.31×1/250 = 0.22124㎡ < (0.4×0.91×12)×0.069 = 0.301392㎡



1階軸組配置図 S = 1 : 100

側端部分	床面積
(A)	9.10 × (1.6125 - 0.91) + 7.28 × 0.91 = 13.018
(B)	9.10 × 1.6125 = 14.674
(C)	6.45 × (2.275 - 0.91) + 5.54 × 0.91 = 13.846
(D)	6.45 × (2.275 - 0.91) + 5.54 × 0.91 = 13.846

□構造耐力上必要な軸組等の計算 (令46条)

必要壁量 (地震力)		面積 (㎡)・壁長・壁量 (cm)						
床面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量
55.30	23.00	1271.90	15.41	50.00	770.50	30.09	50.00	1504.50
		判定値	判定値	判定値	判定値	判定値	判定値	判定値
			1271.90		770.50		50.00	1504.50

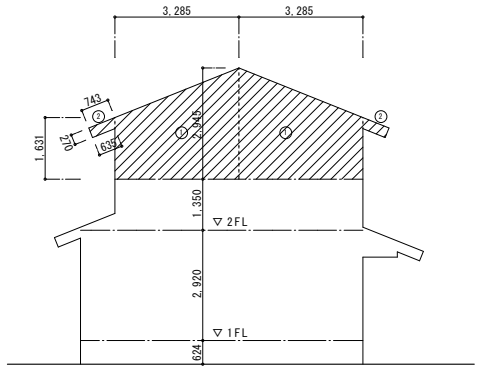
軸組の種類	存在壁量 (X方向)			存在壁量 (Y方向)		
	壁長	個所	倍率	壁長	個所	倍率
筋違い 90×45 一方				182.00	4	2.00
筋違い 90×45 一方				95.00	2	2.00
筋違い 90×45 一方	91.00	10	2.00	1820.00	91.00	5
筋違い 90×45 一方				91.00	2	2.00
合計	1820.00			2746.00		
	判定 OK			判定 OK		

必要壁量 (X方向)		側端部分 (下) (B)		必要壁量 (Y方向)		側端部分 (左) (C)		側端部分 (右) (D)	
側端部分 (上) (A)	床面積	係数	必要壁量	側端部分 (下) (B)	床面積	係数	必要壁量	側端部分 (左) (C)	床面積
13.018	23.00	299.42	14.674	23.00	337.51	13.846	23.00	318.46	13.846
14.674									
13.846									
13.846									

存在壁量 (X方向)				存在壁量 (Y方向)											
側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)	側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)								
壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量
91.00	6	2.00	1092.00	91.00	4	2.00	728.00	182.00	1	2.00	364.00	182.00	1	2.00	364.00
								95.00	1	2.00	190.00	95.00	1	2.00	190.00
								91.00	2	2.00	364.00	91.00	2	2.00	364.00
合計			1092.00	合計			728.00	合計			918.00	合計			918.00

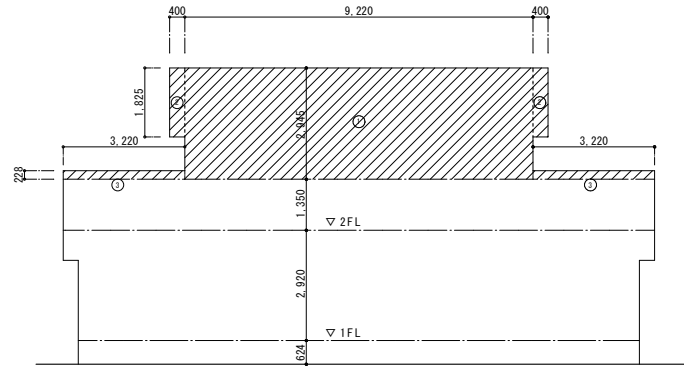
壁充足率 (X方向)				壁充足率 (Y方向)				
側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)	側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)	
存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率
1092.00	299.42	3.64	728.00	337.51	2.15	918.00	318.46	2.88

壁率比 (X方向)				壁率比 (Y方向)			
壁充足率 (小)	壁充足率 (大)	壁率比	判定	壁充足率 (小)	壁充足率 (大)	壁率比	判定
2.15	3.64	0.59	OK	2.88	2.88	1.00	OK



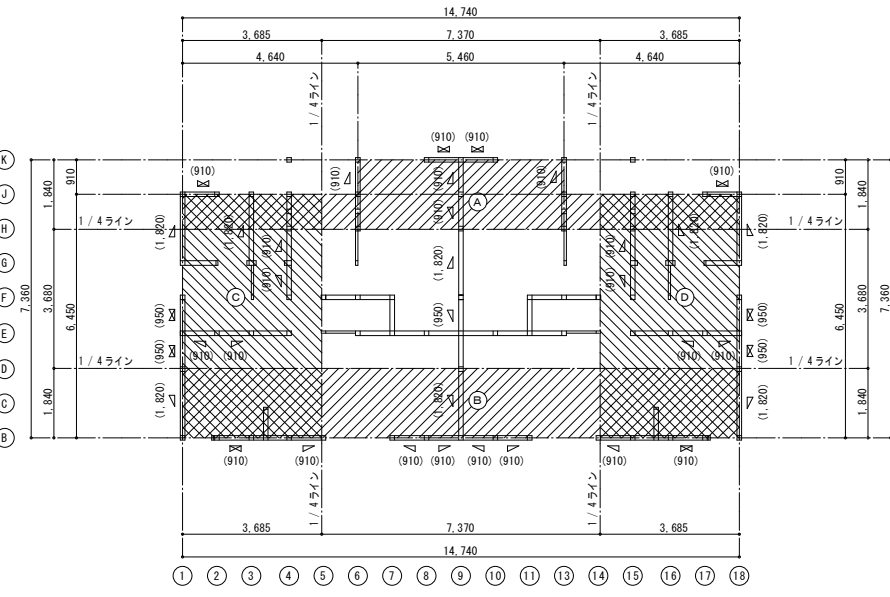
桁行き方向 (X方向) の軸組に対する見付け面積 S = 1 : 100

①	(2.945 + 1.631) × 3.285 × 0.5 × 2	15.03216
②	(0.743 + 0.635) × 0.27 × 0.5 × 2	0.37206
		15.40422
		15.41



はり間方向 (Y方向) の軸組に対する見付け面積 S = 1 : 100

①	9.22 × 2.945	27.1529
②	0.4 × 1.825 × 2	1.46
③	3.22 × 0.228 × 2	1.46832
		30.08122
		30.09



1階軸組配置図 S = 1 : 100

側端部分	床面積
(A)	14.74 × (1.84 - 0.91) + 5.46 × 0.91 = 18.677
(B)	14.74 × 1.84 = 27.122
(C)	3.685 × 6.45 = 23.768
(D)	3.685 × 6.45 = 23.768

□構造耐力上必要な軸組等の計算 (令46条)

必要壁量 (地震力)		面積 (㎡)・壁長・壁量 (cm)						
床面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量
98.38	29.00	2853.02	37.19	50.00	1859.50	75.19	50.00	3759.50
		判定値	判定値	判定値	判定値	判定値	判定値	判定値
			2853.02		1859.50		50.00	3759.50

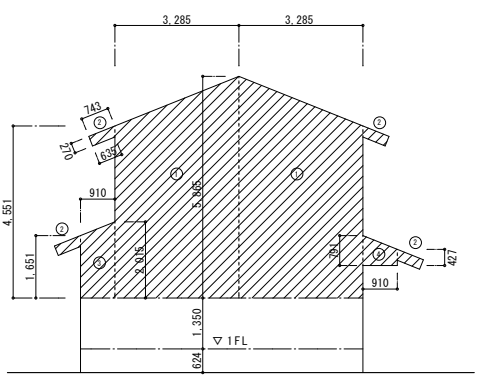
軸組の種類	存在壁量 (X方向)			存在壁量 (Y方向)		
	壁長	個所	倍率	壁長	個所	倍率
筋違い 90×45 一方				182.00	8	2.00
筋違い 90×45 一方				95.00	1	2.00
筋違い 90×45 一方	91.00	10	2.00	1820.00	91.00	8
筋違い 90×45 たすき掛け				95.00	4	4.00
筋違い 90×45 たすき掛け	91.00	6	4.00	2184.00		
合計	4004.00			6078.00		
	判定 OK			判定 OK		

必要壁量 (X方向)		側端部分 (下) (B)		必要壁量 (Y方向)		側端部分 (左) (C)		側端部分 (右) (D)	
側端部分 (上) (A)	床面積	係数	必要壁量	側端部分 (下) (B)	床面積	係数	必要壁量	側端部分 (左) (C)	床面積
18.677	29.00	541.64	27.122	29.00	786.54	23.768	29.00	689.28	23.768

存在壁量 (X方向)				存在壁量 (Y方向)											
側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)	側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)								
壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量
91.00	4	4.00	1456.00	91.00	2	4.00	728.00	182.00	3	2.00	1092.00	182.00	3	2.00	1092.00
								95.00	2	4.00	760.00	95.00	2	4.00	760.00
								91.00	6	2.00	1092.00	91.00	2	2.00	364.00
								91.00	2	2.00	364.00	91.00	2	2.00	364.00
合計			1456.00	合計			1820.00	合計			2216.00	合計			2216.00

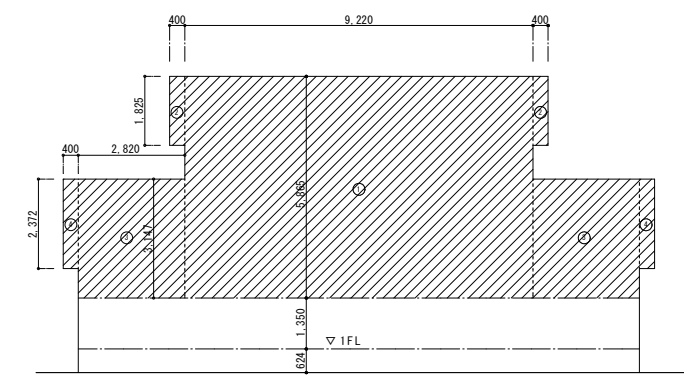
壁充足率 (X方向)				壁充足率 (Y方向)				
側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)	側端部分 (上) (A)	側端部分 (下) (B)	側端部分 (左) (C)	側端部分 (右) (D)	
存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率
1456.00	541.64	2.68	1820.00	786.54	2.31	2216.00	689.28	3.21

壁率比 (X方向)				壁率比 (Y方向)			
壁充足率 (小)	壁充足率 (大)	壁率比	判定	壁充足率 (小)	壁充足率 (大)	壁率比	判定
2.31	2.68	0.86	OK	3.21	3.21	1.00	OK



桁行き方向 (X方向) の軸組に対する見付け面積 S = 1 : 100

①	(5.865 + 4.551) × 3.285 × 0.5 × 2	34.21656
②	(0.743 + 0.635) × 0.27 × 0.5 × 4	0.74412
③	(2.015 + 1.651) × 0.91 × 0.5	1.66803
④	(0.791 + 0.427) × 0.91 × 0.5	0.55419
		37.1829
		37.19



はり間方向 (Y方向) の軸組に対する見付け面積 S = 1 : 100

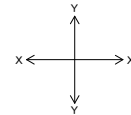
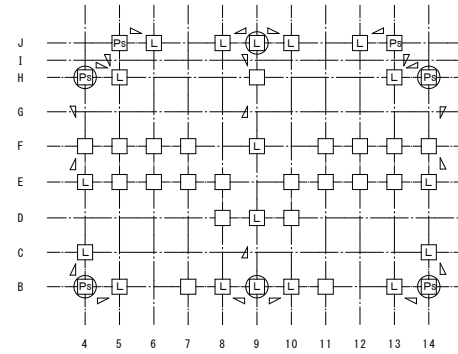
①	9.22 × 5.865	54.0753
②	0.4 × 1.825 × 2	1.46
③	2.82 × 3.147 × 2	17.74908
④	0.4 × 2.372 × 2	1.8976
		75.18198
		75.19

■ 一般区域	
□ 特定行政庁が指定する軟弱地盤区域 (一般区域の1.5倍)	
□ 特定行政庁が指定するその他の区域	
□ 壁・屋根の重量が重い建築物 (土蔵造、瓦葺等)	
■ 屋根の軽い建築物 (金属板、スレート葺等)	
□ 準耐火構造の耐火性能確保 (1.25倍)	
□ 割り増し倍率考慮	
見付面積 (風圧力) に係る条件	
□ 特定行政庁が認める強風区域	
■ 上記以外の区域	

凡例

柱脚 柱頭

筋違い 45×90シングル 2.0倍
筋違い 45×90ダブル 4.0倍



2階柱頭柱脚金物伏図 S = 1 : 100

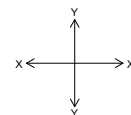
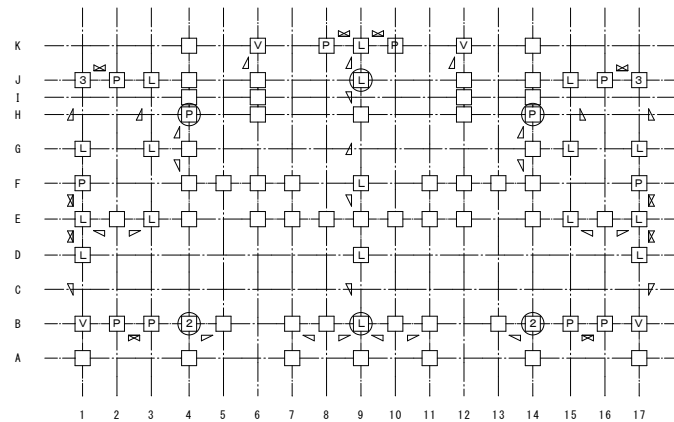
接合部凡例			
記号	仕様	N	倍率
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち	0.00	
(ろ)	N 長ほぞ差し込み栓打ち		0.70
(ろ)	L L字型金物	0.65	0.70
(は)	V V字型金物	1.00	1.00
(は)	T T字型金物		1.00
(に)	P 羽子板ボルト	1.40	1.40
(に)	I 短冊金物		1.40
(ほ)	Ps 羽子板ボルト+スクリュー釘50	1.60	1.60
(ほ)	Is 短冊金物+スクリュー釘50		1.60
(へ)	2 10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80
(と)	3 15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80
(ち)	4 20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70
(り)	5 25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70
(ぬ)	32 15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60
(る)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物	1.90	1.90
(を)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2	3.00	3.00

梁継手・仕口用
梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
筋かいの種類	接合部の仕様 (構造方法)	
イ 鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にDN60、6本平打ち	
ロ 筋かい15×90	柱・横架材を突き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち	
ハ 筋かい30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びDN65、3本平打ち、柱に対してDN65、3本平打ち、横架材に対してDN65、4本平打ち。筋かいプレートBP同等品	
ニ 筋かい45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びビスクリュー釘φ4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50、5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品	
ホ 筋かい90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合	

凡例

- △ 柱脚 柱頭
- ※はその階の柱頭、柱脚金物を示す
- △ 筋違い 45×90シングル 2.0倍
- ⊠ 筋違い 45×90ダブル 4.0倍



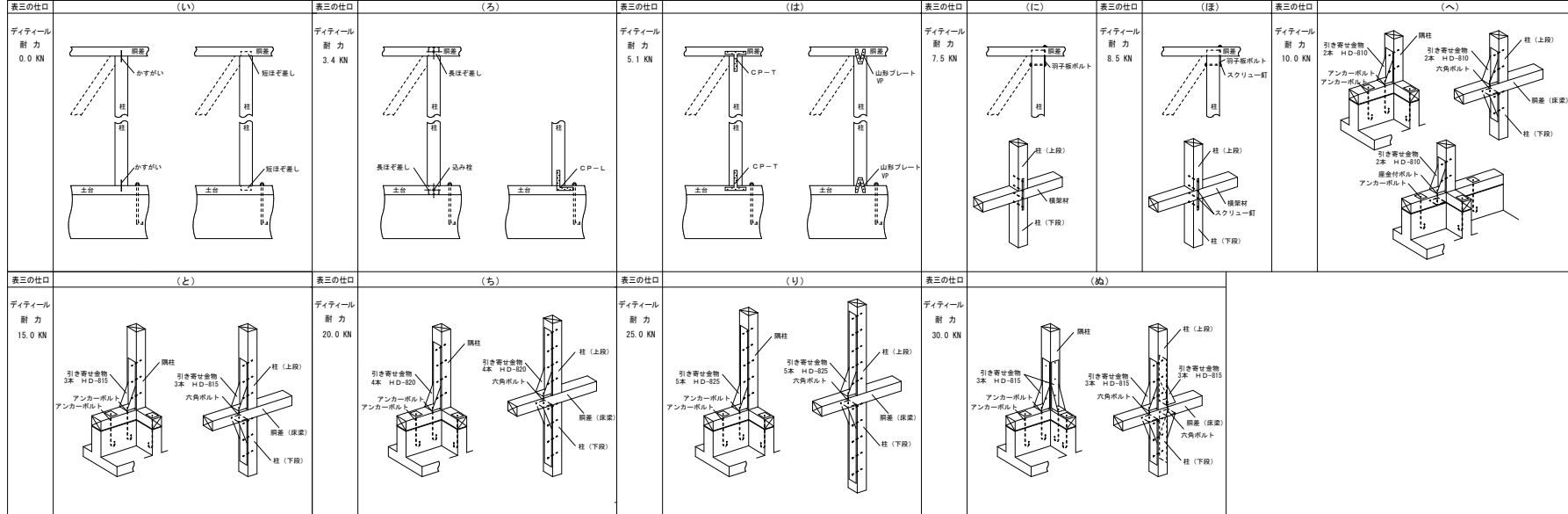
1階柱頭柱脚金物伏図 S = 1 : 100

N値計算による金物選定

※壁荷重が7倍を超える場合には安全率を考慮してそのままである。必要耐力 (kN) = N × 5.3 とする。
 ※耐力が1.5倍を超える場合はN値計算に加工とし、1.5倍以下は加工しない。筋かいの幅高補正は行わない。

X	Y	階	向き	位置	筋かい 倍率	面材 倍率	耐力 倍率	補正係 数	A	B	L	H(m) H/2.7	N値	必要耐力 (kN)	金物 柱頭	柱脚	
1	B	1	X	左	0	0	0	0	0	0.8	0.4	3.004	0.8	4.3	V(は)	V(は)	
1	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.8	0.4	3.004	0.8	4.3	V(は)	V(は)	
1	B	1	Y	左	0	0	0	-0.5	1.5	0.8	0.4	3.004	0.8	4.3	V(は)	V(は)	
1	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.8	0.4	3.004	0.8	4.3	V(は)	V(は)	
2	B	1	X	左	0	0	0	0	4	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
2	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
2	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
2	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
3	B	1	X	左	0	0	0	0	4	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
3	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
3	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
3	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
4	B	1	X	左	0	0	0	0.5	2.5	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
4	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
4	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
4	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
4	B	2	X	左	0	0	0	0.5	2.5	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
4	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
4	B	2	Y	左	0	0	0	0.5	2.5	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
4	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
5	B	1	X	左	2	0	0	-0.5	1.5	0.5	1.6	3.004	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	2	X	左	2	0	0	-0.5	1.5	0.5	1.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	2	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
5	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
7	B	1	X	左	0	0	0	-0.5	1.5	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
7	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
7	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
7	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
8	B	1	X	左	2	0	0	0	1	1	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)
8	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)	
8	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)	
8	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)	
8	B	2	X	左	0	0	0	-0.5	1.5	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
8	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
8	B	2	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
8	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
9	B	1	X	左	2	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	0.4	2.2	金物不要	L(ろ)	
9	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	0.4	2.2	金物不要	L(ろ)	
9	B	1	Y	左	0	0	0	-0.5	1.5	0.5	1.6	3.004	0.4	2.2	金物不要	L(ろ)	
9	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	0.4	2.2	金物不要	L(ろ)	
9	B	2	X	左	2	0	0	0	1	1	0.5	0.6	2.984	0.65	3.4	□(い)	□(い)
9	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.65	3.4	□(い)	□(い)	
9	B	2	Y	左	0	0	0	0.5	2.5	0.5	0.6	2.984	0.65	3.4	□(い)	□(い)	
9	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.65	3.4	□(い)	□(い)	
10	B	1	X	左	2	0	0	0	1	1	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)
10	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)	
10	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)	
10	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.35	-1.8	□(い)	□(い)	
10	B	2	X	左	2	0	0	-0.5	1.5	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
10	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
10	B	2	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
10	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
11	B	1	X	左	2	0	0	-0.5	1.5	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
11	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
11	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
11	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.85	-4.5	□(い)	□(い)	
13	B	1	X	左	0	0	0	-0.5	1.5	0.5	1.6	3.004	-0.1	-0.5	□(い)	□(い)	
13	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.1	-0.5	□(い)	□(い)	
13	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.1	-0.5	□(い)	□(い)	
13	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	-0.1	-0.5	□(い)	□(い)	
13	B	2	X	左	0	0	0	-0.5	1.5	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
13	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
13	B	2	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
13	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	2.984	0.15	0.8	□(い)	□(い)	
14	B	1	X	左	2	0	0	0.5	2.5	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
14	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
14	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
14	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	1.6	3.004	1.65	8.8	金物不要	2(へ)	
14	B	2	X	左	2	0	0	0.5	2.5	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
14	B	2	X	右	0	0	0	0	0	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
14	B	2	Y	左	0	0	0	0.5	2.5	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
14	B	2	Y	右	0	0	0	0	0	0.8	0.4	2.984	1.6	8.5	Ps(は)	金物不要	
15	B	1	X	左	0	0	0	0	4	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
15	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
15	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
15	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
16	B	1	X	左	4	0	0	0	4	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
16	B	1	X	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
16	B	1	Y	左	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	
16	B	1	Y	右	0	0	0	0	0	0.5	0.6	3.004	1.4	7.5	P(に)	P(に)	

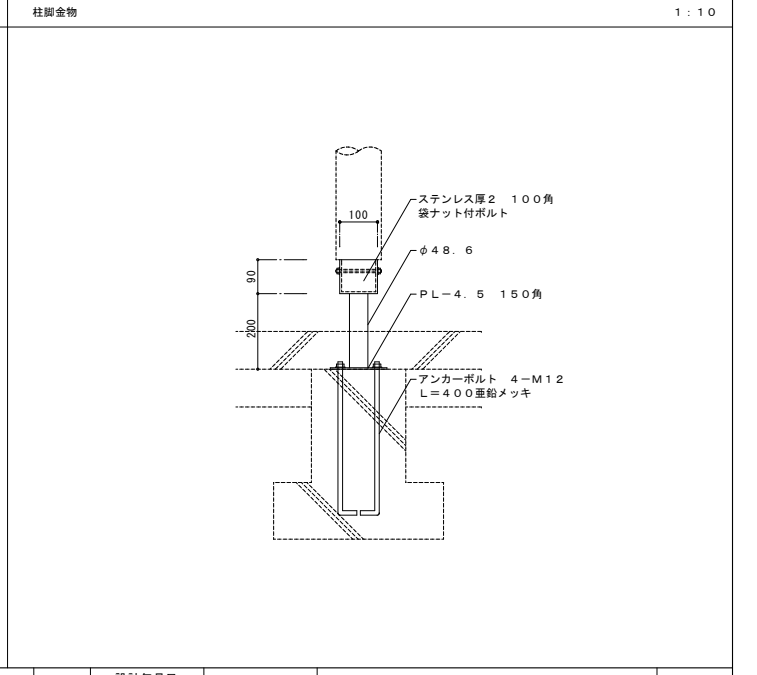
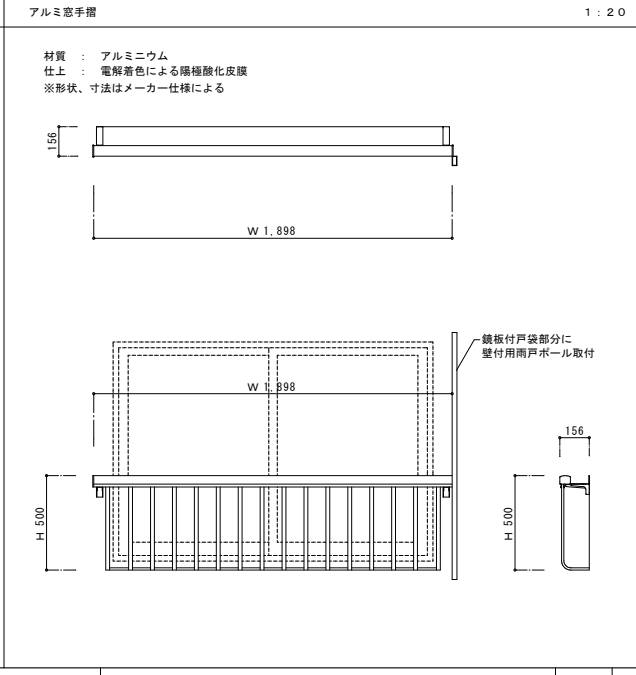
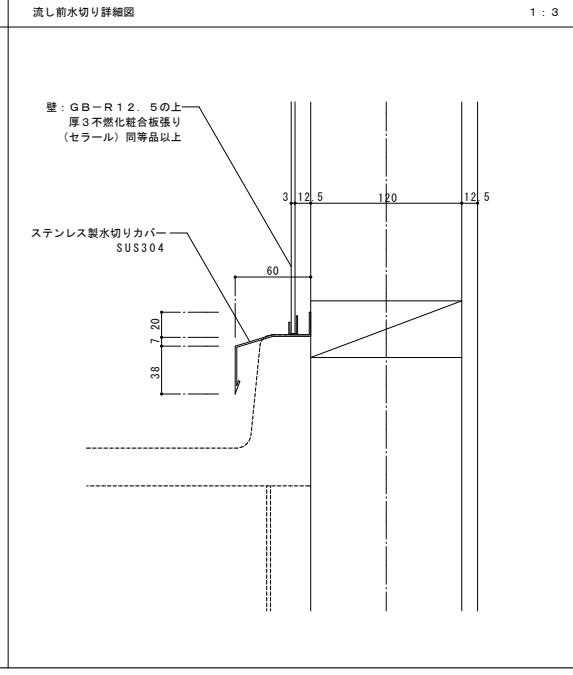
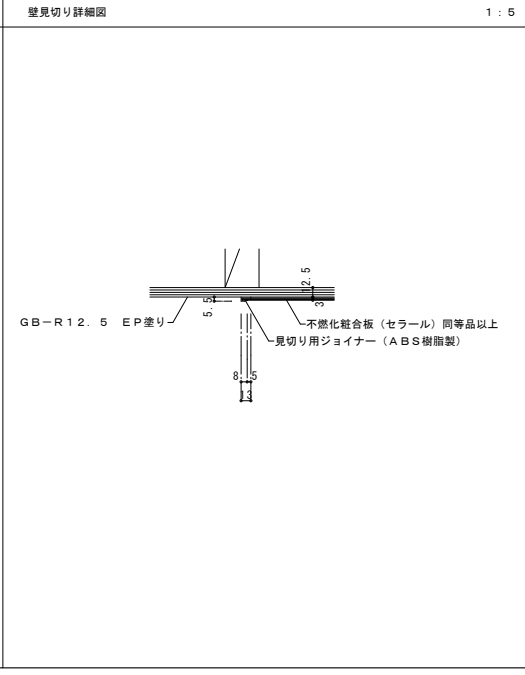
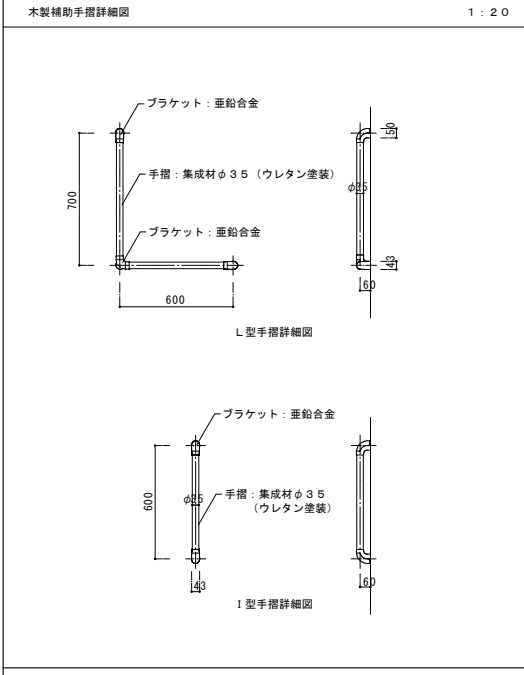
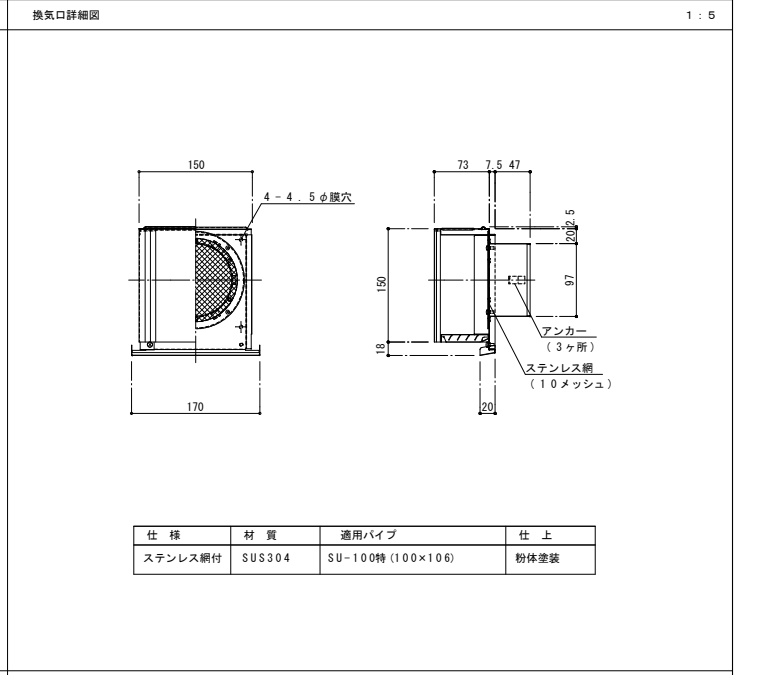
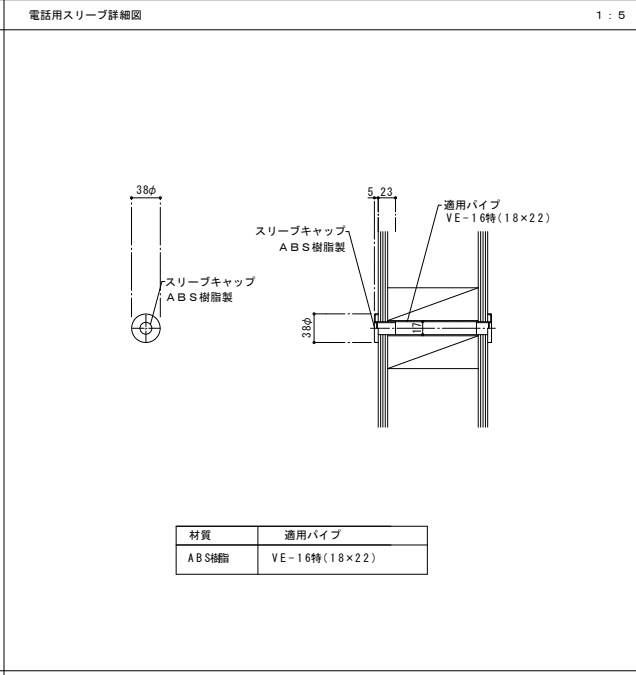
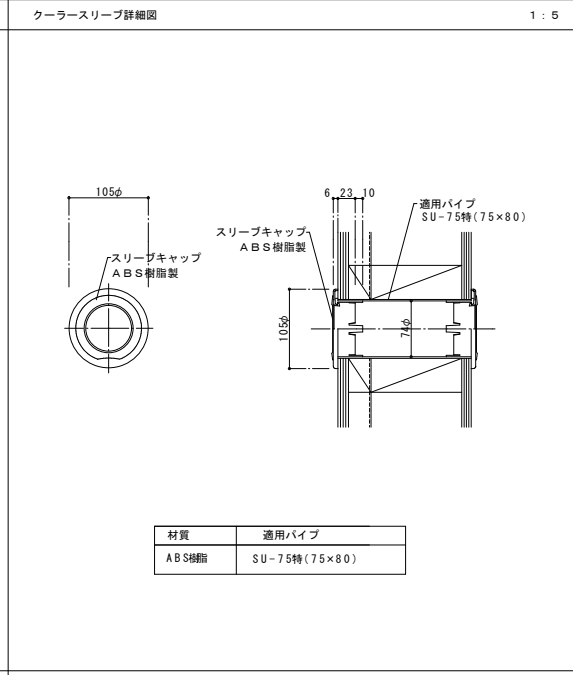
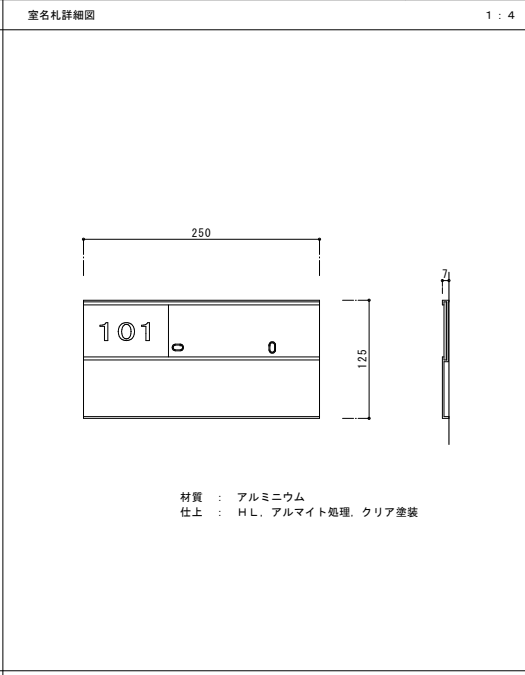
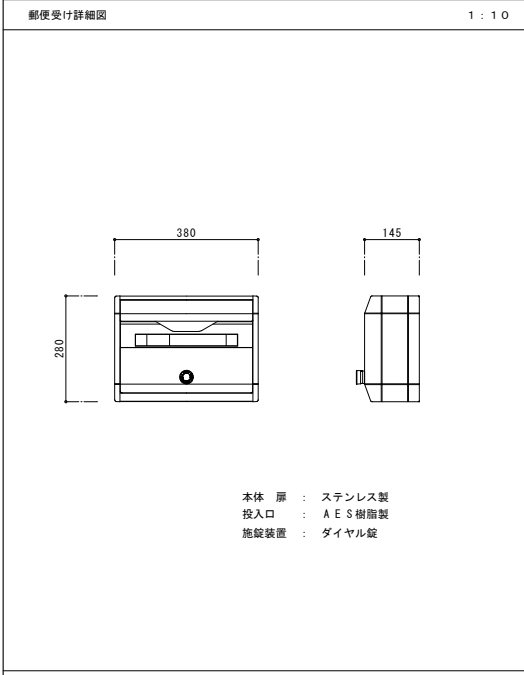
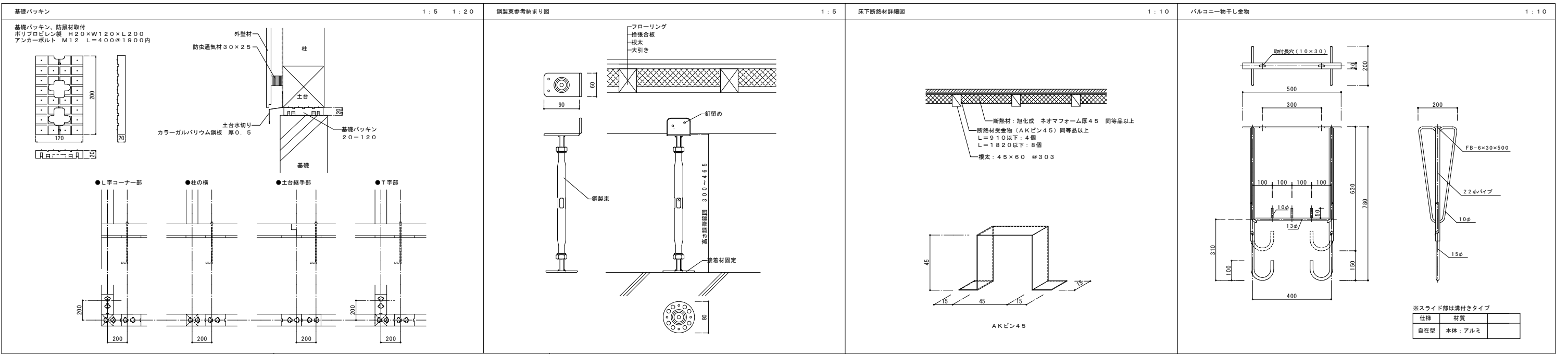
□ 仕口及び構造金物リスト



□ 筋違いが取り付く柱と横架材の仕口金物

告示表三記号	N値	必要耐力 (kN)	接合耐力 (kN)
(い)	0.0以下	0.00	短径差し又はかすがい打ち
(ろ)	0.65以下	3.4	長径差し込み栓打ちまたはかど金物CP・L
(は)	1.0以下	5.1	かど金物CP・Tまたは山形プレートVP
(に)	1.4以下	7.5	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリーナ釘なし)
(け)	1.6以下	8.5	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリーナ釘あり)
(へ)	1.8以下	10.0	引き寄せ金物 HD-B10 (S-HD10)
(と)	2.8以下	15.0	引き寄せ金物 HD-B15 (S-HD15)
(ち)	3.7以下	20.0	引き寄せ金物 HD-B20 (S-HD20)
(り)	4.7以下	25.0	引き寄せ金物 HD-B25 (S-HD25)
(ぬ)	5.6以下	30.0	引き寄せ金物 HD-B15 (S-HD15) × 2個
-	5.6超	N × 5.3	

※ 金物の仕様の詳細については、「建築基準法告示第146号 表1及び表3」を参照すること。
 接合金物は、Zマーク認定金物同等以上とすること。
 柱脚印は、公示記号(い)を示す。
 筋違の種類に応じた端部における仕口は、□とする。
 ※ □ 厚さ4.5mm以上で幅90mm以上の木材
 厚さ2.3mmの鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナ釘を5本の平打ちとし、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、径4.5mmのスクリーナ釘を5本の平打ちとしたもの



一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若菜4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 FAX: 099-252-7376 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美	設計 担当 製図	設計年月日 R7.11. 縮尺 1:3 1:4 1:5 1:10 1:20 A3 1:6 1:8 1:10 1:20 1:40	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面種類 雑詳細図	図面番号 A-23 全
--	----------	---	----------------------	-----------	-------------

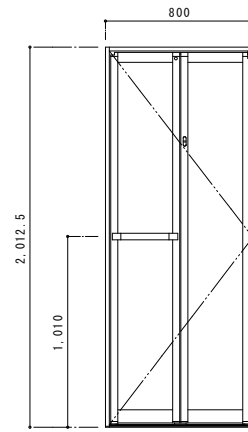
ユニットバス参考図

部位/項目	仕様 (寸法単位 mm)	備考 (色柄・品番等)
据付必要面積	1,670D×1,670W×2750H	
内寸法	1,600D×1,600W×2,225H	
床	FRP 単色 サーマフロア (断熱仕様)	
壁	アクセントパネル (器具面) : Lパネル (EB) ベースパネル : Lパネル (EB)	
天井	化粧鋼板複合パネル	
ドア	折り戸 : アルミアルマイト処理 (キレイドア) 面材 : 型板調樹脂板	
浴槽	FRP ラウンドライン浴槽 (浴槽内法 1,456W×686D×480H) サーモバス (浴槽保温材のみ) 風呂蓋 (巻蓋) 付 浴槽内張りバー (グレー) 付 エプロン (ホワイト)	
水栓金具	浴槽・洗い場側 : クラウレス水栓 (ホワイト) シャワー : エコフルシャワー (ホワイト)	
シャワーフック	シャワーホースフック (ホワイト)	
握りバー	樹脂被覆φ30 L600 3本	取付位置は打合せによる

部位/項目	仕様 (寸法単位 mm)	備考 (色柄・品番等)
照明	ネオサークル照明 (防湿型) LEDランプ 1灯	
タオル掛	アルミパイプ L400 プラケット : 樹脂製	
鏡	防湿型化粧鏡 300W×760H	
収納	収納棚2段 樹脂製	
換気扇	天井換気扇 UF-27A	
給水管	PJ1/2 おねじ止	
給湯管	PJ1/2 おねじ止	
雑排水管	塩ビ管 VU50	
窓	窓縁縁キット 窓開口補強セット	
浴室の防水措置	規格 : JIS A 4416に準拠したユニットバス	

ドア図

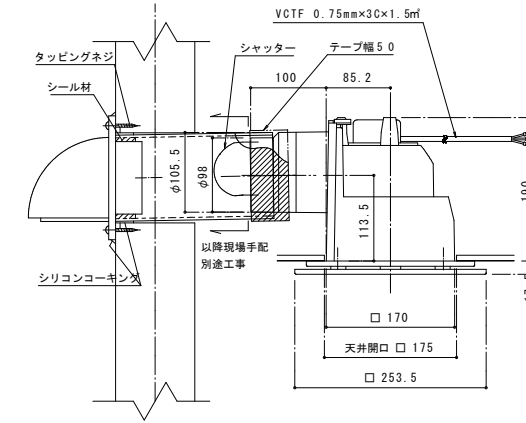
1:20



内開き左吊り (内観面)
※右吊りはこの逆

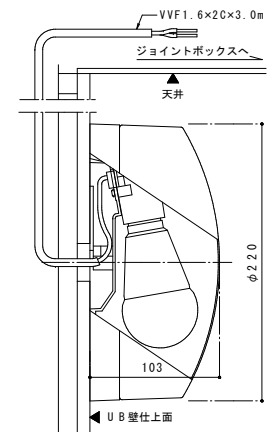
換気扇詳細図

1:5



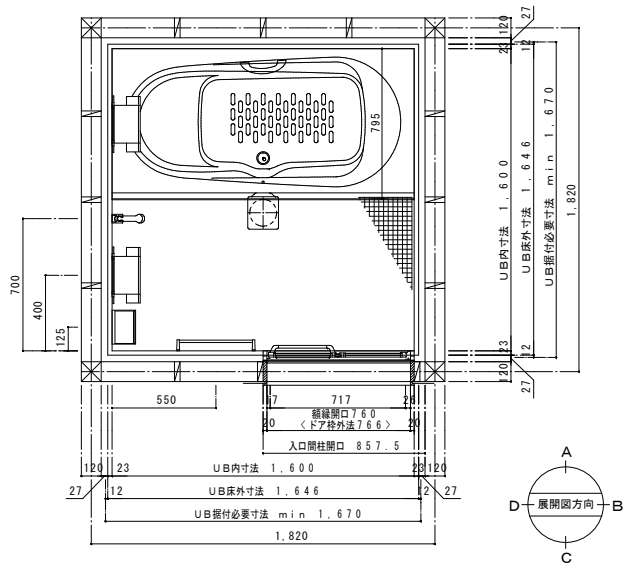
照明詳細図

1:3



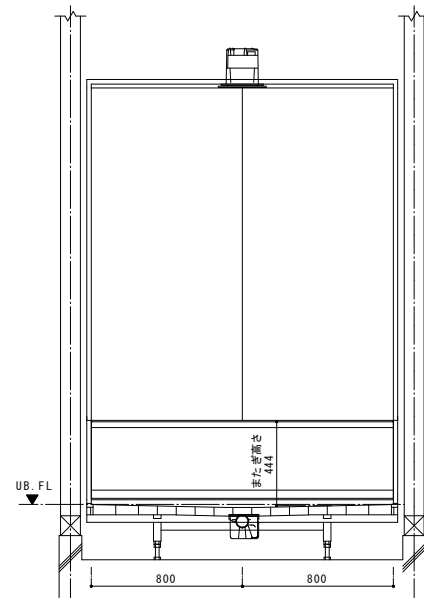
平面詳細図

1:20



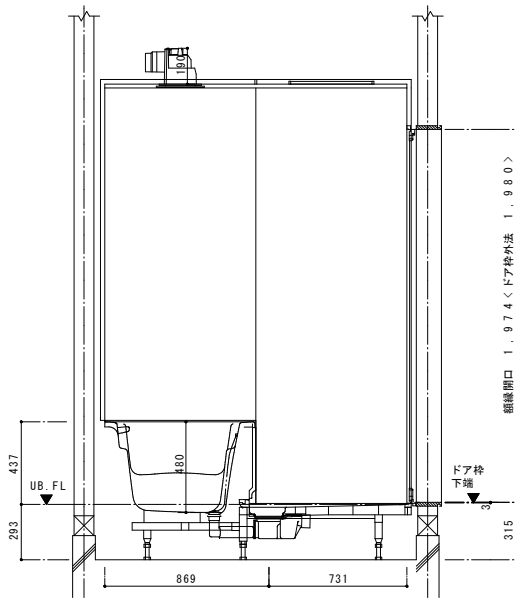
A面展開図

1:20



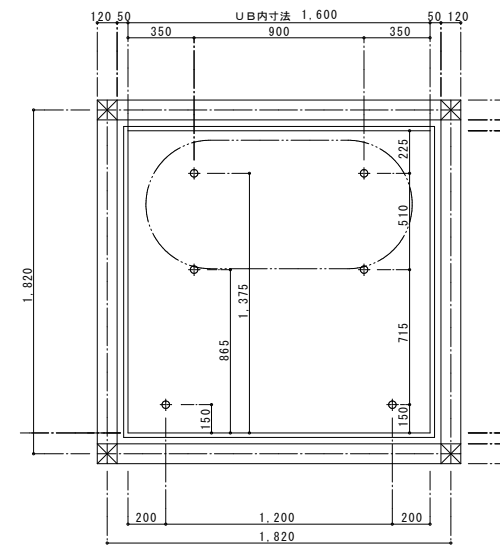
B面展開図

1:20



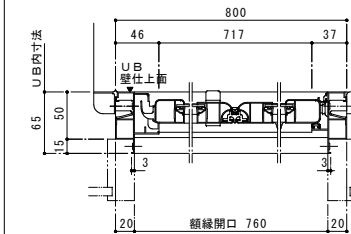
床支持位置

1:20



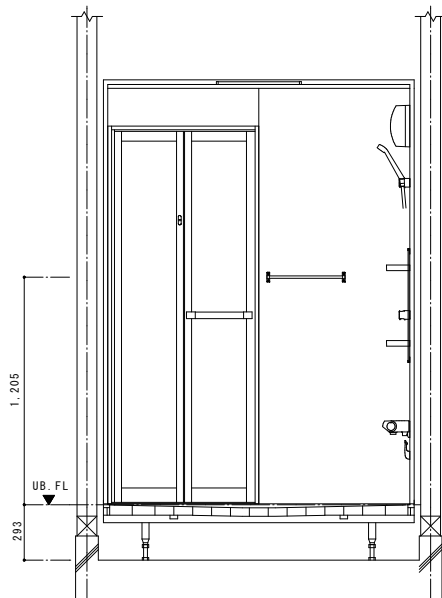
ドア取合

1:4



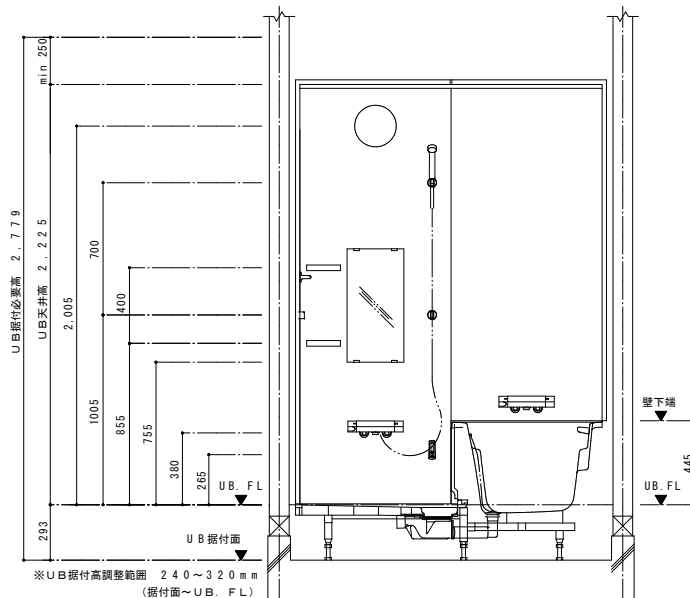
C面展開図

1:20



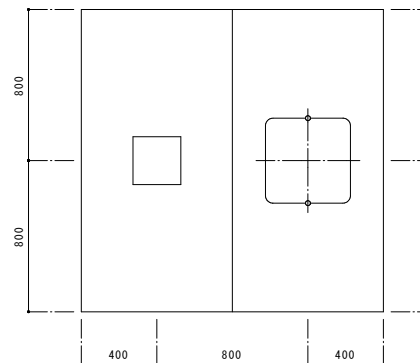
D面展開図

1:20



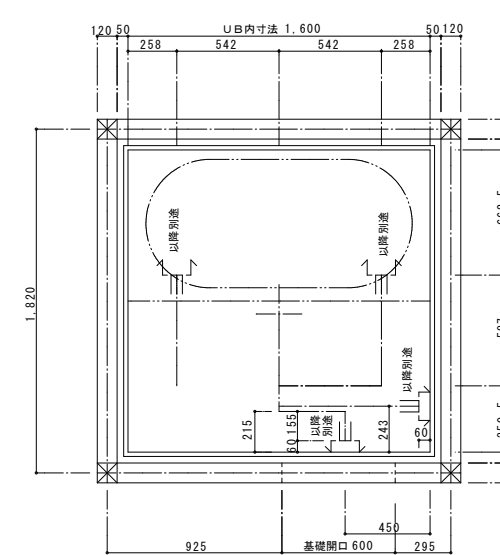
天井伏図

1:20



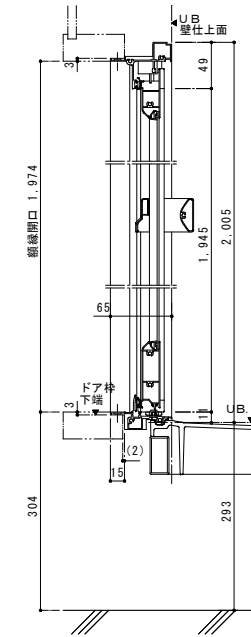
雑排水図

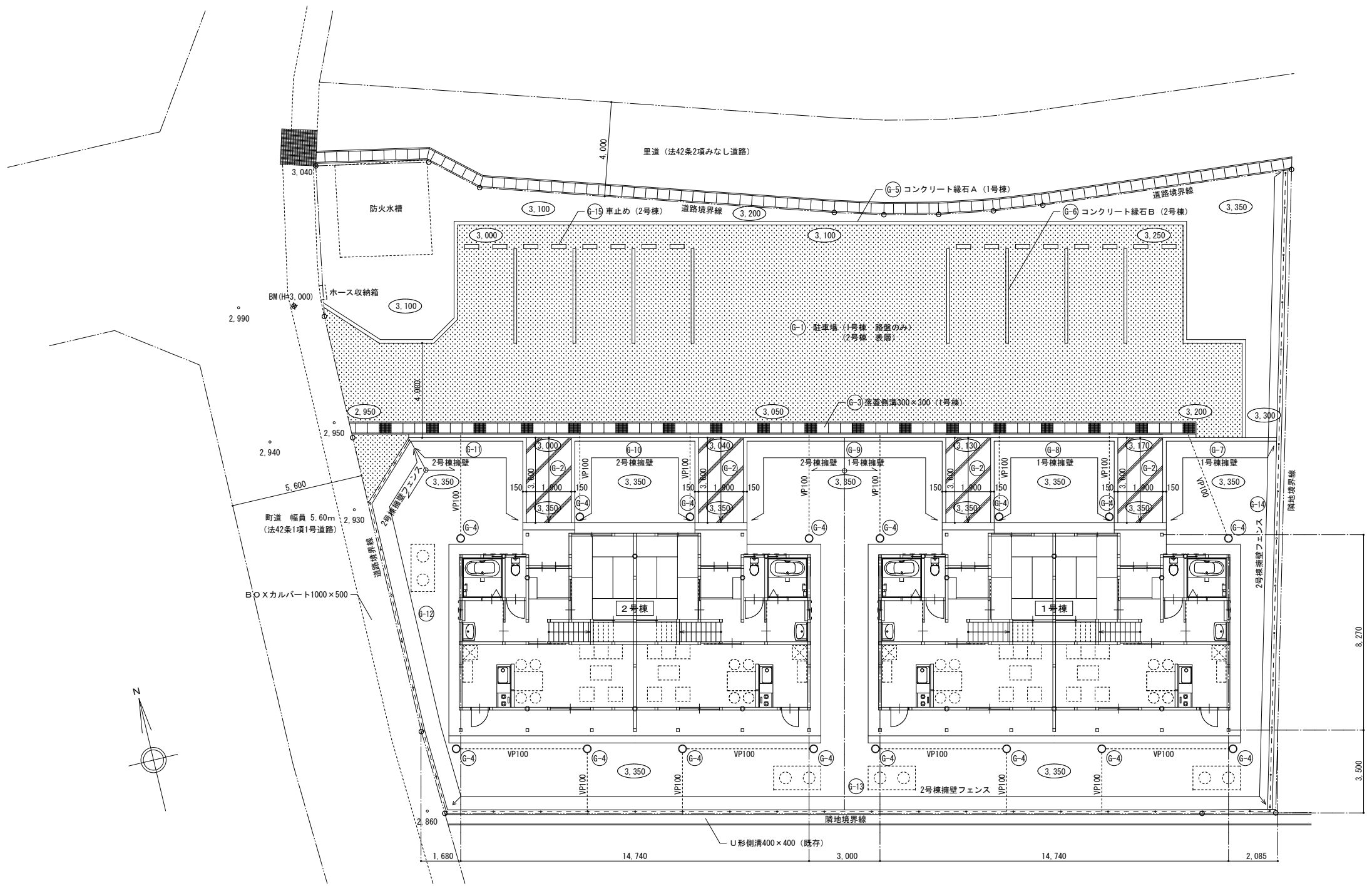
1:20



UB取合

1:4





工事区分	項目	参考数量	
		1号棟	2号棟
1号棟, 2号棟	G-1 アスファルト舗装	路盤のみ 287㎡	表層 287㎡
1号棟, 2号棟	G-2 コンクリート舗装	13.7㎡	13.7㎡
1号棟	G-3 落蓋式縦断用側溝 300×300	35.8m	
1号棟, 2号棟	G-4 雨水樹 φ300	8か所	8か所
1号棟	G-5 コンクリート縁石A	52.7m	
2号棟	G-6 コンクリート縁石B		32.0m
1号棟	G-7 コンクリート擁壁1	8.6m	
1号棟	G-8 コンクリート擁壁2	12.5m	
1号棟, 2号棟	G-9 コンクリート擁壁3	7.9m	7.9m
2号棟	G-10 コンクリート擁壁4		12.5m
2号棟	G-11 コンクリート擁壁5		8.5m
2号棟	G-12 コンクリート擁壁6 目隠しフェンス H=1,500		16.7m
2号棟	G-13 既存ブロック撤去 厚150 H=1,200 コンクリート擁壁7 目隠しフェンス H=1,500		35.1m
2号棟	G-14 コンクリート擁壁8 目隠しフェンス H=1,800		27.0m
2号棟	G-15 車止め L=600		16か所

<p>G-1 アスファルト舗装 1:10</p> <p>表層: アスファルト舗装(密粒) プライムコート PK-3 砂層 路床 再生クラッシャーラン</p>	<p>G-2 コンクリート舗装 1:10</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC18N (18-15-20)</p> <p>コンクリート刷毛引き仕上 ワイヤーメッシュφ6-150×150 プライムコート PK-3 砂層 路床 再生クラッシャーラン</p>	<p>G-3 落蓋式縦断用側溝 300×300(T-25) グレーチング蓋 1ヶ所/2m 1:20</p> <p>モルタル 再生クラッシャーラン</p>	<p>G-4 雨水樹(樹脂製) 1:20</p> <p>格子蓋 耐圧タイプ300型 φ345 φ331 φ301 φ265 再生クラッシャーラン</p>	<p>G-5 コンクリート縁石A 1:20</p> <p>コンクリート縁石 150×170×200 舗装面 モルタル 基礎コンクリート 再生クラッシャーラン</p>
<p>G-6 コンクリート縁石B 1:20</p> <p>コンクリート縁石 120×120 舗装面 モルタル 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p>	<p>G-7 コンクリート擁壁1 1:20</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>駐車場側 スロープ側</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	<p>G-8 コンクリート擁壁2 1:20</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>駐車場側 スロープ側</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	<p>G-9 コンクリート擁壁3 1:20</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>駐車場側 スロープ側</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	<p>G-10 コンクリート擁壁4 1:20</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>駐車場側 スロープ側</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>
<p>G-11 コンクリート擁壁5 1:20</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>駐車場側 スロープ側</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	<p>G-12 コンクリート擁壁6 目隠しフェンスH=1,500(参考図) 1:20</p> <p>目隠しフェンス H=1,500 鋼線 t=1.6 縦棒 t=0.8 中間縦棒 t=1.6 目隠しブラインド t=0.6 鋼線 t=1.6 φ50.8×2.3(補強入り)</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>構造仕様(朝日フェンス XW-1500-M同等品程度) ・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。 ・外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	<p>G-13 コンクリート擁壁7 目隠しフェンスH=1,500(参考図) 1:20</p> <p>目隠しフェンス H=1,500 鋼線 t=1.6 縦棒 t=0.8 中間縦棒 t=1.6 目隠しブラインド t=0.6 鋼線 t=1.6 φ50.8×2.3(補強入り)</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>構造仕様(朝日フェンス XW-1500-M同等品程度) ・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。 ・外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	<p>G-111 コンクリート擁壁5 1:20</p> <p>コンクリート打放し補修 D13 D10φ200 D13 D13 D10φ200 捨コンクリート 再生クラッシャーラン</p> <p>駐車場側 スロープ側</p> <p>構造仕様 ・コンクリート: FC21N (21-15-20) ・鉄筋: SD295 ※コンクリート天端には、20×20目地棒を入れる。</p>	

<p>一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市塔子町4丁目22番24号 TEL: 099-213-1852 FAX: 099-252-7375 管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美</p>	設計	担当	製図	設計年月日 R7.11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 A-26
	縮尺 1:10 1:20 (A3-1:20 1:40)	図面種類 外構詳細図-1				
	全					

砕石パイル工法特記仕様書

1. 工法概要

本工法は螺旋状の回転翼を軟弱地盤に圧入回転させて掘削し、この掘削孔に砕石を充填圧入することで締固められた砕石柱状体を築造し、この柱状体と原地盤の支持力を複合させて利用する地盤補強工法である。

2. 特記仕様

- (1) オーガー径 $\phi 400\text{mm}$ (2) 掘削深度 $L=2.50\text{m}$ $L=3.00\text{m}$ (3) 本数: 30本 ($L=2.50$) 23本 ($L=3.00$)
- (4) 設計接地圧: $q_a=30\text{KN/m}^2$ (5) 改良後の支持力確認試験 (表面波探査試験)
- (6) 使用する砕石はJIS A5001で規格された砕石のうちS-40、S-30、S-20を、1:1:1で混合したもの又はJIS A5005(コンクリート用砕石及び砕砂)で規格された砕石(コンクリート用砕石4020)を使用する。

3. 改良深度及びパイル配置の決定

本工法の長期許容支持力度は、スクリーウエイト貫入試験 (以下SWS試験と称する) 又は、標準貫入試験によって得られたN値、N値を用いて計算された粘着力 c_m 、内部摩擦角 ϕ_m を日本建築学会による支持力式「建築基礎構造設計指針P.105」に準じた式に代入して算定するが、それにより得られた計算結果に基づき砕石パイルの改良深さ及び配置間隔を決定する。

4. 施工計画書

本工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事概要 (2) 工事内容 (3) 予定工程表 (4) 施工機械
- (5) 使用材料 (6) 施工方法 (7) 施工管理 (8) 安全対策
- (9) 安全管理体制

5. 施工方法

- (1) 砕石の締固めは加圧締固めとする。
- (2) 砕石の1回当たりの投入量は掘削孔内15cm~20cmとする。
- (3) 概略施工手順は下記の通りとする。
 1. パイルの中心位置に、オーガーの中心を合わせて機械をセットする。
 2. セットが完了したらオーガーを回転させ、掘削を開始する。
 3. 所定の深度に達したらベルコンを介し砕石を投入し、締固めを開始する。
 4. 投入締固めを継続的に行う。
 5. 仕上高は現況G.L.までとする。(G.L.設定は不要)

6. 施工管理

- (1) パイルの鉛直度 改良機本体のロッドを傾斜計 (マグネット式水平器) で計測する。
- (2) 掘削深度 改良機装着の施工管理計測装置で計測し記録する。
- (3) 砕石投入量 改良機装着の施工管理計測装置で計測し記録する。
- (4) 押込み力 改良機装着の施工管理計測装置で計測し記録する。

7. 支持力確認試験

本工法は原地盤と砕石パイルとの複合地盤を構築する工法であるので、施工後に杭間の長期許容支持力度を表面波探査法により確認する。

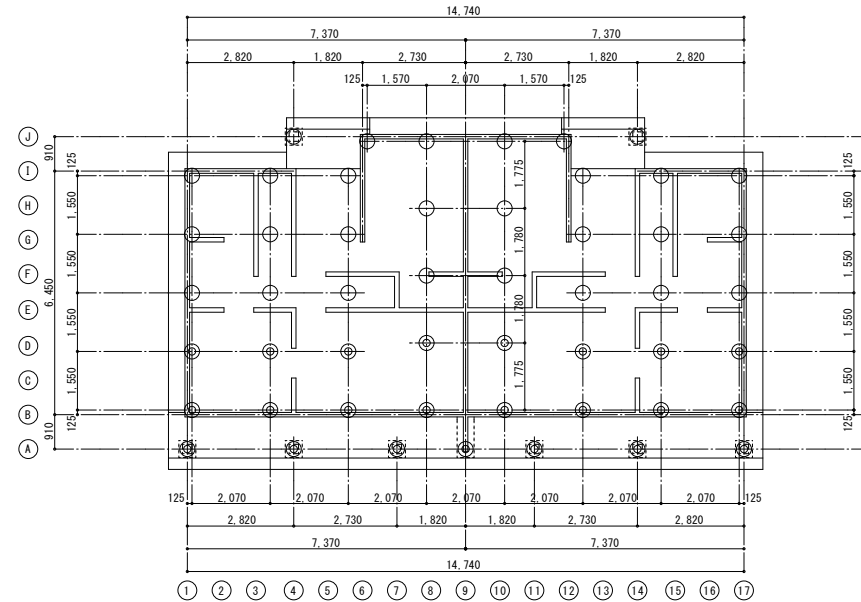
尚、表面波探査法は国土省告示1113号第1項に示される地盤調査方法の第6号物理探査として掲げられているものであり、(財)先端建設技術センターの技術審査証明 (技審証第1305号) を取得している試験方法である。

- (2) 確認検査実施箇所 検査実施箇所は改良後の杭間代表箇所とする。
- (3) 品質不良箇所の処置 品質に不良があった場合は、監理者と協議し適切な処置を行う。

8. 施工報告書

工事完了後、次の事項について報告書を作成し監督員に提出する。

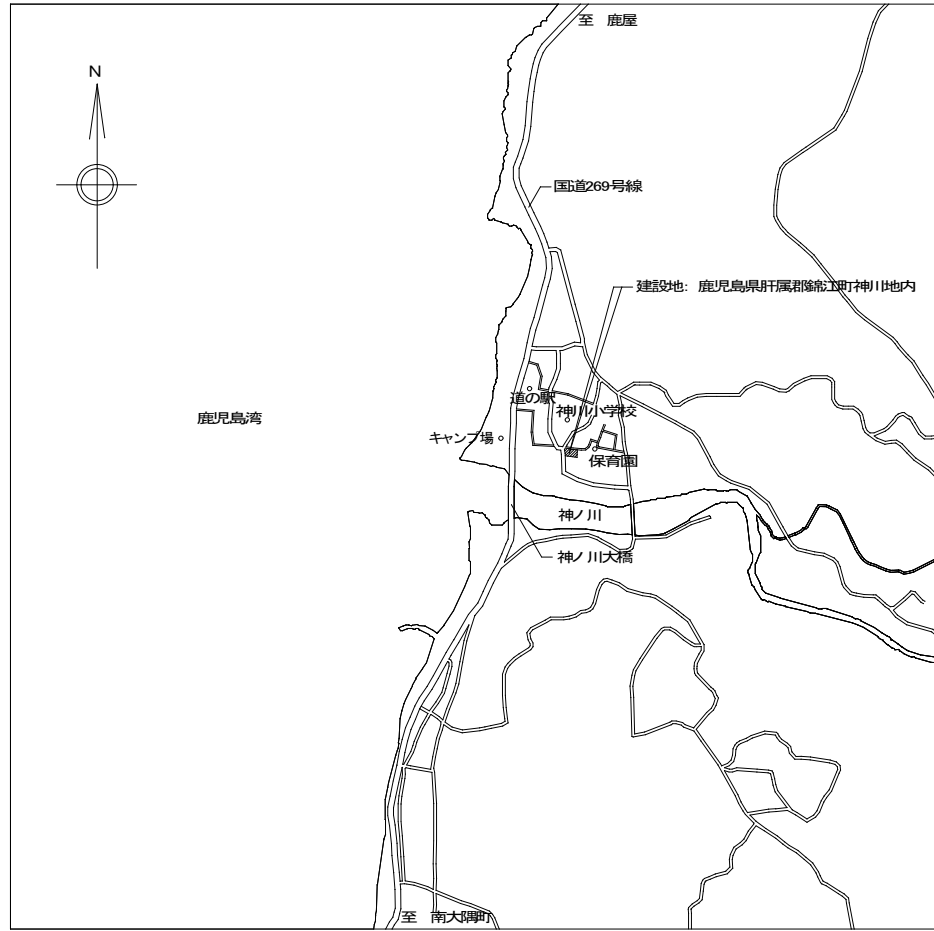
- (1) 出来形平面図 (施工番号・試験箇所・写真管理箇所) (2) 支持力確認試験結果
- (3) 施工年月日 (4) パイル径 (5) 掘削深度 (6) 砕石投入量
- (7) 押込み力 (8) 施工状況写真



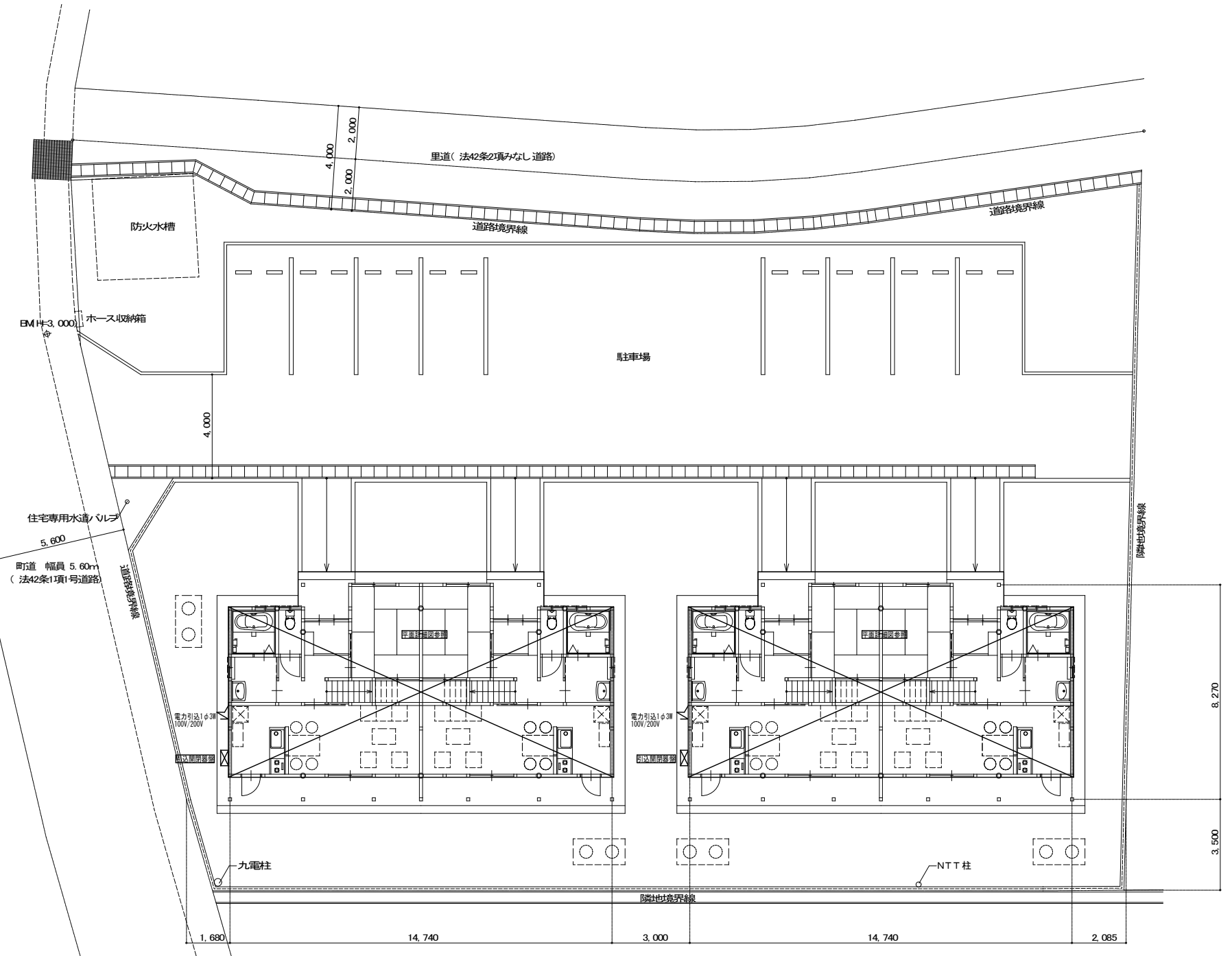
1号棟パイル伏図 S=1:100

- 砕石パイル $\phi 400$ $L=2.50\text{m}$ 30本
- ⊗ 砕石パイル $\phi 400$ $L=3.00\text{m}$ 23本

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市若菜4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 内 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美 一級建築士建設大臣	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
				R7.11.			A-28
				縮尺			図面種類
1:100 (A3-1:200)				砕石パイル工法特記仕様書 パイル伏図	全		



付近見取図 NO SCALE



配置図 S=1:100



一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市紫原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 代 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日 R7.11.	工事名 令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号 E-02
	縮尺 1:100 (A3-1:200)			図面種類 付近見取図・配置図	全06	

凡例表

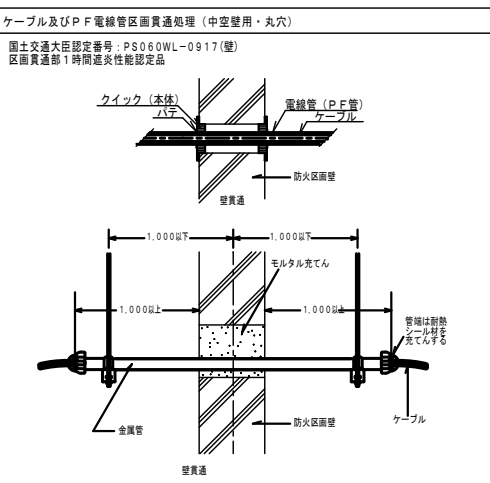
記号	名称	仕様	備考
	引込開閉器盤	盤縁線図参照	
	電灯分電盤	"	
	TV機器収容箱	"	
	電力計(電力会社工事)	取付板は本工事 1φ3W	
	照明器具	要図参照	
	"	"	
	"	"	
	"	引掛けシーリング(ローゼット式)	
	タンブラスイッチ	1P15A	樹脂ワイドプレート
	"	1P4A(L)	"
	埋込コンセント	2P15A×2	"
	ET	接地2P15A 接地極付	"
	2ET	2P15A×2 接地極付	"
	LK	2P15A×1 抜止め(洗面化粧台電源)	"
	WP	防水コンセント	接地2P15A×2 接地極付
	マルチメディアコンセント	埋込コンセント:大角通用 2P15A×2+ 電話用モジュラージャック:6種2芯 コンデンサ付 + 情報用ノズルチップ×2 + 重列ユニット: CS-77F-RSWE (BL)	樹脂ワイドプレート
	テレビアンテナ	UHF20素子アンテナ マスト・取付金具共	ステンレス製
	チャイム	壁掛型 AC100V2点打方式	
	同上押釦	埋込型 防水型 AC100V用	
	感知器	住宅用煙感知器 電池式	
	感知器	住宅用熱感知器 電池式	
	ジョイントボックス	OB404 C付	
	防水入線プレート	樹脂製	
	天井換気扇	別途機械設備工事	
	接地工事	D種接地極 標示板共	
	防火区画貫通処理材施工	施工要領図参照	
	配管記号	配管保護を示す (平面図参照)	
	配管、配線	天井、壁埋込又はいんべい	
	"	地中埋設配管	
	配線	二重天井こがし配線	
	"	架空配線 (別途工事)	

配線注記

図中明記なき配線配管は下記に依る。

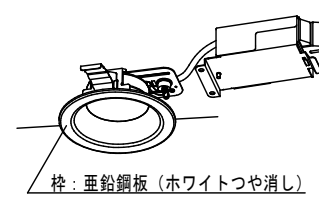
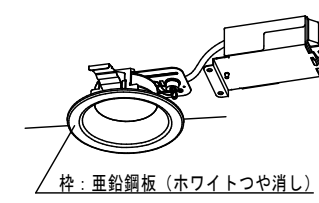

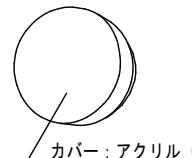
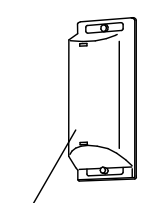
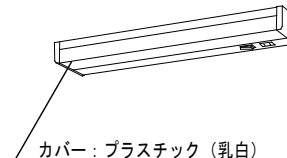
二重天井内はケーブルこがしとし、壁内配管保護のこと。(壁内)	
---F2---	: EEF1.6-2C (PF16)
---F3---	: EEF1.6-3C (1C:E) (PF22)
---F3---	: EEF1.6-3C (PF22)
---F4---	: EEF1.6-2Cx2 (PF22)
---F5---	: EEF1.6-2C+3C (PF28)
---ZF---	: EEF2.0-2C (PF16)
---ZF3---	: EEF2.0-3C (1C:E) (PF22)
---CE14---	: CE14sq-3C (PF28)
---CE5---	: CE5sq-3C E5.5sq (PF28)
---SC---	: EM-S-5C-FB (PF16)
---I---	: EBT0.5-2P (PF16)
---S.S---	: EM-IE5.5sq (HIVE16) -
---0---	: 空配管PF22 (導入線共)

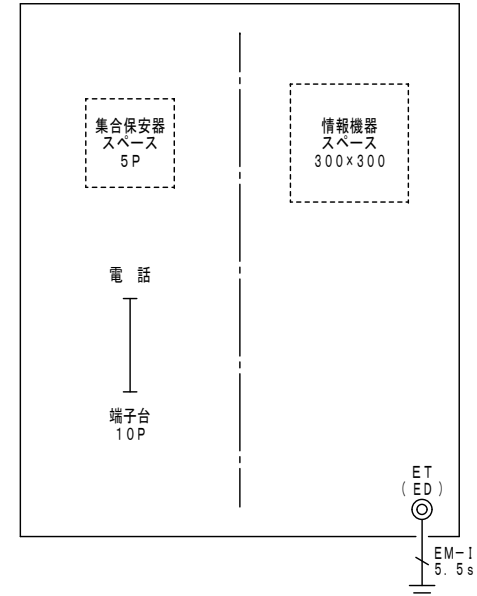
区画貫通処理材施工要領図 (参考図)



〔注記〕1. 図中隔壁及び、防火区画を貫通する箇所については上記工法を参考にして区画貫通処理を行うこと。但し、上記以外は区画貫通処理材を使用する場合はメーカー標準施工要領に基づいて施工すること。

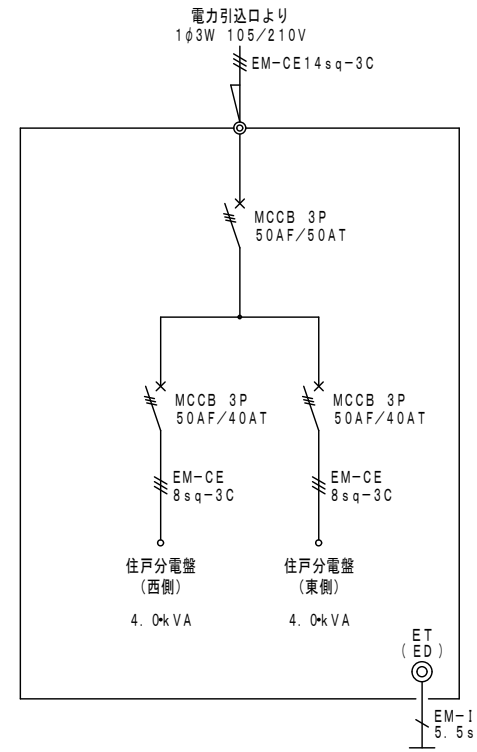
照明器具姿図 (参考図)

<p>A 一体型LEDダウンライト</p> <p>60形電球1灯器具相当 光源寿命: 40,000時間 器具光束: 490Lm以上 色温度: 昼白色 埋込穴: 100φ 拡散タイプ、高気密SB形</p>  <p>枠: 亜鉛鋼板 (ホワイトつや消し)</p>	<p>B 一体型LEDダウンライト</p> <p>100形電球1灯器具相当 光源寿命: 40,000時間 器具光束: 795Lm以上 色温度: 昼白色 埋込穴: 100φ 拡散タイプ、高気密SB形</p>  <p>枠: 亜鉛鋼板 (ホワイトつや消し)</p>
<p>C 一体型LEDシーリングライト</p> <p>60形電球1灯器具相当 光源寿命: 40,000時間 器具光束: 450Lm以上 色温度: 昼白色 拡散タイプ 防湿・防雨型</p>  <p>カバー: アクリル (乳白)</p>	<p>D 一体型LEDブラケットライト</p> <p>60形電球1灯器具相当 光源寿命: 40,000時間 器具光束: 450Lm以上 色温度: 電球色 拡散タイプ</p>  <p>カバー: アクリル (乳白)</p>
<p>E 一体型LEDブラケットライト</p> <p>10形直管蛍光灯1灯器具相当 光源寿命: 40,000時間 器具光束: 419Lm以上 色温度: 昼白色 拡散タイプ 防雨型</p>  <p>カバー: アクリル (乳白)</p>	<p>F キッチンライト</p> <p>20形直管蛍光灯1灯器具相当 光源寿命: 40,000時間 器具光束: 980Lm以上 色温度: 昼光色 棚下取付型 スイッチ付 コンセント付</p>  <p>カバー: プラスチック (乳白)</p>



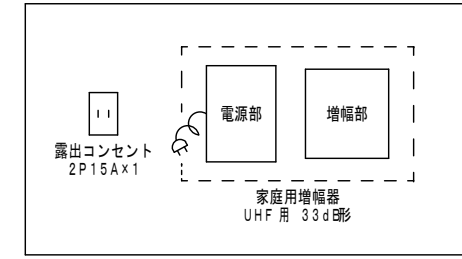
弱電機器収納箱

屋外防水ステンレス製 壁掛型
参考寸法: 600W×600H×150D
※汎用キャビネット使用可
ウラボックス: 400W×200H×100D (SPC)



引込開閉器盤

屋外防水ステンレス製 壁掛型
参考寸法: 500W×700H×160D
※汎用キャビネット使用可
ウラボックス: 300W×200H×100D (SPC)

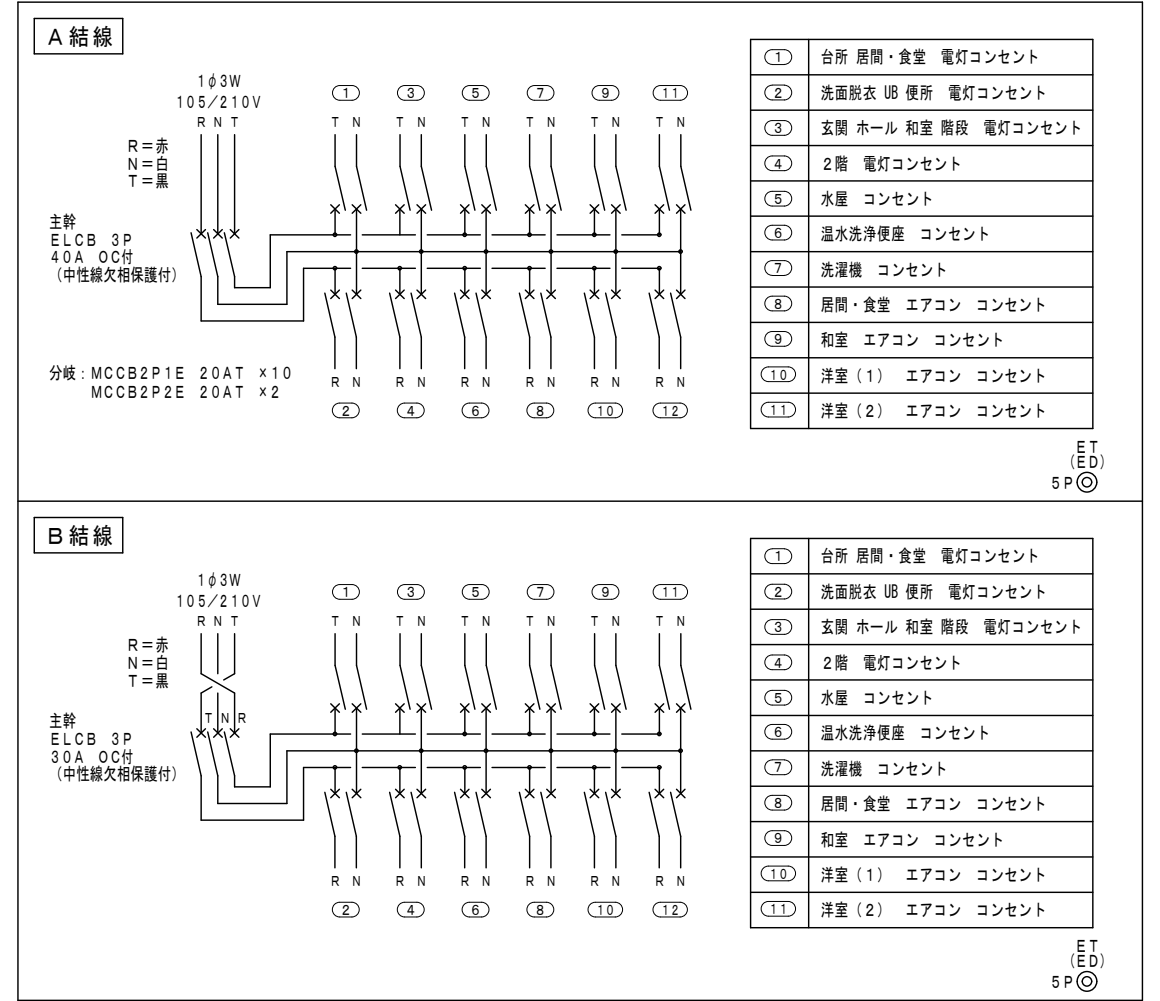


TV機器収納箱

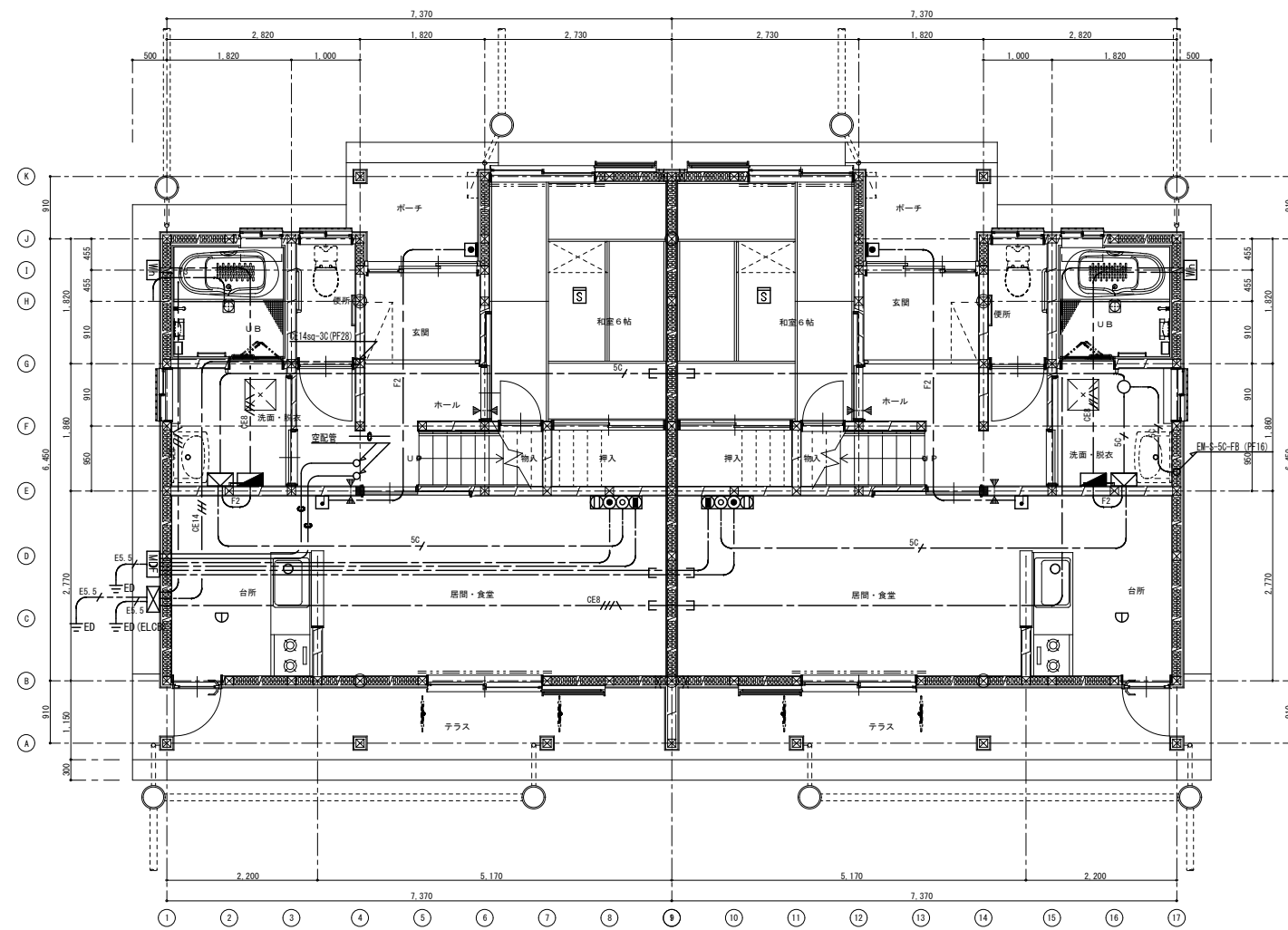
樹脂製 露出型 (放熱孔付)
参考寸法: 400W×300H×100D
※汎用キャビネット使用
ウラボックス: OB 大深 塩ビ製

住戸分電盤結線図

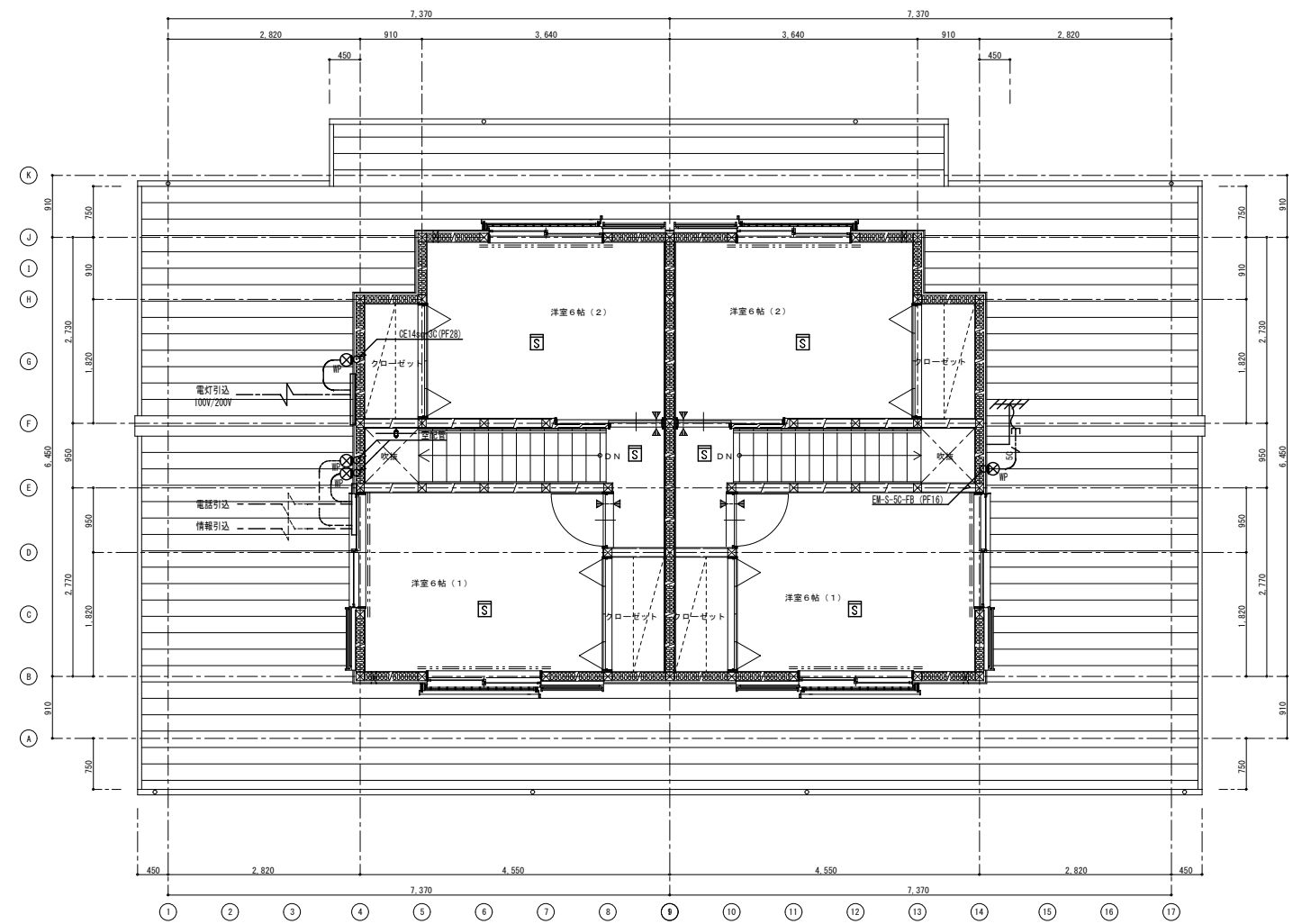
樹脂製 露出型 (前面化粧カバー付)



【注記】 電灯幹線の相バランスを取る為に、各住戸分電盤主幹一次側にて相の入替えを行う事。また、上記に伴い分岐回路の色別も変更すること。

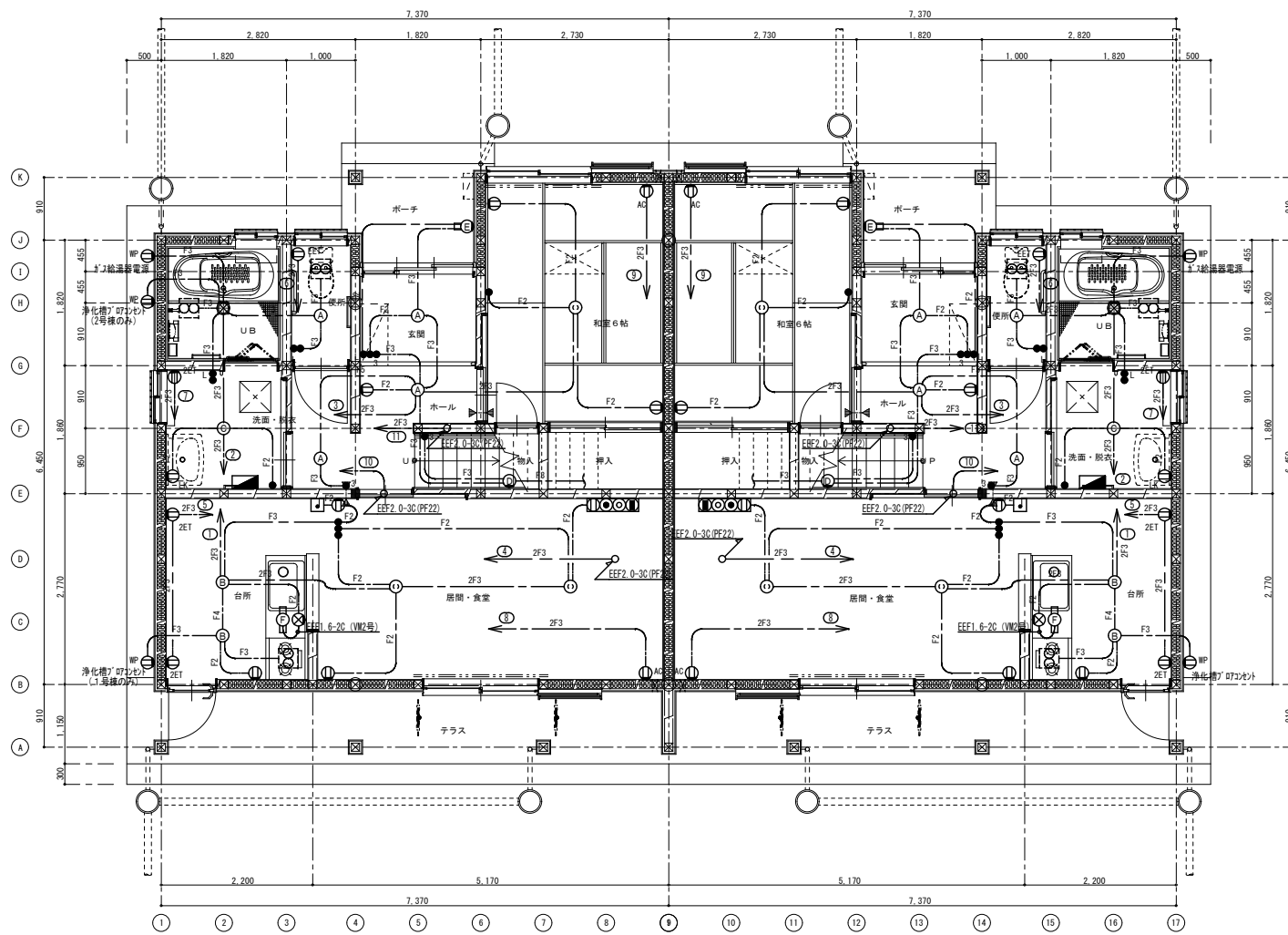


1階平面詳細図 S=1:50

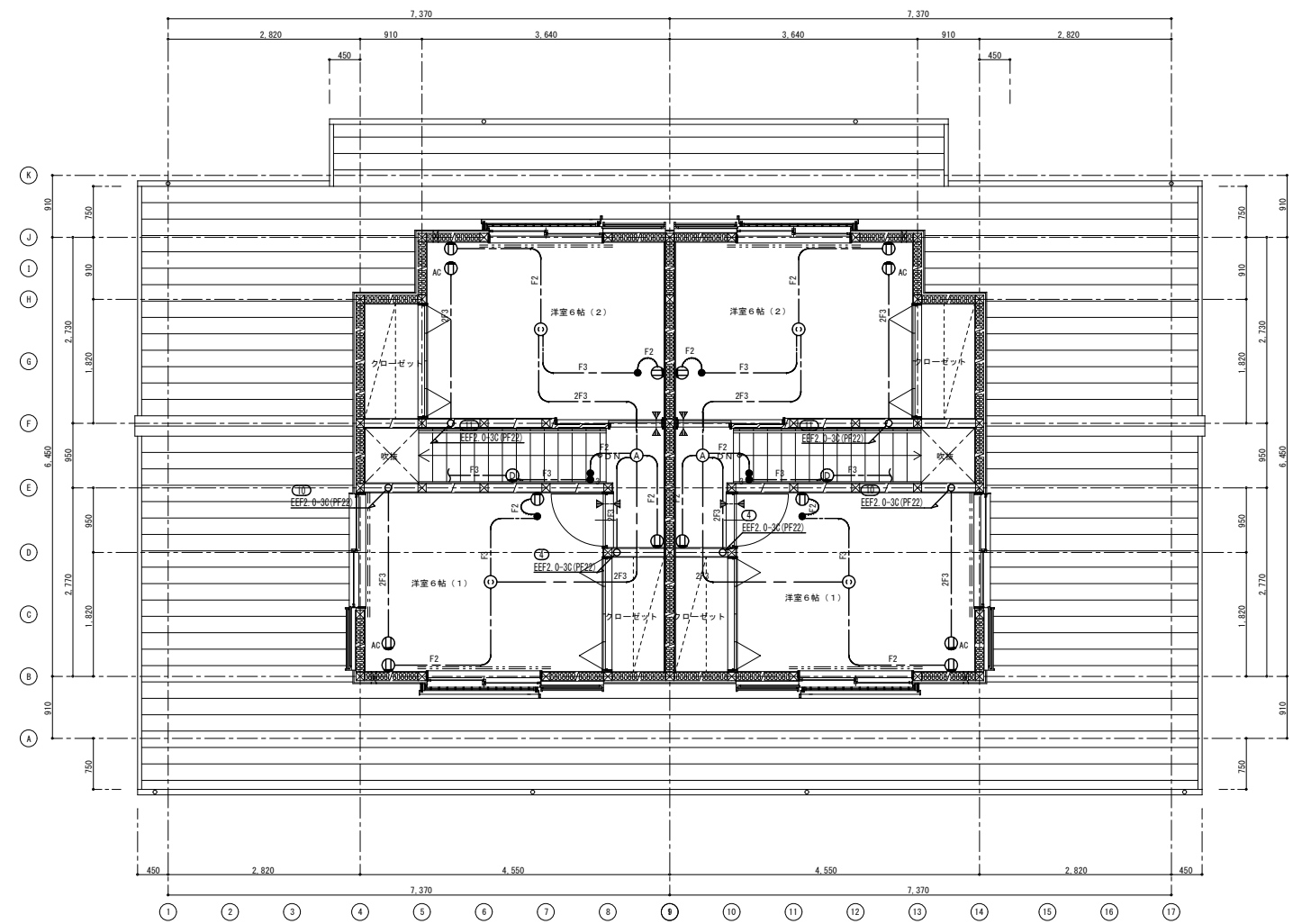


2階平面詳細図 S=1:50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市紫原4丁目2番24号 TEL: 099-213-4832 代 FAX: 099-262-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号	
				R7.11.				E-05
				縮尺				
1:50 (A3-1:100)	図面種類	幹線弱電設備 1階・2階平面詳細図	全06					

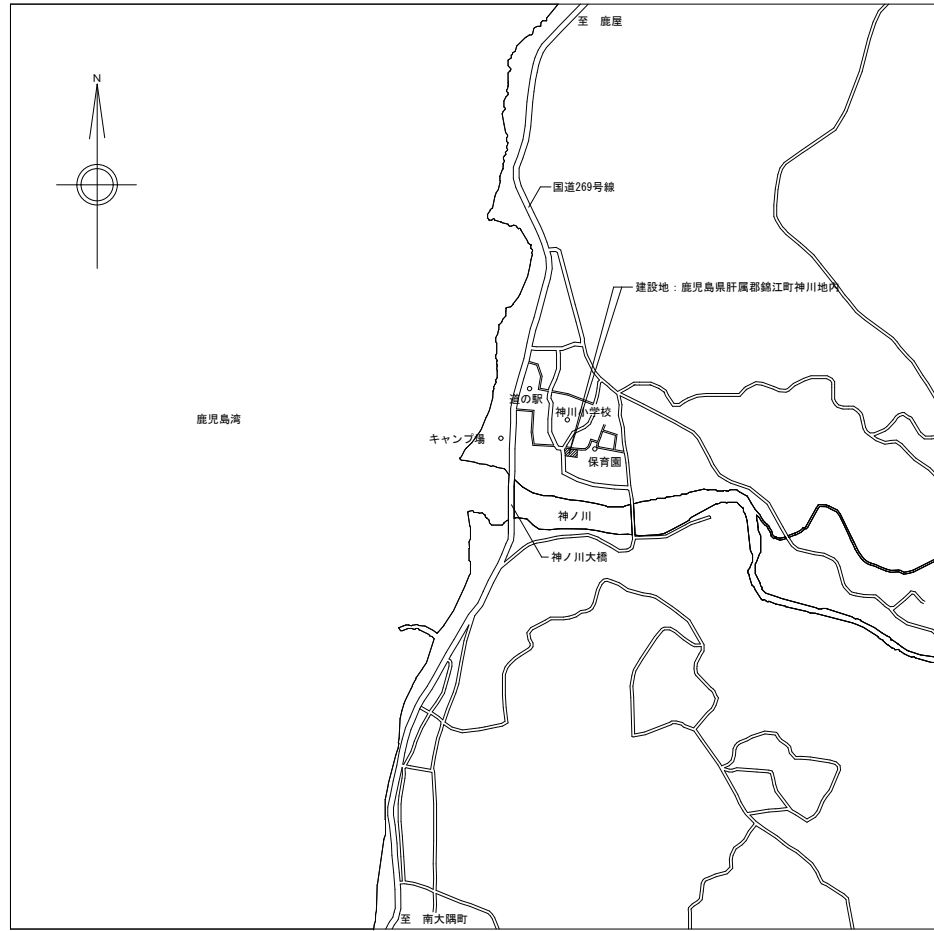


1階平面詳細図 S=1:50

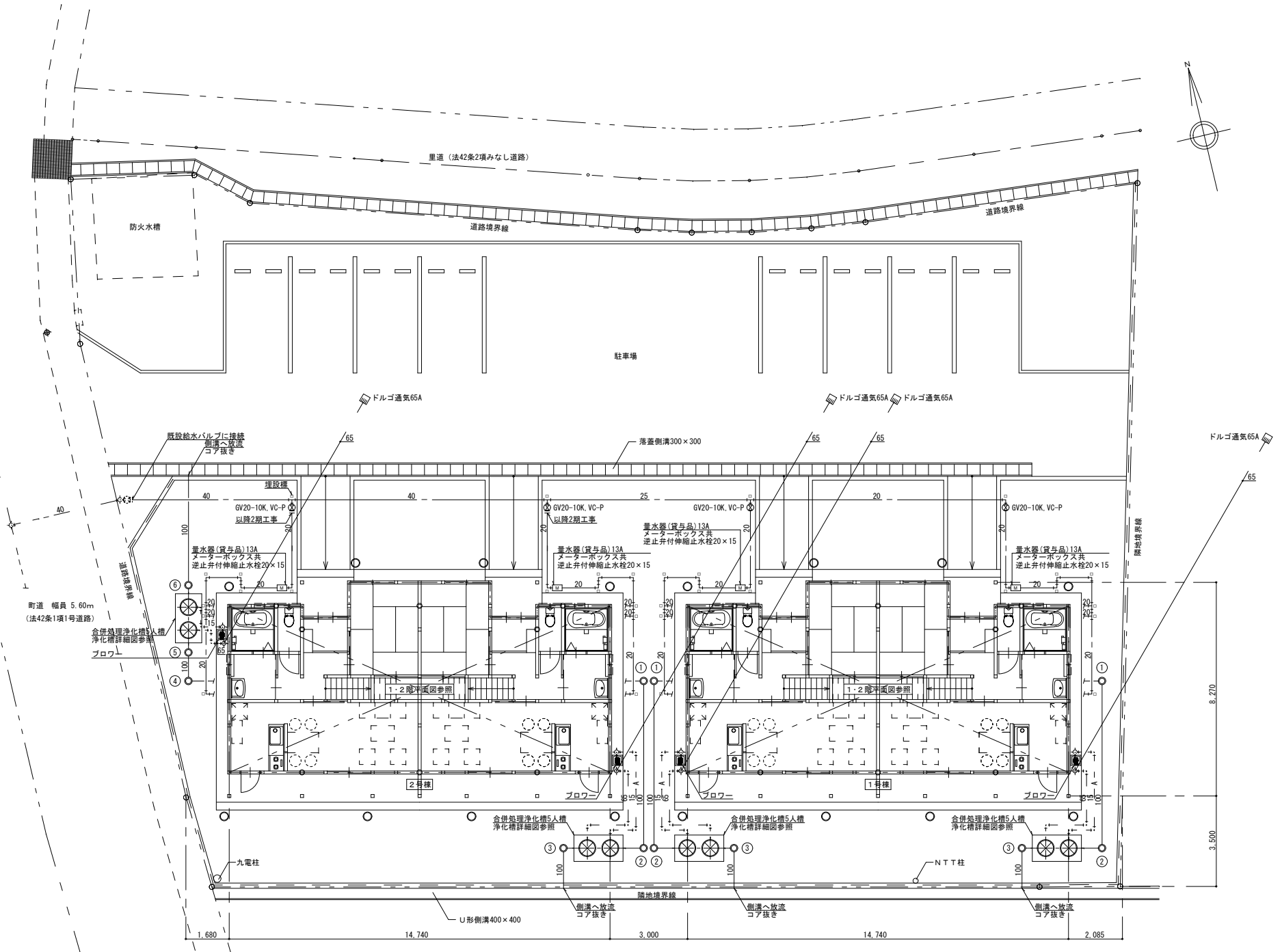


2階平面詳細図 S=1:50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市紫原4丁目2番24号 TEL: 099-213-4832 代 FAX: 099-262-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅1号棟新築工事	図面番号
				R7.11.			
				縮尺			
(A3-1:100)	図面種類	電灯コンセント設備 1階・2階平面詳細図	E-06 全06				



付近見取図 No. Scale



配置図 S=1:100

樹リスト 1号棟

記号	名称	仕様	参考深さ	備考	個数
①	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 300	鎖: SUS製、コンクリート巻	2
②	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 370	鎖: SUS製、コンクリート巻	2
③	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 460	鎖: SUS製、コンクリート巻	2

樹リスト 2号棟

記号	名称	仕様	参考深さ	備考	個数
①	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 300	鎖: SUS製、コンクリート巻	1
②	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 370	鎖: SUS製、コンクリート巻	1
③	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 460	鎖: SUS製、コンクリート巻	1
④	プラスチック樹	90L - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 350	鎖: SUS製、コンクリート巻	1
⑤	プラスチック樹	ST - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 370	鎖: SUS製、コンクリート巻	1
⑥	プラスチック樹	ST - 100 × 150 (塩ビ蓋)	GL- 460	鎖: SUS製、コンクリート巻	1

管種使用区分表

名称	記号	管種	記号	使用区分	備考
給水管	---	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP	屋外埋設部	
		内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD	土間埋設部・床下配管	
排水管	---	内面硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VB	屋内一般	
		硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	VP	屋外埋設部	
通気管	---	硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	VP	屋内一般・土間埋設部・床下配管	
		硬質ポリ塩化ビニル管（一般管）	VP	屋外埋設部	
給湯管	---	一般配管用ステンレス鋼管（拡管式）	SUS304	屋内一般・床下配管	
ガス管	---	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（黒）	SGP-VL	屋内一般・床下配管	
エア管	---	耐熱性硬質塩化ビニル管	HTVP	屋外埋設部	
給湯用ドレン管	---	耐熱性硬質塩化ビニル管	HTVP	屋内一般・土間埋設部	
地中埋設機	□	コンクリート製 アルミダイキャスト			未舗装部

保温・防露仕様区分表

施工箇所	給水	排水	通気	給湯	ガス	エアドレン	防露・塗装・防食仕様
地中埋設	A	A	A	-	-	A	A 裸管のまま
土間埋設	A	A	-	-	-	A	B 防露（標準仕様書に準ずる）
床下がし	A	A	A	E	A	-	C 鋼合ペイント2回塗り
空隙壁中	A	-	-	E	A	-	D 保温チューブ巻き
給湯器廻り	D	-	-	E	A	-	E 耐熱保温チューブ巻き
屋外露出	B	-	C	-	A	A	

※ 屋外配管の支持金物は、ステンレス製とする。
 ※ 保温チューブは、配管との間に空気が出来ないように施工すること。

ステンレス鋼管 保温歩掛適用口径

	呼び径							
ステンレス鋼管	20SU	25SU	30SU	40SU	50SU	60SU	75SU	80SU
鋼管	15A	20A	25A	32A	40A	50A	65A	80A

※ ステンレス鋼管保温は、鋼管1ランク下口径に換算する。

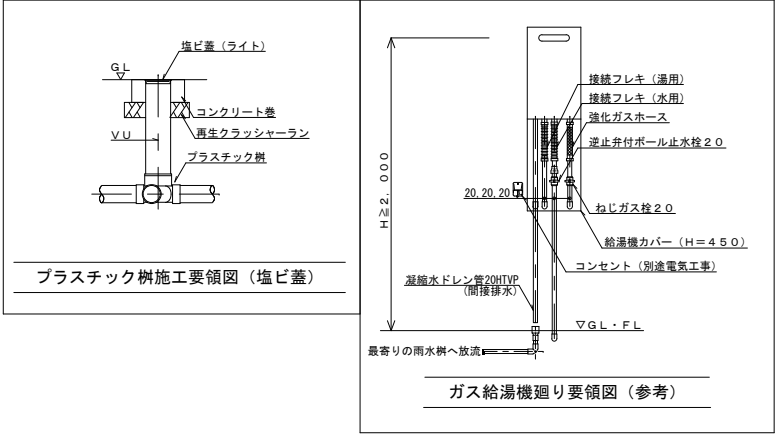
器具明細表(衛生)

名称	参考型番	1・2号棟共通				1号棟	2号棟	備考
		便所	洗面・脱衣	U	台所			
洋風大便器	CS232B+SH233BA+TC301+YH701	2				2	2	防露大便器、防露タンク（内部金具同梱、手洗あり）、普通便座（ソフト閉止付）、欄干二連紙巻器（SUS製）、他金具・配管類一式
洗面化粧台	LDD8075BAGMK1A		2			2	2	750サイズ、エコングル混合水栓、両開き扉、他金具・配管類一式
ミラーキャビネット	LMD8075B1GDG1G		2					750サイズ、一面鏡（LEDランプ）、他金具・配管類一式
ユニットバス	建築工事（接続は本工事）			(2)		(2)	(2)	建築工事（シャワー水栓、浴槽用混合水栓、天井換気扇共）
洗濯トラップ	FJ2009NW		2			2	2	縦引きトラップ
洗濯機用水栓	TW11R		2			2	2	緊急止水弁付
シングルレバー混合水栓	TKS05302J					2	2	台付シングル混合水栓
横水栓	T28AJNH13					2	2	13mm、ホース接続・差し込み式、カップリング付
ビニール水栓柱	H-1.200					2	2	H-1.200
ヒューズコンセントガス栓	(立)LA10					2	2	

機器表(衛生) 注) ガス給湯器の定格加熱能力は「JIS S 2109」で規定された定格条件による。

機器名称	機器仕様	電源	消費電力(kW)	1号棟数量	2号棟数量
ガス給湯器 (耐塩仕様)	20号 潜熱回収型 ダイレクト着火型 屋外壁掛形 配管カバー共 逆止弁付ボール止水栓20、ねじガス栓20、接続フレキ（水用・湯用）、強化ガスホース	1φ100V	-	2	2

注記事項
 ・防火区画を貫通する配管の場所を貫通する部分からそれぞれ両側に1m以内の距離にある部分を不燃材料で遮るか、認定材を使用すること。
 ・管の外径が、当該管の用途 材質その他の事項に応じて国土交通大臣が定める数値未満であること。（耐火措置不要）
 ・給水設備は水道法第16条に基づき施工すること。
 ・水道法施行令第5条に基づき施工すること。
 ・配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の4に基づき施工すること。
 ・飲料水の配管設備は、建設1597条第1条1の要件を満たしてウォーターハンマーの生じない措置を講じる。
 ・給水設備の構造は系統図及び各衛生設備図面による。また、材質は凡例による。
 ・水栓類の吐水口空間は、水栓の開口部内径（d）の1.7d+5mm以上確保のこと。
 ・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2に基づき施工すること。
 ・ガス設備は、高圧ガス法第24条、ガス事業法第40条の4、及び液化石油ガス法の設置基準による。
 ・給湯器設備は、風土、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
 ・満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年度建設省告示第1388号の第5に規定する構造方法によること。



管種使用区分表

記号	名称	仕様	保温仕様
---	給排気管	スパイラルダクト	SD 裸管 (火気使用:RW501巻)

機器明細表(換気) 注) 電気容量は参考値とする。

記号	名称	仕様	階数	設置場所	電源 (φ-V)	消費電力 (kW)	1号棟	2号棟	備考
							台数	台数	
FE-1	天井埋込形換気扇	形式 低騒音形 能力 風量 80m ³ /h 静圧 30Pa 接続口径 100φ	1階	便所	1φ100V	0.02	2	2	深型SUS製ハイブレード(ガラリ付)
FE-2	レンジフード	形式 ブース形 能力 風量 300m ³ /h 静圧 50Pa 接続口径 150φ	1階	台所	1φ100V	0.06	2	2	深型SUS製ハイブレード(ガラリ付)
OA-1	給気口(壁用)	形式 給排気グリル、風量調節機構付 接続口径 100φ	1階	和室6帖			6	6	深型SUS製ハイブレード(ガラリ付)
				2階					洋室6帖(1)
				2階					洋室6帖(2)
OA-2	給気口(壁用)	形式 給排気グリル、風量調節機構付 接続口径 150φ	1階	居間・食堂			2	2	深型SUS製ハイブレード(ガラリ付)

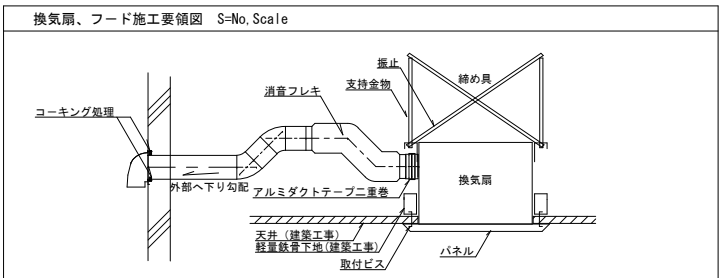
図中の機器番号の二重丸は常時換気機器を示す。

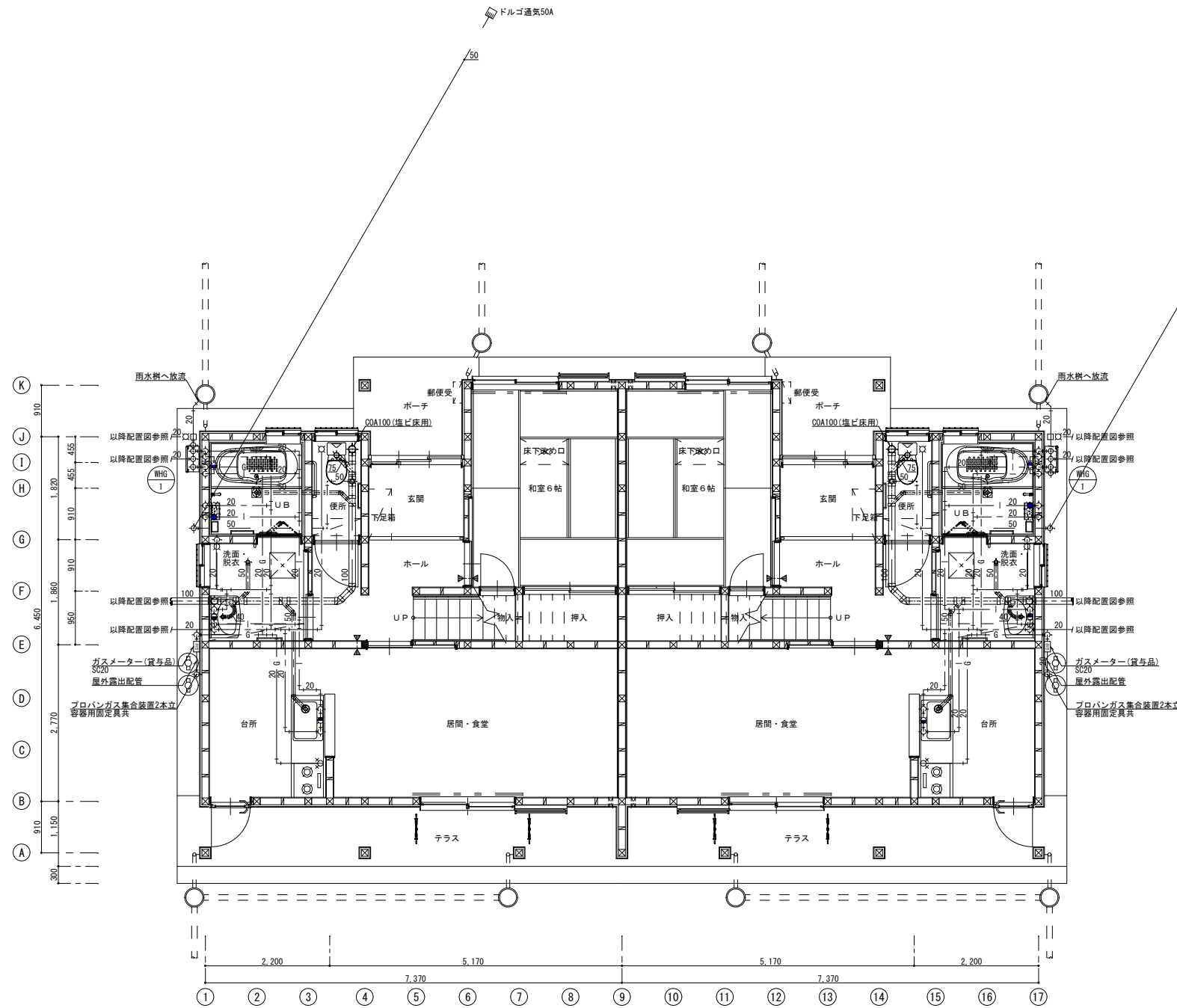
火気使用室 換気計算	
台所 換気計算	V=30K(LPG)
K=理論換気量	0.93m ³ /kw・h
Q=燃料消費量	6.8kw
V=30×0.93×6.8=189.72	使用換気扇 300m ³ /h ∴OK

※ 常時換気の必要な換気設備各部位、ダクトルートについては圧力損失を考慮し、必要な換気風量が満足されるものとする

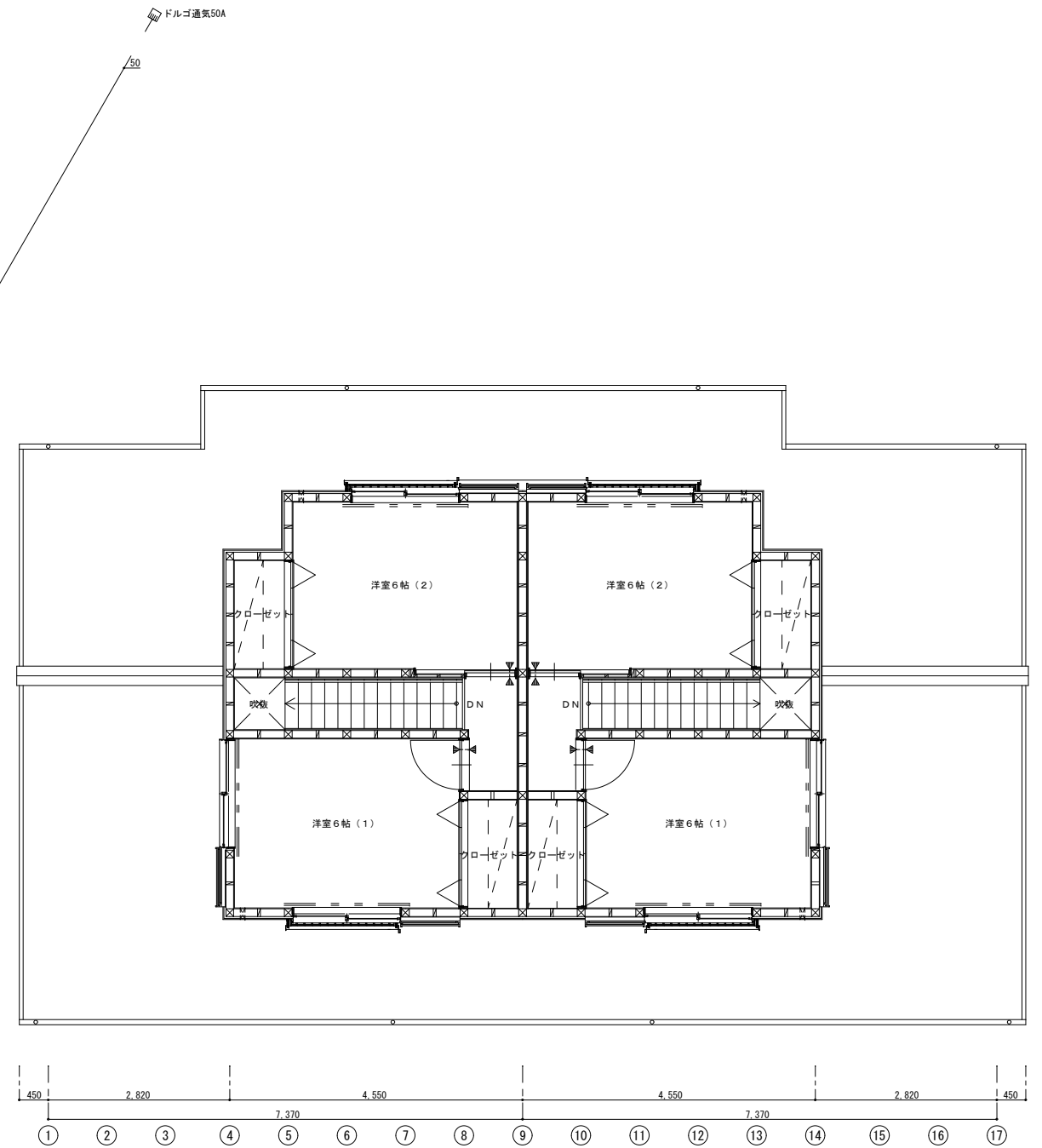
24時間換気計算

階数	部屋名	居室床面積 m ²	天井高 m	気積 m ³	必要換気量 0.5回/h	換気扇風量 m ³ /h	換気扇番号	換気方式	判定
1階	玄関	2.48	2.65	6.58					
1階	廊下・ホール	3.52	2.40	8.45					
1階	吹抜	0.86	5.32	4.58					
1階	台所・居間・食堂	20.41	2.40	48.99					
1階	和室6帖	9.94	2.40	23.86					
1階	便所	1.82	2.40	4.37		80	FE-1	3種換気	
2階	洋室6帖(1)	10.08	2.40	24.20					
2階	洋室6帖(2)	9.94	2.40	23.86					
2階	廊下	1.73	2.40	4.16					
2階	階段	2.59	3.86	10.00					
	合計			159.05		79.53	80		0.K





1階平面図 S=1:50

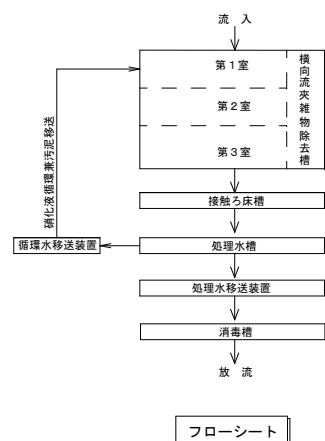


2階平面図 S=1:50

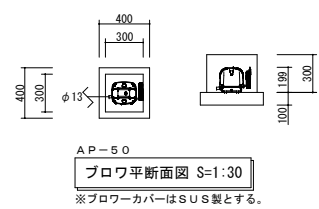
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-6-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市東原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832 代 FAX: 099-252-7375 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
				R7.11.			M-04
				縮尺			図面種類
1:50 (A3-1:100)	1・2階平面図 (給排水衛生設備)	全 06					

仕 種 表		
分類	合併処理	
処理計画人員	5 人	
処理計画汚水量	1.0 m ³ /日	
流入水質	BOD 200mg/L	
	COD 100mg/L	
	SS 160mg/L	
	T-N 45mg/L	
	T-P 2mg/L	
放流水質	BOD 20mg/L	
	COD 30mg/L	
	SS 20mg/L	
	T-N 20mg/L	
	T-P 2mg/L	
処理方式	横向流突雑物除去接触ろ床循環方式	
	有効容量 (m ³)	
横向流突雑物除去槽	1.074	
接触ろ床槽	0.373	
処理水槽	0.141	
消毒槽	0.015	
	電気機器仕様	
ブロワ	100V-単相-35W	1台

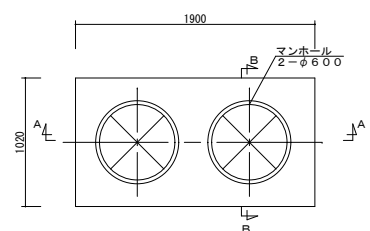
注記
マンホールは、FRP製ボルトロック式とする。
臭突工事は、処理槽工事外とする。
臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。
流入・放流配管は、処理槽工事外とする。
本図は、嵩上げ材H=300mmを設置した図面となります。
浮上防止金具、アンカー筋、送風機カバーはSUS製とする。



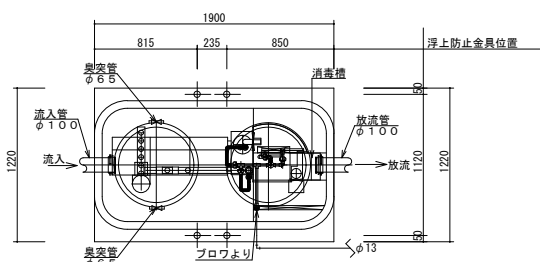
フローシート



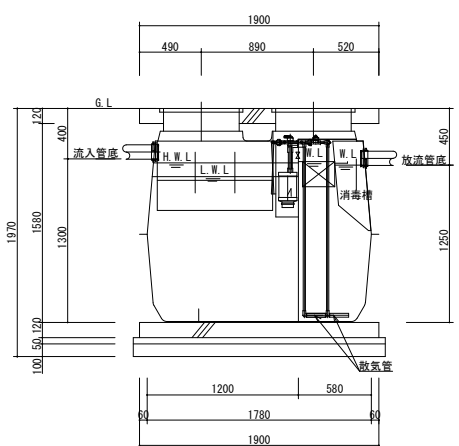
ブロワ平面図 S=1:30



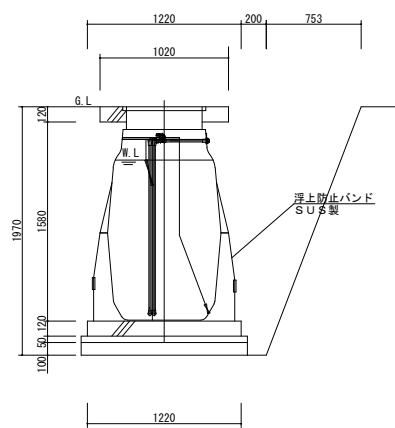
頂版開口図 S=1:30



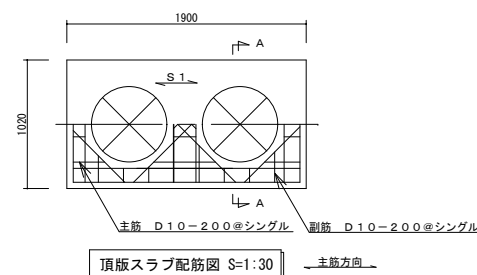
平面図 S=1:30



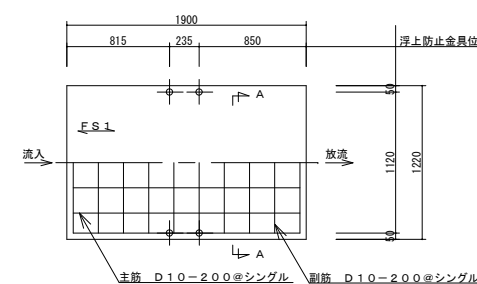
A-A断面図 S=1:30



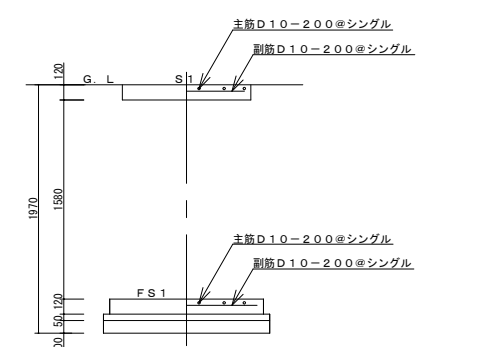
B-B断面図 S=1:30



頂版スラブ配筋図 S=1:30



基礎スラブ配筋図 S=1:30

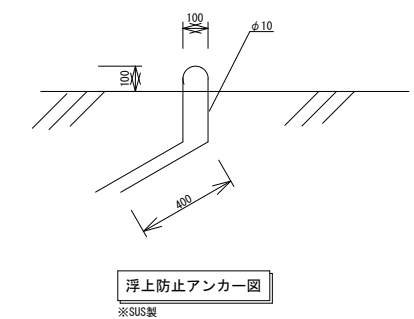


A-A断面配筋図 S=1:30

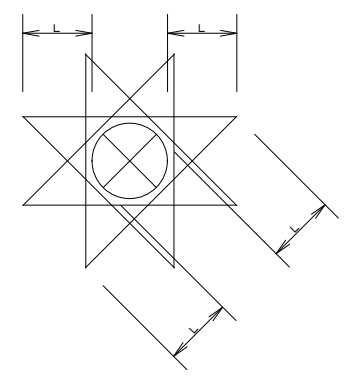
共通事項	
凡 例	・ --- D10 x --- D13
鉄 筋	SD-295A 使用とする。
コンクリート	Fc=21 N/mm ² とする。
スラブ荷重	T-0
その他	詳細は現場係員の指示による。

スラブリスト					
スラブ	スラブ厚	位置	主 筋	副 筋	備 考
S1	120	全断面	D10-200@	D10-200@	シングル
FS1	120	全断面	D10-200@	D10-200@	シングル

スラブ筋等の重ねつぎで長さは小径の40d以上とする。

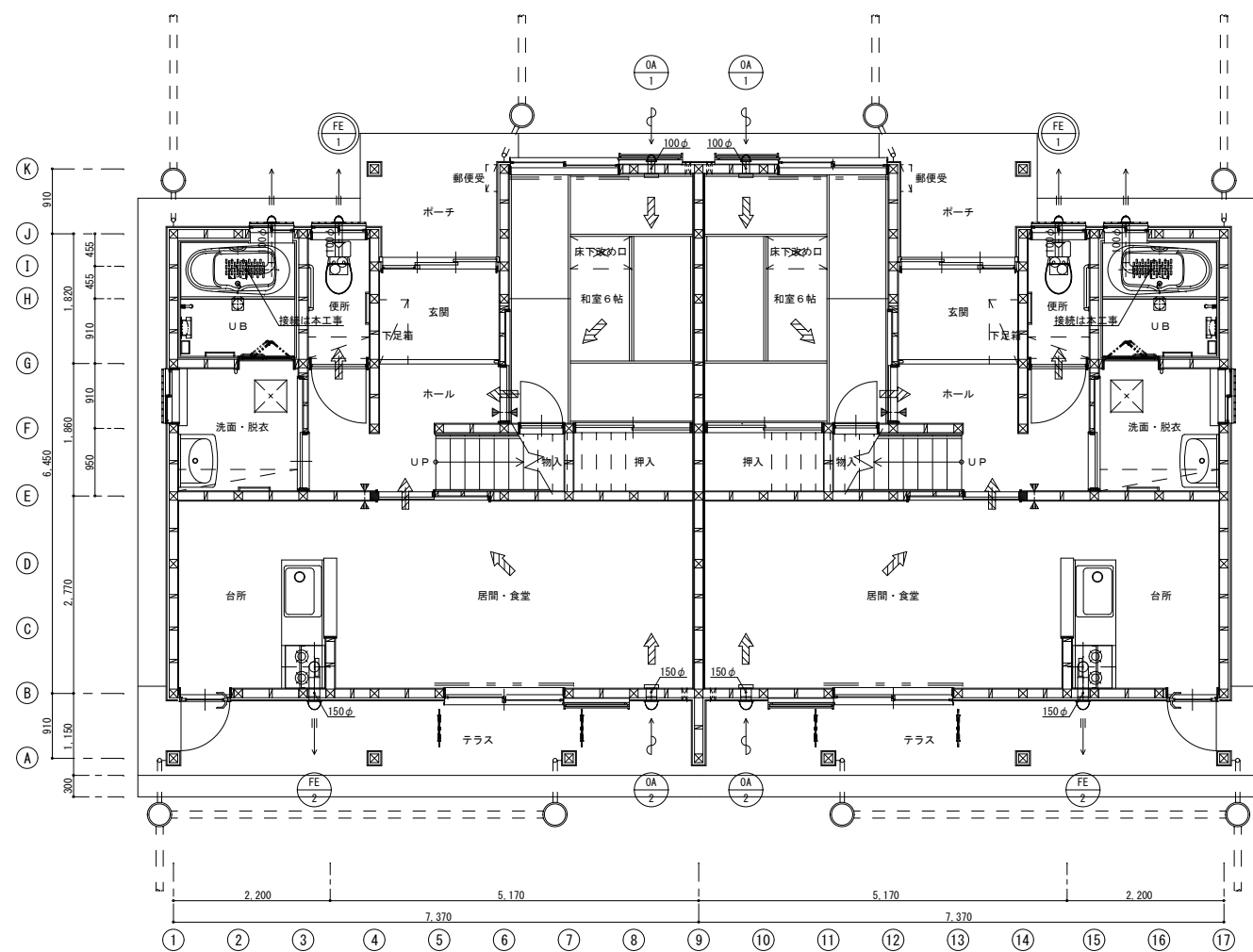


浮上防止アンカー図

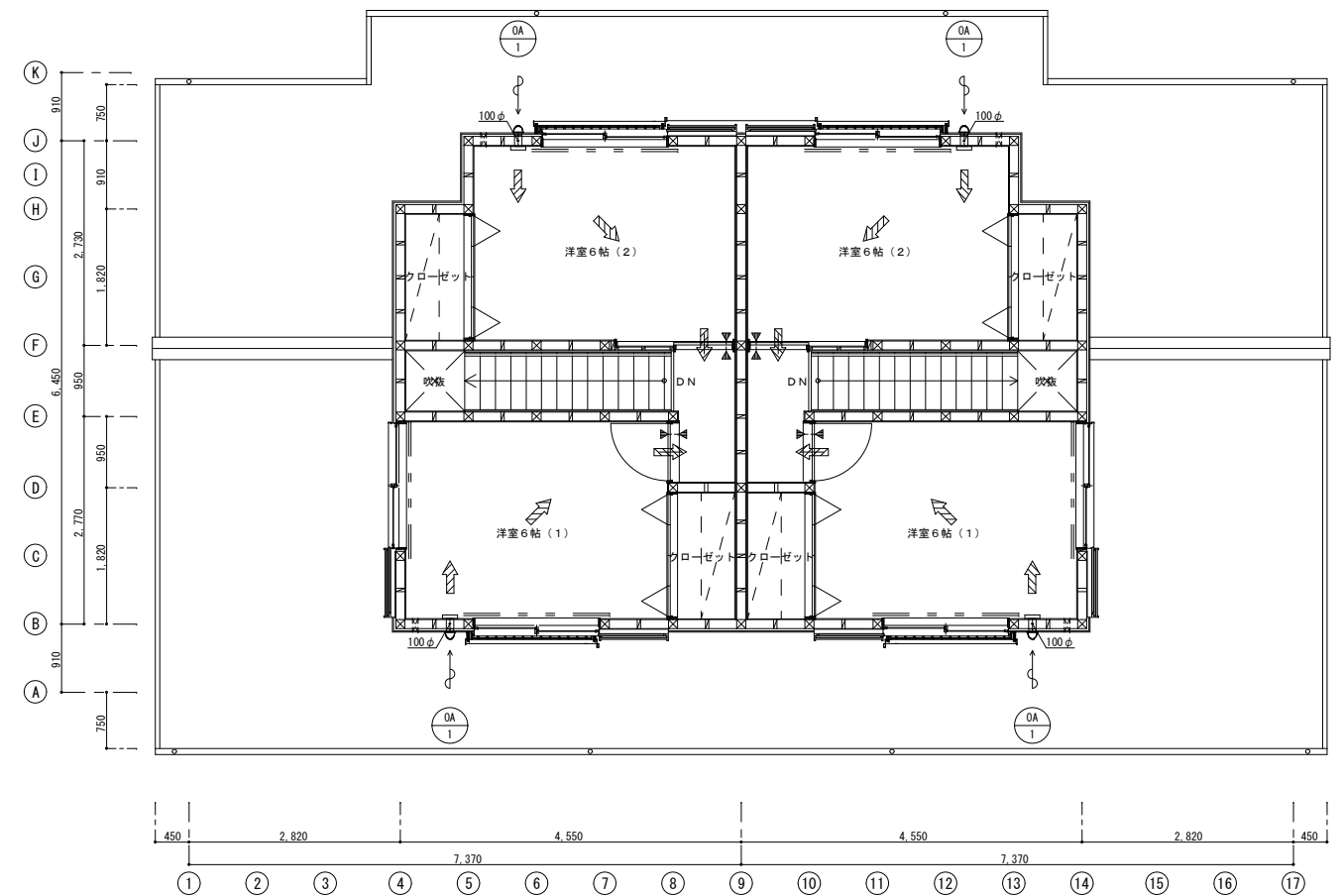


開口部補強筋

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-5-25号	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
株式会社 大原設計				R7.11.			M-05
〒890-0082 鹿児島市東原4丁目22番24号				縮 尺	図面種類	浄化槽詳細図 (浄化槽設備)	全 06
管理建築士 一級建築士建設大臣 登録番号 第203438号 後藤博美				1:30 (A3-1:60)			



1階平面図 S=1:50



2階平面図 S=1:50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録番号 第1-6-25号 株式会社 大原設計 〒890-0082 鹿児島市東原4丁目22番24号 TEL: 099-213-4832代 FAX: 099-252-7372 管理建築士 登録番号 第203438号 後藤博美	設計	担当	製図	設計年月日	工事名	令和8年度 定住促進住宅新築工事	図面番号
				R7.11.			M-06
				縮尺			図面種類
1:50 (A3-1:100)	1・2階平面図(換気設備)	全06					